

歩いて暮らせるまちづくり  
福島地区社会実験  
～交通量調査・分析・効果検証～  
報告書



平成20年2月

歩いて暮らせるまちづくり  
福島地区社会実験実行委員会

## 目次

序 社会実験の背景 .....	1
1. 社会実験の概要 .....	3
1-1. 社会実験に至る経過 .....	3
(1) 社会実験にいたる経過 .....	3
(2) 歩いて暮らせるまちづくりの考え方 .....	3
(3) 社会実験の実施 .....	4
1-2. 社会実験の実施体制 .....	6
(1) 社会実験の実施体制 .....	6
1-3. 運営体制および委員会実施記録 .....	7
(1) 歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験実行委員会 .....	7
(2) 歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験作業部会 .....	9
1-4 社会実験の実施概要 .....	10
1-5 実験のスケジュール .....	13
2. 社会実験の実施内容 .....	14
2-1. 賑わい社会実験の実施内容 .....	14
2-2. 交通社会実験の実施内容 .....	30
2-3. 社会実験全体・人にやさしいまちに関する社会実験の実施内容 .....	40
2-4. 許可申請および届出等 .....	45
2-5. 広報活動 .....	48
(1) 広報計画 .....	48
(2) パブリシティの掲載状況 .....	50
3. 社会実験に伴う通行量調査・解析 .....	51
3-1. 通行量調査内容 .....	51
(1) 調査目的 .....	51
(2) 調査項目 .....	51
(3) 調査日時と歩行者天国・モール実施状況 .....	51
(4) 調査内容 .....	52
(5) 調査箇所 .....	52
3-2. 通行量調査結果 .....	53
(1) 歩行者・自転車交通量 .....	53
(2) 自動車交通量 .....	56
3-3. 地区別の交通量変化の特性 .....	60
4-1. アンケート調査の概要 .....	61
(1) アンケート調査概要 .....	61
4-2. 賑わい実験に関するアンケート結果 .....	62
(1) 賑わい創出実験全般 .....	62
(2) まちなか総合案内所・キッズサロン .....	66
(3) まちなかイベント広場 .....	71
(4) 商店街朝市 .....	77
(5) ワゴンセール（利用者） .....	80
(6) ワゴンセール（出店者） .....	82

(7)	農産物フェア .....	85
(8)	まちなかコンサート .....	87
(9)	親子まちなか探検隊 .....	89
(10)	街なかサポーター .....	92
(11)	トイレお貸しします .....	96
4-3.	交通実験に関するアンケート結果 .....	98
(1)	交差点の一時停止化 .....	98
(2)	ももりんレンタサイクル .....	99
(3)	市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券、電車と市内循環線の1日乗り放題共通乗車券 ..	102
(4)	循環バス（西口循環線） .....	109
(5)	循環バス（まちなか循環線） .....	113
(6)	笹谷桜水駅循環線 .....	116
(7)	人と車の共生実験（一方通行実験） .....	119
(8)	歩行者天国 .....	122
4-4.	人にやさしいまちに関する調査結果 .....	125
(1)	街なかUD実験 .....	125
(2)	まちなかインタビュー調査 .....	127
(3)	まち歩きアンケート調査 .....	130
5.	社会実験の評価 .....	133
5-1.	賑わい実験の評価 .....	133
5-2.	交通実験の評価 .....	136
5-3.	今後の取組みに向けて .....	138

## 序 社会実験の背景

急速なモータリゼーションの進展等を背景として、公共公益施設の郊外移転や大型小売商業施設の郊外展開等により都市機能が拡散し、「まちの顔」である中心市街地は空き店舗の増加など空洞化が急速に進展している。

人口減少や急速な高齢社会の進行、環境問題など社会情勢が大きく変化する中で、これまでの「車」を中心とした経済効率優先、機能的重視のまちづくりは大きな転換点を迎えており、福島県商業まちづくり推進条例の理念である「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」及び「環境への負荷の少ない持続可能なまちづくり」の考え方に基づいた、「人」を中心としたまちづくりを推進していくことが必要である。

このため、「歩いて暮らせるまちづくり社会実験」を実施し、具体的な施策やその効果等を検証しながら、「人」中心の新しい時代にふさわしいまちづくりの在り方等について検討する。

### 「歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり」とは

各種機能を中心市街地に凝縮することで、高齢者や障がい者にとっても暮らしやすいまちづくりの実現や持続可能な自治体財政の実現などを図る。

#### 《歩いて暮らせるまち》

- 自動車に過度に依存しなくても、自宅から徒歩、自転車、公共交通機関などでいける範囲に医・食・住・遊など日常生活に必要な諸機能が集約され、誰もが安心して安全で快適に暮らせるまち。
- 歩くことにより地域の資源を改めて発見でき、そのことによって自らのまちを見直すことになり、郷土意識の醸成にもつながるまち。
- 歩いて移動することにより人と接する機会が増え、コミュニティ形成にも資するまち。

#### 《コンパクトなまち》

- 郊外の無秩序な開発を抑え、商業、福祉、文化、教育などの各種機能が中心市街地に集積され、それを取り囲む形で居住機能が充実した高密度で、自動車交通需要が少ないまち。
- 中心市街地内の未利用地の有効活用により、職住近接による交通渋滞の緩和や環境の改善が見込まれるだけでなく、近郊の緑地や農地の保全が図られる。

## 「環境への負荷の少ない持続可能なまちづくり」とは

モータリゼーションの進展等に伴う都市の郊外化（スプロール）を制御することで、自然環境や田園といった美しい福島の自然等を保全するとともに、スプロール的な開発による社会資本の整備や管理のコストの増加を防ぐ。

### 《環境への負荷の少ないまち》

- 省エネルギー、省資源・リサイクル型社会システムが構築され、中心市街地と郊外の住宅地での移動が円滑な公共交通網が整備された、環境への負荷が現在より軽減されたまち。
- 都市郊外化（スプロール）を制御することにより、森林、緑地などの自然環境や農地が保全されたまち。
- 自動車の利用を抑制し、公共交通機関の利用を促進させることにより無駄なエネルギーの消費が抑制されたまち。

### 《持続可能なまち》

- 住民が生きがいを持ち、安心・安全・安定した生活を世代を超えて身近な暮らしの場が確保されるよう追及し続けられるまち。
- 環境資源は未来の世代からの付託を受けているという考え方から、環境にできるだけ負荷を与えず、生態系への影響にも配慮しながら、人と自然環境が共生するまち。
- 既存建築物の再生・再利用や放置された未利用地の利活用など、土地の適正な維持・保全を図るまち。
- 都市郊外化（スプロール）を抑制することにより、社会資本の整備やその管理のコストの増加を防ぎ、持続可能な自治体財政が実現されるまち。

# 1. 社会実験の概要

## 1-1. 社会実験に至る経過

### (1) 社会実験にいたる経過

福島県商業まちづくりの推進に関する条例・・・平成18年10月1日施行

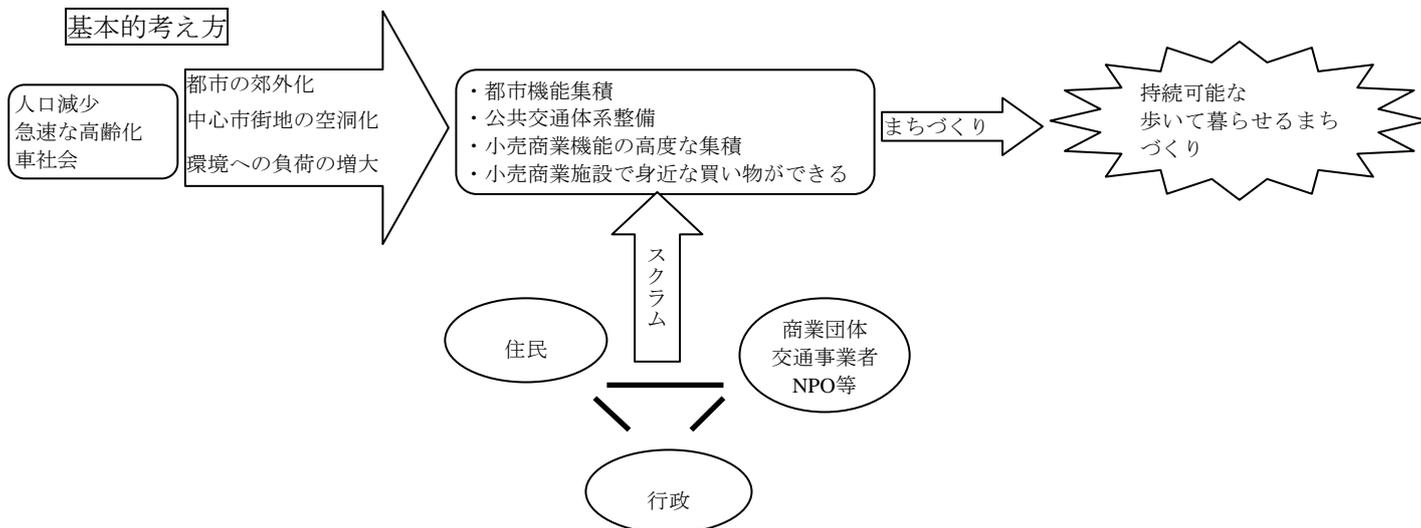


図 1-1 基本的考え方

### 基本的方向

- ① 広域的な都市機能が集積されている地区に特定小売商業施設を集積
- ② 地域的な都市機能が集積されている地区に小売商業施設を集積
- ③ 身近な場所で最寄品を買えるまちづくり
- ④ 郊外部への特定小売商業施設の立地を抑制
- ⑤ 公共交通機関の確保
- ⑥ 都市機能の集積を図る地区に公共・公益施設等を誘導
- ⑦ 魅力的なまちづくりの推進
- ⑧ 小売商業施設と地域との共存共栄のまちづくり

### (2) 歩いて暮らせるまちづくりの考え方

#### 【持続可能な歩いて暮らせるまちづくり】

- ① 環境への負荷に配慮したまちづくり
- ② 新たな社会資本の整備や管理の負担をできる限り増大させないことに配慮しながら既存の社会資本を有効利用したまちづくり
- ③ 自動車に過度に依存しない生活の実現を目指したまちづくり



公共交通の充実により車を利用しなくても移動することができ、誰もが暮らしやすく環境への負荷が少ないコンパクトな賑わいのある「人」中心の新しいまちづくりを進める。

### (3) 社会実験の実施

#### 福島市の社会実験に対する考え方

##### ①目的

1) 福島市中心市街地の「持続可能な歩いて暮らせるまちづくり」の推進に向け、中心市街地における交通体系の在り方を検討する。

2) 福島市中心市街地に賑わいを創出するとともに、継続的な取り組みとして各団体・組織が自主的に活動でき、かつ、連携して取組み、中心市街地が活性化するようなまちづくりの在り方を検討する。

##### ②実施内容

目的を達成するため、以下の実験を実施する。

- 交通社会実験・・・交通体系のあり方について実験
  - ・バスを利用した実験
  - ・人と車の共存実験（トランジットモール等）
- 賑わい社会実験・・・賑わい創出に関する実験
  - ・商店街イベント等

表 1-1 実験内容一覧

賑わい社会実験	集う	歩行者天国(パセオ通り)
		歩行者天国(駅前通り)
		まちなかコンサート
		街なかイベント広場
		未来のわたしへ手紙を出そう！
		「学びのエリア」～昔のみち、今のみち～
		ふくしまフレンドパーク
	商う	パセオワゴンセール
		商店街朝市
		農産物フェア
		コラッセ夢ばざーる
	歩く	まちあるきマップ
		トイレお貸しします
”まわって当てよう商品券”スタンプラリー		
交通社会実験	親子まちなか探検隊	
	循環バス(まちなか循環線)	
	循環バス(西口循環線)	
	循環バス(笹谷桜水駅循環線)	
	ももりんレンタサイクル	
	人と車の共存モール(一方通行実験)	
	市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券	
	電車と市内循環線の1日乗り放題共通乗車券	
	交差点の一時停止化	
その他	まちなか総合案内所	
	キッズサロン	
	街なかサポーター	
	街なかUD実験	

### ③広報啓発活動

#### ○実験チラシの作成

・社会実験のイベント情報を分かりやすく紹介するために、全体地図にイベント情報・バス路線・バス時刻表・トイレお貸しします協力店舗・パセオワゴンセール参加店・交通規制情報を掲載した。

また、まちの一体感を演出し回遊性を高めるために、社会実験以外のイベント情報を収集し一枚のチラシでまち歩きができるよう併せて掲載した。

#### ○ホームページ作成等

#### ○各広報紙掲載依頼

#### ○共通ロゴの作成

・共通ロゴについては、福島市民にも馴染みの観光キャラクター「ももりん」がまちなかを楽しく歩いているデザインとし、まち歩きやイベントの楽しさをイメージして丸みを持たせた。

また、中央の目・鼻・ヒゲのみの「ももりん」のデザインはインパクトを与え、かつ、親しみやすさを表現し、多くの市民の参加を願い作成した。



社会実験共通ロゴ

#### ○キャッチフレーズについて

・社会実験の広報周知を図り、実験の目的を分かりやすく伝え、市民の来街意欲を高めること、また、実験を通して中心市街地活性化意識を高めることを目的とし、実行委員会・作業部会において委員の方から募集を行い決定した。

### ④効果検証

○社会実験の各種調査の結果を検証・分析し、これからのまちづくりの在り方について考える。

○報告書の作成。

1-2. 社会実験の実施体制

(1) 社会実験の実施体制

本社会実験の実施体制を以下に示す。

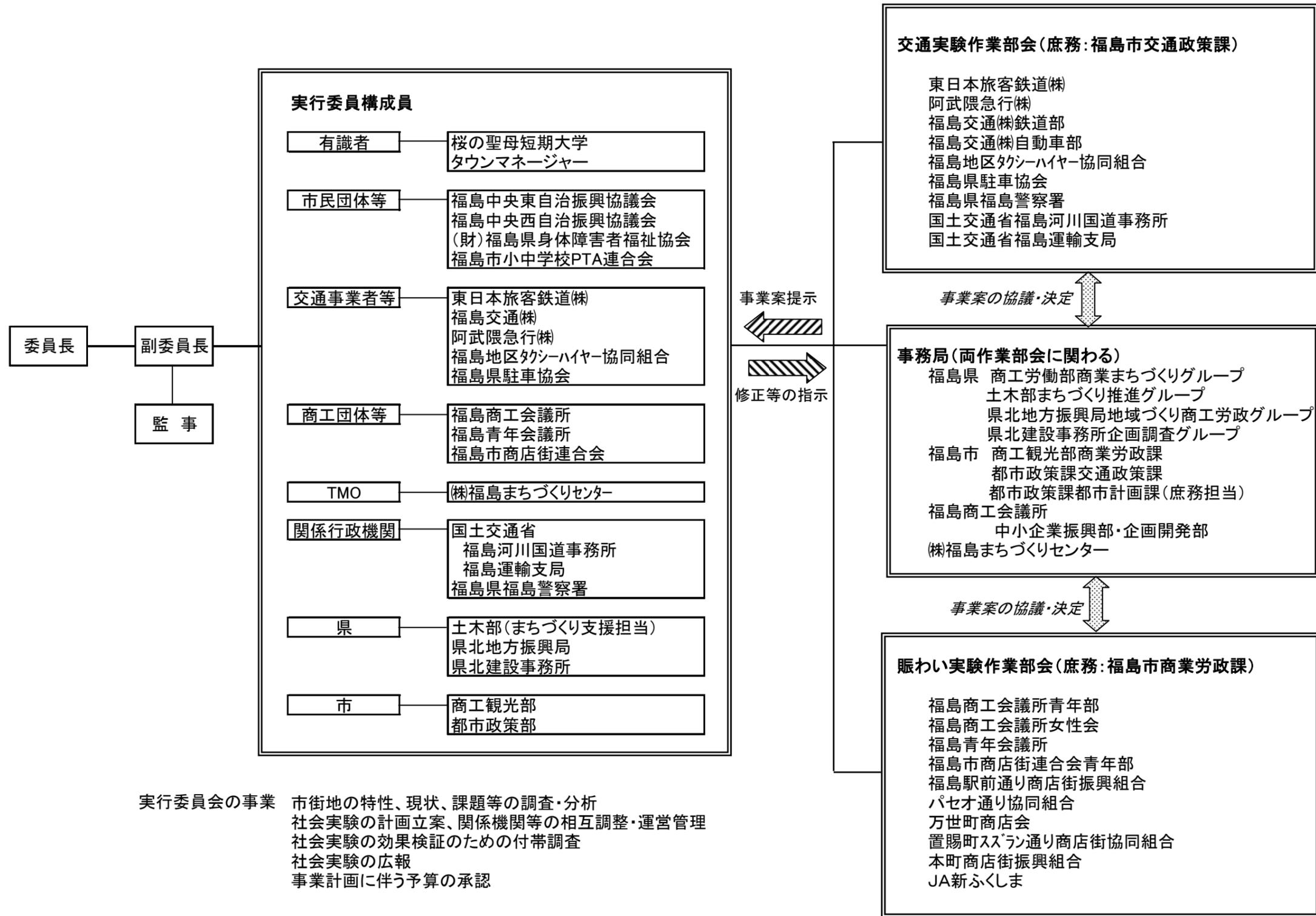


図 1-2 社会実験の実施体制

### 1-3. 運営体制および委員会実施記録

#### (1) 歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験実行委員会

実行委員会は4回開催し、社会実験の実施内容を決定するとともに、効果検証を行った。

##### ①開催状況

表 1-3 開催状況

回	年月日	検討内容
第1回	平成19年6月5日	・社会実験実行委員会の設立
		・規約の制定
		・福島市中心市街地の取組について
		・郡山地区社会実験の結果について
		・今後の進め方について
第2回	平成19年7月30日	・実験の項目、日程について
		・今後のスケジュールについて
第3回	平成19年8月31日	・実験項目と日程の決定
		・役割分担、予算の決定
		・スケジュール、広報について
第4回	平成20年1月29日	・社会実験の実施状況、結果について
		・社会実験の効果検証
		・予算の決算について

②実行委員会の構成員

表 1-4 実行委員名簿

区 分	所属・職名等	氏 名
有識者等	桜の聖母短期大学 准教授【副委員長】	二 瓶 由美子
	福島市タウンマネージャー	宮 本 直 光
市民団体等	福島中央東地区自治振興協議会 会長	村 上 弘
	福島中央西地区自治振興協議会 会長	宗 像 信 夫
	財団法人福島県身体障害者福祉協会 福島市副支部長	斎 藤 昭 夫
	福島市小中学校PTA連合会 会長	浪 岡 真 澄
交通事業者等	東日本旅客鉄道(株) 福島支店 支店長	寺 田 充
	福島交通(株) 福島支社 支社長【副委員長】	中 山 博 道
	阿武隈急行(株) 代表取締役専務	尾 形 憲 一
	福島地区ハイヤータクシー協同組合 副理事長	浦 住 作 摩
	福島県駐車協会 会長	菅 野 泰 典
商工団体等	福島商工会議所 専務理事	山 田 義 夫
	(株) 福島まちづくりセンター 代表取締役社長	渡 邊 又 夫
	(社) 福島青年会議所 副理事長	作 田 謙 太 郎
	福島市商店街連合会 会長【委員長】	後 藤 忠 久
行政機関	福島県福島警察署 署長	浦 澤 兼 一
	国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 所長	植 田 雅 俊
	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局長	藤 田 博
	福島県 土木部参事 (まちづくり支援担当)	北 住 博
	福島県県北地方振興局 局長	吉 川 三 枝 子
	福島県県北建設事務所 所長	高 橋 善 清
	福島市商工観光部 部長	柴 田 俊 彰
	福島市都市政策部 部長	氏 家 主 計

23 (敬称略 順不同)

※故 下平尾 勲 氏 (前福島学院大学教授) : 第 1 回~2 回まで委員長に就任

※ 宮本 直光 氏 : 第 3 回から委員に就任

(2) 歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験作業部会

①開催状況

表 1-5 開催状況

回	年月日	検討内容
第1回	平成19年6月5日	・福島市中心市街地の取組について
		・郡山地区社会実験の結果について
		・今後の進め方について
第2回	平成19年6月29日	・交通実験項目の検討について
		・今後の日程について
第3回	平成19年7月20日	・実験項目、日程について
		・今後の日程について
第4回	平成19年8月28日	・賑わい実験項目の役割分担について
		・賑わい実験項目の予算について

②作業部会の構成員

表 1-6 作業部会委員名簿

区分	所属・職名等	氏名
交通事業者等	東日本旅客鉄道(株) 福島支店 副支店長	渡辺 裕弘
	福島交通(株) 福島支社 次長【交通作業部会長】	鈴木 昭平
	福島交通(株) 鉄道部 部長	齋藤 國男
	阿武隈急行(株) 総合企画室 室長	原田 正彦
	福島地区ハイヤータクシー協同組合 専務理事	坪井 大雄
	福島県駐車協会 福島支部長	菅野 重信
商工団体等	福島商工会議所中小企業振興部 部長	本田 政博
	福島商工会議所企画開発部 部長	丹野 典之
	福島商工会議所青年部まちづくり委員会 副委員長	渡辺 あゆ美
	福島商工会議所女性会 会長	山川 彬
	(株) 福島まちづくりセンター総務部 部長	伊藤 隆志
	(社) 福島青年会議所福島のまちを考える委員会委員長	吉川 隆一
	福島市商店連合会 副会長	芦田 一
	福島駅前通り商店街振興組合 理事長	
	福島市商店街連合会青年部 会長【賑わい作業部会長】	中山 伊知郎
	パセオ通り協同組合 理事長	小関 庄兵
	万世町商店会 会長	古関 勝利
	置賜町スズラン通り商店街協同組合 理事長	岩山 知弘
	本町商店街振興組合 理事長	二瓶 誠志
J A新ふくしま農業協同組合営農部直販課 課長補佐	石渡 和良	
行政機関	福島県福島警察署 交通第一課 課長	渡部 義邦
	国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 調査第二課 課長	高橋 秀典
	国土交通省東北運輸局福島運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	高橋 浩也
	福島県商工労働部商業まちづくりグループ 主幹	柳 沼 政明
	福島県土木部まちづくり推進グループ 主幹	西坂 昭
	福島県県北地方振興局企画商工部 主幹兼副部長	金澤 卓志
	福島県県北建設事務所企画調査グループ 課長	関根 康孝
	福島市商工観光部商業労政課 課長	水口 和栄
	福島市都市政策部交通政策課 課長	菅井 高男
	福島市都市政策部都市計画課 課長	佐藤 祐一



②実施区域

1) 実施位置

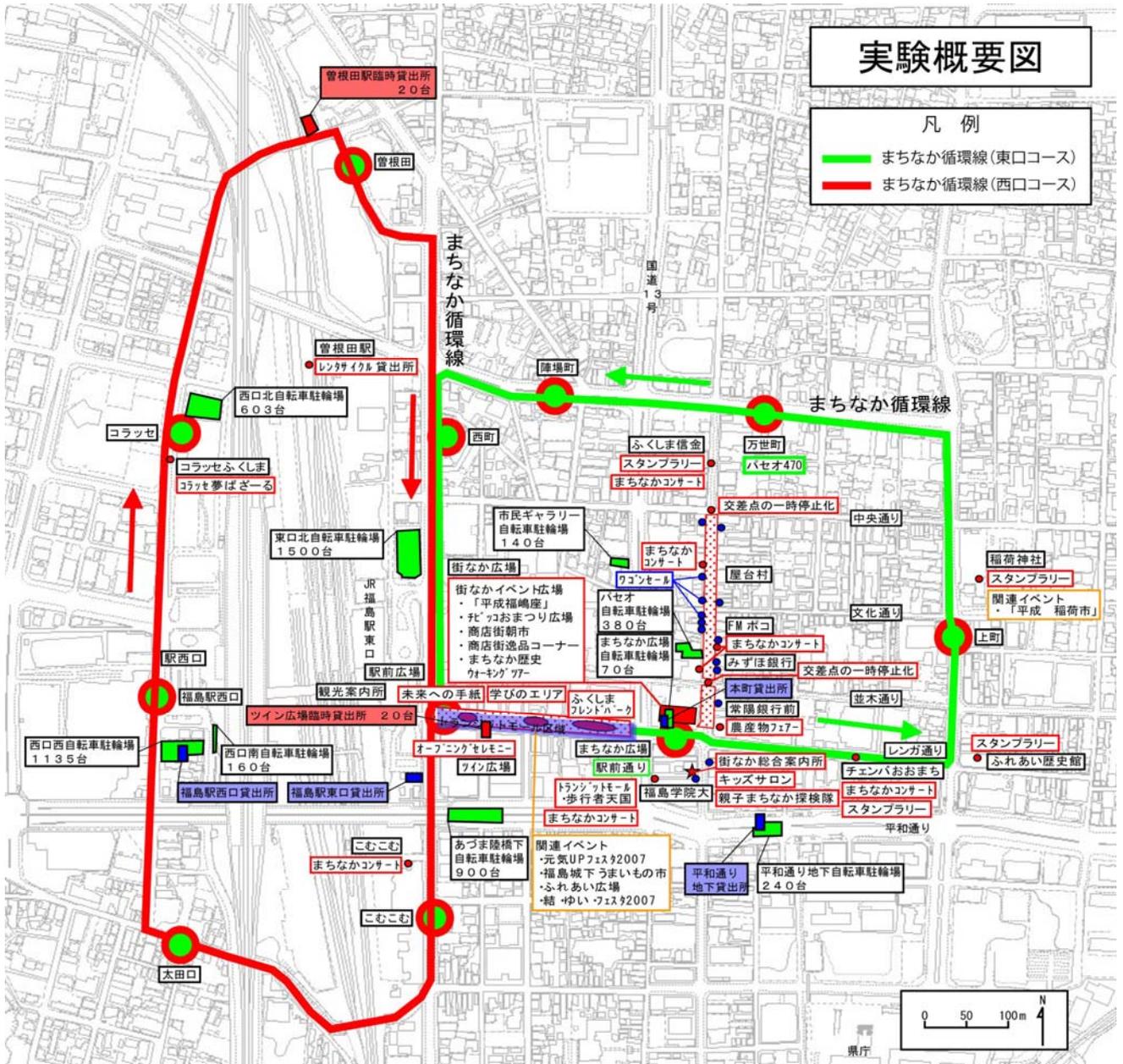


図 1-3 実験概要図

2) 循環バスルート図

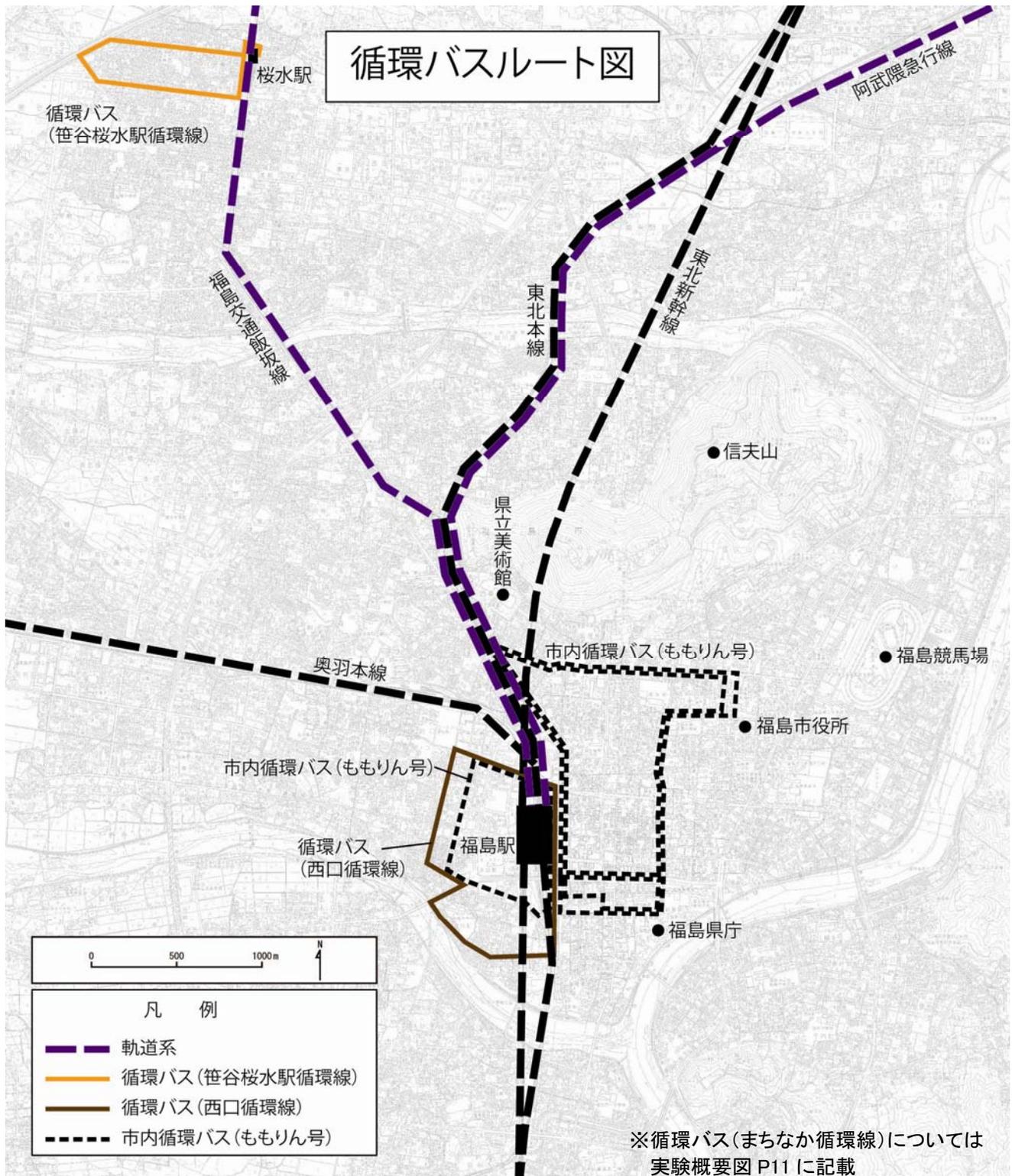


図 1-4 循環バスルート図

1-5 実験のスケジュール

表 1-7 社会実験のスケジュール

	歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験			庁内会議	実施計画・マニュアル作成	広報・PR	社会実験		効果検証調査
	実行委員会	作業部会(合同)	事務局会議・各作業部会				交通実験	賑わい実験	
4月			・4/19 事務局会議(合同)	・4/23 庁内会議(交通) ・4/25 庁内会議(賑わい)					
5月			・5/2 事務局会議(交通部局) ・5/30 事務局会議(合同)	・5/16 庁内会議(賑わい)					
6月	・6/5 第1回実行委員会 ・社会実験実行委員会の設立 ・実行委員会規約の設定 ・福島市中心市街地の現状について ・社会実験の概要、目的確認	・6/5 第1回作業部会 ・実験項目のリストアップ ・社会実験の時期、区域の検討	・6/29 交通作業部会 ・項目、日程の協議	・6/27 庁内会議(合同)					
7月	・7/30 第2回実行委員会 ・社会実験時期決定 ・社会実験の事業案協議 ・意見の集約	・7/20 第2回作業部会(合同) ・部会案(実施時期、項目、区域)策定	・7/6 事務局会議(賑わい部門) ・7/10 事務局会議	・7/24 庁内会議(賑わい)	実験全体 計画作成				
8月	・8/31 第3回実行委員会 ・社会実験の(修正)項目・区域・時期決定 ・社会実験の役割・予算の承認 ・社会実験のPR方法、実験準備	・8/28 賑わい作業部会 ・役割分担、予算(案)策定	・8/9 事務局会議(修正) ・8/28 賑わい作業部会 ・役割分担、予算(案)策定		各実験実施 計画作成	福島県広報紙掲載原稿 福島市広報紙掲載原稿			
9月			・9/20 事務局会議	・9/7 庁内会議(合同)		10/1県・市広報紙配布 社会実験 ホームページ 開設 10/17新聞チラシ折込			
10月			・10/3 事務局会議(賑わい部門)	・10/2 庁内会議(合同)		10月20日 オープニングセレモニー ツイン広場	10月20日 交通実験	10月20日 賑わい実験	交通量調査(休日) 来街者 アンケート
11月							11月18日	11月4日	交通量調査(平日) 交通量調査(休日) 事後アンケート
12月			・12/21 事務局会議			12/12 通行量の公表 (議会答弁)			来街者数・アンケート取りまとめ
1月	・1/29 第4回実行委員会 ・社会実験の結果・効果検証					1/29 結果の公表			効果検証調査 取りまとめ
2・3月			・2/26 事務局会議	・2/15 庁内会議(合同)					報告書作成 報告書配布

## 2. 社会実験の実施内容

### 2-1. 賑わい社会実験の実施内容

賑わい創出社会実験に関する以下の実験メニューの実施内容を記載した。

(集う)

- ①歩行者天国（パセオ通り）
- ②歩行者天国（駅前通り）
- ③まちなかコンサート
- ④街なかイベント広場
- ⑤未来のわたしへ手紙を出そう！
- ⑥「学びのエリア」～昔のみち今のみち～
- ⑦ふくしまフレンドパーク

(商う)

- ⑧パセオワゴンセール
- ⑨商店街朝市
- ⑩農産物フェア
- ⑪コラッセ夢ばざーる

(歩く)

- ⑫まちあるきマップ
- ⑬トイレお貸しします
- ⑭“まわって当てよう商品券”スタンプラリー
- ⑮親子まちなか探検隊

表 2-1 歩行者天国（パセオ通り）の実施内容

実験の名称	歩行者天国（パセオ通り）
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来街者が安心して楽しく歩ける空間の形成。</li> <li>・ 開放された道路空間を利用した賑わい創出、交流の拡大。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 19 年 10 月 20 日（土）、27 日（土）</li> <li>・ 平成 19 年 11 月 3 日（土）</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 3 日間</p>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実行委員会事務局（賑わい部会）</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)福島まちづくりセンター</li> <li>・ 福島警察署</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施場所 パセオ通り（並木通り交差点～中央通り交差点）</li> <li>・ 実施内容 一般車両の通行を制限し、歩行者専用の道路空間を創出。</li> <li>・ 実験方法 実施時間：10 時～16 時 交通誘導員、看板による交通規制。 歩道において、パセオワゴンセール、まちなかコンサートを開催。 11 月 3 日は、ももりんポイントカード秋のお楽しみ大抽選会を開催。 「ももりんポイントカード」の特典を広く PR し、利用者に対し加盟店での買い物 を積極的に促進した。 ①豪華賞品多数！抽選コーナー ②当日参加できるご来場感謝コーナー ③「にぎわい座」開催 お茶の囲み取り、子供向けイベント</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>賑わい座の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オープンカフェの様子</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通行止め標識 4 本（福島市観光課より借用）</li> <li>・ 交通規制看板 6 枚</li> <li>・ ボールプール、風船</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通誘導員（警備会社：有資格者）4 人/日×3 日</li> <li>・ 規制看板設置（福島市職員） 4 人/日×3 日</li> <li>・ イベントスタッフ 8 人</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通規制、告知看板の設置に関しては福島警察署と事前に十分な協議が必要。（道路交通法第 5 条）</li> <li>・ 道路占用許可：福島市道路管理者に対し、道路法 32 条に基づく協議が必要。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パセオ通りのスズラン通り商店街において、来街者のおもてなしのため、休憩できるテーブルとイスを設置していた。設置期間は 10 月 31 日の予定であったが、設置期間を延長し、おもてなしを継続した。</li> <li>・ 平成 19 年 10 月 27 日（土）は雨天のため歩行者天国は中止。</li> </ul>

表 2-2 歩行者天国（駅前通り）の実施内容

実験の名称	歩行者天国（駅前通り）		
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来街者が安心して楽しく歩ける空間の形成。</li> <li>・開放された道路空間を利用した賑わい創出、交流の拡大。</li> </ul>		
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 11 月 3 日（土）～11 月 4 日（日） 計 2 日間</li> </ul>		
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会事務局（福島市都市計画課、交通政策課）</li> </ul>		
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人社会福祉協議会、福島の城下まちづくり協議会、NPO 法人エフ・スポーツ</li> <li>・福島学院大学情報ビジネス科、国土交通省福島河川国道事務所調査第二課、ふくしまけん街道交流会、福島市国際交流協会、東北電力(株)福島営業所、置賜町会</li> <li>・福島警察署</li> </ul>		
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 福島駅前通り</li> <li>・実験内容 一般車両の通行を制限し、歩行者専用の道路空間を創出。</li> <li>・実験方法 実施時間：11 時～15 時（交通規制時間 10 時～16 時） 交通誘導員、看板による交通規制。 イベント主体</li> </ul>		
	月 日	イベント名	実施主体
	11 月 3 日(土)	第 20 回ふれあい広場	社会福祉法人社会福祉協議会
		福島城下うまいもの市	福島の城下まちづくり協議会
		ふくしまフレンドパーク	NPO 法人エフ・スポーツ
	11 月 4 日(日)	未来のわたしへ手紙を出そう！	福島学院大学情報ビジネス科
		「学びのエリア」 ～昔のみち、今のみち～	国土交通省福島河川国道事務所 ふくしまけん街道交流会
		結・ゆい・フェスタ 2007	福島市国際交流協会
		ふくしまフレンドパーク	NPO 法人エフ・スポーツ
		東北電力・置賜町会 リサイクルマーケット	東北電力福島営業所 置賜町会
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆第 20 回ふれあい市場 障がい者施設製品展示即売、福祉体験</li> <li>☆福島城下うまいもの市 地元産品の紹介（名物「あぶくま鍋」の紹介・販売）・名店、名品の紹介と販売。</li> <li>☆結・ゆい・フェスタ 2007 ワールドグルメ（各国の名物紹介、販売）・交流団体活動紹介。</li> <li>☆東北電力・置賜町会リサイクルマーケット 環境ボランティア活動として、家庭における不用品等を集め、フリーマーケットを開催し益金を社会福祉基金に寄贈し地域貢献活動の一助とした。 ※その他イベントは別紙実施内容に記述。</li> </ul>			
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通規制看板 8 枚</li> <li>・通行止め標識 6 本（福島市観光課、福島警察署より借用）</li> <li>・セーフティーコーン 30 本、セーフティーコーン錘 30 個、バー 8 本（福島市スポーツ振興公社より借用）</li> <li>・テント 10 張、机 30 台、椅子 100 脚、ゴミ箱 5 個、発電機 2 台</li> </ul>		
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通警備員（警備会社：有資格者） 6 名/日×2 日</li> <li>・交通誘導員（福島市職員、福島県職員） 2 名/日×2 日</li> <li>・規制標識設置（福島市職員） 6 名/日×2 日</li> </ul>		
協議機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県県北保健所（臨時及び露天営業等の取扱要綱）へ飲食店等の臨時出店届（平成 19 年 10 月 25 日届出）を提出</li> </ul>		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通規制、告知看板の設置に関しては福島警察署と事前に十分な調整が必要。（道路交通法第 5 条）</li> <li>・道路占用許可：福島県県北建設事務所長に対し道路法 32 条に基づく協議が必要。</li> </ul>		

表 2-3 まちなかコンサートの実施内容

実験の名称	まちなかコンサート	
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>パセオ通りの空きスペース、街なかの施設を利用し、ストリートミュージックを行い街なかの回遊性を高める。</li> </ul>	
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 19 年 10 月 20 日 (土) 27 日 (土)</li> <li>平成 19 年 11 月 3 日 (土) 4 日 (日)</li> </ul>	計 4 日間
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会事務局 (賑わい部会)</li> </ul>	
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島青年会議所</li> <li>出演者 (18 団体)</li> </ul>	
	出演日	出演者
	10 月 20 日 (土)	Snow Rabbit Jazz Orchestra、Daddy Beat With Friends THE NIGHT PIRATES、Super Dimension、鈴木博子 アマデオ、IN THE WIND
	10 月 27 日 (土)	Daddy Beat With Friends、THE NIGHT PIRATES シュガーケン&ピタースイーツ、アマデオ、鈴木博子 Super Dimension、西口 BOX
	11 月 3 日 (土)	中吉、Daddy Beat With Friends、The Foresail キングスビスケット、スモール・マーシー、IN THE WIND THE NIGHT PIRATES、Blues Cruiser、ave、鈴木博子 橘 梁盟とアートさをりエンジェルズ、アマデオ、西口 BOX
	11 月 4 日 (日)	Snow Rabbit Jazz Orchestra、ファジーネーブル、 ニューファンタスティックジャズオーケストラ
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施場所 パセオ通り みずほ広場、屋台村前 街なか施設 福島学院大学、こむこむ</li> <li>実施内容 福島市商業労政課が出演者を募集し、登録を行う。 登録された出演者が各実施場所で演奏を実施。</li> </ul>	 <p>まちなかコンサートの様子</p>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>音響設備 (マイク、アンプ、スピーカー等)</li> <li>長椅子 6 台</li> <li>案内 PR 看板 6 枚</li> <li>出演者駐車場 (駐車券)</li> </ul>	
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付スタッフ (福島市職員) 3 人/日×4 日間</li> <li>会場整理スタッフ (福島青年会議所) 5 人/日×2 日間</li> </ul>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 19 年 10 月 27 日 (土) は雨天のため中止</li> </ul>	

表 2-4 街なかイベント広場の実施内容

実験の名称	街なかイベント広場																																		
実験のねらい	・街なか広場において様々なイベントを実施することで、賑わいを創出し、回遊の拠点とし交流の拡大を図る。																																		
実施時期	・平成 19 年 11 月 3 日（土） 計 1 日間																																		
実施主体	・福島商業再発見イベント実行委員会 ・福島県県北地方振興局、ふくしま拠点まちづくり協議会																																		
関連主体 支援組織	・福島市商店街連合会、福島市商店街連合会青年部 ・福島商工会議所 ・福島、二本松、伊達、本宮市、桑折、国見、川俣、飯野町、大玉村 ・YAGO メディカルフィットネスクラブ																																		
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 街なか広場</li> <li>・実験内容 「平成 福島座」 <table border="1" data-bbox="405 768 1141 1037"> <thead> <tr> <th>出演者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東北電力・鼓響会</td> <td>太鼓演奏</td> </tr> <tr> <td>野田三味線店</td> <td>津軽三味線</td> </tr> <tr> <td>京本千恵美</td> <td>パントマイム</td> </tr> <tr> <td>つのよしひろ</td> <td>パントマイム</td> </tr> <tr> <td>★☆☆弁当座</td> <td>お笑いライブ</td> </tr> <tr> <td>パシオン</td> <td>フラメンコ</td> </tr> <tr> <td>マコピー</td> <td>マジック</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・商店街逸品コーナー <table border="1" data-bbox="405 1099 1339 1400"> <thead> <tr> <th>出店者</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふくしま餃子の会</td> <td>ふくしま餃子</td> </tr> <tr> <td>酒彩 幸味亭</td> <td>大判焼き、たこ焼き 他</td> </tr> <tr> <td>つけもの高田食品店</td> <td>焼き鳥、五目玉子焼き、惣菜 他</td> </tr> <tr> <td>はる・パティオ</td> <td>クレープ</td> </tr> <tr> <td>中野屋菓子舗</td> <td>豆大福、まんじゅう、パウンドケーキ 他</td> </tr> <tr> <td>絹の店 キヌ子</td> <td>正絹古布による和小物</td> </tr> <tr> <td>YAGO メディカルフィットネスクラブ</td> <td>健康づくりコーナー</td> </tr> <tr> <td>ちんがらや</td> <td>和雑貨</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・チビッコおまつり広場 ミニ縁日（カップインワン、玉コン・プリンパン販売 等） びつき山の学校木工教室、わたあめ・ポップコーンコーナー</li> <li>・県北うまいもの市場 県北地域 9 市町村の情報コーナー、産品販売</li> <li>・まちなか歴史ウォーキングツアー まちなかの歴史スポットを巡るツアー ショートとロングの 2 コースを設定</li> </ul>	出演者	内容	東北電力・鼓響会	太鼓演奏	野田三味線店	津軽三味線	京本千恵美	パントマイム	つのよしひろ	パントマイム	★☆☆弁当座	お笑いライブ	パシオン	フラメンコ	マコピー	マジック	出店者	内容	ふくしま餃子の会	ふくしま餃子	酒彩 幸味亭	大判焼き、たこ焼き 他	つけもの高田食品店	焼き鳥、五目玉子焼き、惣菜 他	はる・パティオ	クレープ	中野屋菓子舗	豆大福、まんじゅう、パウンドケーキ 他	絹の店 キヌ子	正絹古布による和小物	YAGO メディカルフィットネスクラブ	健康づくりコーナー	ちんがらや	和雑貨
出演者	内容																																		
東北電力・鼓響会	太鼓演奏																																		
野田三味線店	津軽三味線																																		
京本千恵美	パントマイム																																		
つのよしひろ	パントマイム																																		
★☆☆弁当座	お笑いライブ																																		
パシオン	フラメンコ																																		
マコピー	マジック																																		
出店者	内容																																		
ふくしま餃子の会	ふくしま餃子																																		
酒彩 幸味亭	大判焼き、たこ焼き 他																																		
つけもの高田食品店	焼き鳥、五目玉子焼き、惣菜 他																																		
はる・パティオ	クレープ																																		
中野屋菓子舗	豆大福、まんじゅう、パウンドケーキ 他																																		
絹の店 キヌ子	正絹古布による和小物																																		
YAGO メディカルフィットネスクラブ	健康づくりコーナー																																		
ちんがらや	和雑貨																																		
機材	・仮設ステージ（音響、椅子 他） ・案内 PR 看板 2 枚 ・テント 15 張、机 30 台、椅子 60 脚、丸テーブル 5 組																																		
スタッフ	・運営管理、入場者カウントスタッフ等 15 人 ツアーガイド 4 人																																		
協議機関	・福島県県北保健所（臨時及び露天営業等の取扱要綱）へ飲食店等の臨時出店届を提出																																		

表 2-5 未来のわたしへ手紙を出そう！の実施内容

実験の名称	未来のわたしへ手紙を出そう！
実験のねらい	・ 歩行者天国化した道路空間で記念撮影のサービスを実施し、賑わいを創出する。
実施時期	・ 平成 19 年 11 月 4 日（日） 計 1 日間
実施主体	・ 福島学院大学情報ビジネス科
関連主体 支援組織	・ 実行委員会事務局（福島市都市計画課）
実験の内容	<p>・ 実施場所 駅前通り(福島駅側)</p> <p>・ 実施内容 中心市街地にある福島学院大学の先生と学生が、自主的にまちなかの活性化・賑わいについて意見を出し合い、来街者に喜んでもらえるイベントを企画した。 福島駅を背景に参加者を写真撮影し、ハガキにプリントしてコメントをいれてもらい、五年後に郵送する。 五年間のハガキの保存については、福島学院大学と実行委員会事務局（福島市都市計画課）で協議し、福島市都市計画課で保存し、五年後に福島学院大学又は、企画した学生に連絡して郵送することとした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>イベント状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ハガキ作成までの説明</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタルカメラ、パソコン、プリンター</li> <li>・ テント 2 張（榊福島まちづくりセンターより借用）</li> <li>・ 机 6 台、椅子 40 脚（福島市中央学習センターより借用）</li> <li>・ 発電機（福島市下水道管理センターより借用）</li> <li>・ ハガキ 300 枚</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島学院大学スタッフ 8 人</li> <li>・ テント設営（福島市職員） 6 人</li> </ul>

表 2-6 「学びのエリア」の実施内容

実験の名称	「学びのエリア」～昔のみち、今のみち～
実験のねらい	・歩行者天国化した道路空間で賑わいを創出する。
実施時期	・平成 19 年 11 月 4 日（日） 計 1 日間
実施主体	・国土交通省福島河川国道事務所 ・ふくしまけん街道交流会
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 駅前通り</li> <li>・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学びのパネル展 “福島のみち”の昔と今をパネルで展示。</li> <li>②建設機械ラジコンコーナー 子供が動かして遊べるラジコン</li> <li>③ペーパークラフトコーナー</li> <li>④クイズラリー 賞品が当たる催し</li> </ul> </li> </ul> <p>※ぬいぐるみを着用したスタッフが賑わいを演出する。</p>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント、机、椅子</li> <li>・アンケート</li> <li>・ラジコン機械、パネル</li> </ul>
スタッフ	・スタッフ（国土交通省福島河川国道事務所職員 ほか） 8 人



パネル展の様子



賑わい演出の様子

表 2-7 ふくしまフレンドパークの実施内容

実験の名称	ふくしまフレンドパーク
実験のねらい	・歩行者天国化した道路空間でスポーツレクリエーションを実施し賑わいを創出する。
実施時期	・平成 19 年 11 月 4 日（日） 計 1 日間 （11 月 3 日は、例年のイベントとして実施）
実施主体	・NPO 法人 エフ・スポーツ
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 駅前通り（国道 13 号側）</li> <li>・実施内容 実施時間：11 時～15 時 ボウリング、バランスボール乗り、フリースロー、ディスクゲッター、玉入れ、輪投げ、パン食い競争のアトラクションを実施。 先着 300 名に記念品を進呈。 参加費 100 円</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「玉入れ」の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「フリースロー」の様子</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトラクション機材 1 式</li> <li>・受付用机 2 台、椅子 6 脚</li> <li>・発電機 1 台</li> </ul>
スタッフ	・アトラクションスタッフ 18 人、受付スタッフ 2 人、出店スタッフ 2 人

表 2-8 パセオワゴンセールの実施内容

実験の名称	パセオワゴンセール
実験のねらい	・パセオ通りの各店舗の店先でワゴンセールを実施し、街なかの回遊性と集客力を高める。
実施時期	・平成 19 年 10 月 20 日（土）～11 月 4 日（日） 計 16 日間
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パセオ通り協同組合</li> <li>・万世町商店会、置賜町スズラン通り商店街協同組合、本町商店街振興組合</li> <li>・参加店（25 店） 古閑商店、ジュエリーコセキ、古今堂書店、山海川、四季彩、ブラットショップ、オリジナルニットあーむ、めがね工房ゲン、うつわの岡崎、阿部庄、ab look、ナンジョウ商店、SEKIYA、ドリームハウス ポニー、あきたや楽器店、ハーヴェストミュージック、日野屋楽器、津野田鏡店、COZY、睦、マスクンプラスアルファ、サンチェ・イゲタ、まちなか夢工房、川俣屋商店、わかさや呉服店</li> </ul>
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 パセオ通り</li> <li>・実施内容 店先に同じデザインのワゴンを設置し格安品等を販売する。 同じデザインのプレートに張り、通り全体で統一し一体感を創出。</li> </ul>  <p>共通プレート</p>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン 23 台</li> <li>・案内 PR 看板 4 枚、ポスター 25 枚</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各店舗対応</li> <li>・看板設置（福島市職員）3 人/日×2 日</li> </ul>
関係法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法 77 条 3 号許可 道路使用許可申請 個店 22 店分申請（2,200 円/件） （参加 25 店舗のうち自己敷地内実施 3 店舗）</li> </ul>

表 2-9 商店街朝市の実施内容

実験の名称	商店街朝市																												
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街なか広場において生鮮食料品を提供し、集客を図る。</li> <li>・地産地消、対面販売によるふれあい交流の促進。</li> </ul>																												
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 11 月 3 日（土） 計 1 日間</li> </ul>																												
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島商業再発見イベント実行委員会</li> </ul>																												
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島市商店街連合会、福島市商店街連合会青年部、福島商工会議所</li> <li>・出店者</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>出店者</th> <th>出店内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つけもの高田屋食品店</td> <td>名物 五目玉子焼き 他</td> </tr> <tr> <td>柳町富士屋</td> <td>炊きたてご飯、味噌汁 他</td> </tr> <tr> <td>平和合作社</td> <td>名物バナナ 他</td> </tr> <tr> <td>中合</td> <td>冬物衣料</td> </tr> <tr> <td>いちい</td> <td>菓子類</td> </tr> <tr> <td>山田金物</td> <td>ブルーヒーター</td> </tr> <tr> <td>藪内商店</td> <td>生活雑貨</td> </tr> <tr> <td>駒田屋本舗</td> <td>おもち 他</td> </tr> <tr> <td>大文字屋本店</td> <td>納豆 他</td> </tr> <tr> <td>稲荷屋</td> <td>喫茶コーナー</td> </tr> <tr> <td>光月堂</td> <td>出来たてのパン 他</td> </tr> <tr> <td>酒彩 幸味亭</td> <td>あったか〜いタコ焼き 他</td> </tr> <tr> <td>福島市商店街連合会青年部</td> <td>生卵</td> </tr> </tbody> </table>	出店者	出店内容	つけもの高田屋食品店	名物 五目玉子焼き 他	柳町富士屋	炊きたてご飯、味噌汁 他	平和合作社	名物バナナ 他	中合	冬物衣料	いちい	菓子類	山田金物	ブルーヒーター	藪内商店	生活雑貨	駒田屋本舗	おもち 他	大文字屋本店	納豆 他	稲荷屋	喫茶コーナー	光月堂	出来たてのパン 他	酒彩 幸味亭	あったか〜いタコ焼き 他	福島市商店街連合会青年部	生卵
出店者	出店内容																												
つけもの高田屋食品店	名物 五目玉子焼き 他																												
柳町富士屋	炊きたてご飯、味噌汁 他																												
平和合作社	名物バナナ 他																												
中合	冬物衣料																												
いちい	菓子類																												
山田金物	ブルーヒーター																												
藪内商店	生活雑貨																												
駒田屋本舗	おもち 他																												
大文字屋本店	納豆 他																												
稲荷屋	喫茶コーナー																												
光月堂	出来たてのパン 他																												
酒彩 幸味亭	あったか〜いタコ焼き 他																												
福島市商店街連合会青年部	生卵																												
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 街なか広場</li> <li>・実施内容 実施時間：6:30～商品がなくなるまで。 サービス（目玉）として、生タマゴ 10 個入り(1パック)10 円、また、3 店舗まわると景品が当たる抽選会に参加できるお買い物スタンプラリーを開催。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>抽選会の様子</p> </div>																												
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント 6 張、机 12 台、椅子 25 脚、丸テーブル 5 組</li> <li>・抽選会に使用する器具一式</li> </ul>																												
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営管理、入場者カウントスタッフ等 20 名</li> </ul>																												
協議機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県県北保健所（臨時及び露天営業等の取扱要綱）へ飲食店等の臨時出店届を提出</li> </ul>																												

表 2-10 農産物フェアの実施内容

実験の名称	農産物フェア
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物を青空市場の形式で提供。</li> <li>・まちなかでの販売による交流の拡大、集客増加。</li> </ul>
実施時期	・平成 19 年 10 月 20 日(土)、27 日(土)、11 月 3 日(土) 計 3 日間
実施主体	・JA 新ふくしま農業協同組合
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局(商業労政課)
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 パセオ通り常陽銀行前</li> <li>・実施内容 農産物の販売 野菜(白菜・大根・ねぎ 等) 果物(リンゴ、柿 等) その他(キノコ 等)</li> </ul>  <p style="text-align: center;">農産物フェアの様子</p>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント 1 張、テーブル 2 台</li> <li>・PR看板 1 枚</li> </ul>
スタッフ	・販売スタッフ(JA 新ふくしま農業協同組合) 3 人/日×3 日

表 2-11 コラッセ夢ばざーの実施内容

実験の名称	コラッセ夢ばざー
実験のねらい	・西口の交流施設において、バザー等を開催し、駅西口と駅東口の回遊性を向上させる。
実施時期	・平成 19 年 11 月 4 日(日) 計 1 日間
実施主体	・福島商工会議所女性会
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局（福島商工会議所）
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 コラッセふくしま1F</li> <li>・実施内容 第 25 回チャリティーバザーの開催。 取扱品 日用品雑貨、衣料品 等 ハーブの演奏</li> </ul>  <p style="text-align: center;">バザーの様子</p>  <p style="text-align: center;">ハーブ演奏の様子</p>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机 8 台、椅子 40 脚</li> <li>・PR看板 1 枚</li> </ul>
スタッフ	・スタッフ 40 人

表 2-12 まちあるきマップの実施内容

<p>実験の名称</p>	<p>まちあるきマップ</p>																																																																																																																						
<p>実験のねらい</p>	<p>・ 社会実験賑わいイベントの情報提供による来街者の増加及び回遊性の向上。</p>																																																																																																																						
<p>実施時期</p>	<p>・ 平成 19 年 10 月 20 日（土）～11 月 4 日（日） 計 16 日間</p>																																																																																																																						
<p>実施主体</p>	<p>・ 実行委員会事務局</p>																																																																																																																						
<p>実験の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マップ内容（表面） 実験期間中のイベントを分かりやすく記載。</li> <li>・ マップ内容（裏面） まちなかの主要施設を入れた分かりやすい地図。 ワゴンセール実施店舗名を記載。 まちなかコンサート出演者の紹介。 トイレお貸しします！店舗を地図に記載。</li> <li>・ マップの配布 リビング福島に折込（6.5 万部） 各公共施設、商店街、公共交通機関へ配布。 実験チラシとともに、期間前の朝の通勤時間に駅前配布（実行委員会事務局：福島県職員） 期間中は、駅前広場や各通り、イベント会場等で配布した。</li> </ul> <div data-bbox="443 1025 1018 1848" style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">● まちなかコンサート出演者紹介 ●</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>出演者</th> <th>出演時間</th> <th>出演場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月20日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月20日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月21日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月21日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月22日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月22日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月23日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月24日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月24日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月25日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月25日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月26日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月26日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月27日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月28日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月28日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月29日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月29日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月30日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月30日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>10月31日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>11月1日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>11月1日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>11月2日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>11月2日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>11月3日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>11月3日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> <tr> <td>11月4日</td> <td>19:00～19:30</td> <td>11月4日</td> <td>19:00～19:30</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">● ワゴンセール店舗 ●</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>店舗名</th> <th>開催日時</th> <th>開催時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 100円ショップ</td> <td>10月20日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>2. 100円ショップ</td> <td>10月21日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>3. 100円ショップ</td> <td>10月22日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>4. 100円ショップ</td> <td>10月23日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>5. 100円ショップ</td> <td>10月24日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>6. 100円ショップ</td> <td>10月25日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>7. 100円ショップ</td> <td>10月26日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>8. 100円ショップ</td> <td>10月27日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>9. 100円ショップ</td> <td>10月28日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>10. 100円ショップ</td> <td>10月29日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>11. 100円ショップ</td> <td>10月30日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>12. 100円ショップ</td> <td>10月31日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>13. 100円ショップ</td> <td>11月1日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>14. 100円ショップ</td> <td>11月2日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>15. 100円ショップ</td> <td>11月3日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> <tr> <td>16. 100円ショップ</td> <td>11月4日</td> <td>10:00～14:00</td> </tr> </tbody> </table> </div>	出演者	出演時間	出演場所	10月20日	19:00～19:30	10月20日	19:00～19:30	10月21日	19:00～19:30	10月21日	19:00～19:30	10月22日	19:00～19:30	10月22日	19:00～19:30	10月23日	19:00～19:30	10月23日	19:00～19:30	10月24日	19:00～19:30	10月24日	19:00～19:30	10月25日	19:00～19:30	10月25日	19:00～19:30	10月26日	19:00～19:30	10月26日	19:00～19:30	10月27日	19:00～19:30	10月27日	19:00～19:30	10月28日	19:00～19:30	10月28日	19:00～19:30	10月29日	19:00～19:30	10月29日	19:00～19:30	10月30日	19:00～19:30	10月30日	19:00～19:30	10月31日	19:00～19:30	10月31日	19:00～19:30	11月1日	19:00～19:30	11月1日	19:00～19:30	11月2日	19:00～19:30	11月2日	19:00～19:30	11月3日	19:00～19:30	11月3日	19:00～19:30	11月4日	19:00～19:30	11月4日	19:00～19:30	店舗名	開催日時	開催時間	1. 100円ショップ	10月20日	10:00～14:00	2. 100円ショップ	10月21日	10:00～14:00	3. 100円ショップ	10月22日	10:00～14:00	4. 100円ショップ	10月23日	10:00～14:00	5. 100円ショップ	10月24日	10:00～14:00	6. 100円ショップ	10月25日	10:00～14:00	7. 100円ショップ	10月26日	10:00～14:00	8. 100円ショップ	10月27日	10:00～14:00	9. 100円ショップ	10月28日	10:00～14:00	10. 100円ショップ	10月29日	10:00～14:00	11. 100円ショップ	10月30日	10:00～14:00	12. 100円ショップ	10月31日	10:00～14:00	13. 100円ショップ	11月1日	10:00～14:00	14. 100円ショップ	11月2日	10:00～14:00	15. 100円ショップ	11月3日	10:00～14:00	16. 100円ショップ	11月4日	10:00～14:00
出演者	出演時間	出演場所																																																																																																																					
10月20日	19:00～19:30	10月20日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月21日	19:00～19:30	10月21日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月22日	19:00～19:30	10月22日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月23日	19:00～19:30	10月23日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月24日	19:00～19:30	10月24日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月25日	19:00～19:30	10月25日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月26日	19:00～19:30	10月26日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月27日	19:00～19:30	10月27日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月28日	19:00～19:30	10月28日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月29日	19:00～19:30	10月29日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月30日	19:00～19:30	10月30日	19:00～19:30																																																																																																																				
10月31日	19:00～19:30	10月31日	19:00～19:30																																																																																																																				
11月1日	19:00～19:30	11月1日	19:00～19:30																																																																																																																				
11月2日	19:00～19:30	11月2日	19:00～19:30																																																																																																																				
11月3日	19:00～19:30	11月3日	19:00～19:30																																																																																																																				
11月4日	19:00～19:30	11月4日	19:00～19:30																																																																																																																				
店舗名	開催日時	開催時間																																																																																																																					
1. 100円ショップ	10月20日	10:00～14:00																																																																																																																					
2. 100円ショップ	10月21日	10:00～14:00																																																																																																																					
3. 100円ショップ	10月22日	10:00～14:00																																																																																																																					
4. 100円ショップ	10月23日	10:00～14:00																																																																																																																					
5. 100円ショップ	10月24日	10:00～14:00																																																																																																																					
6. 100円ショップ	10月25日	10:00～14:00																																																																																																																					
7. 100円ショップ	10月26日	10:00～14:00																																																																																																																					
8. 100円ショップ	10月27日	10:00～14:00																																																																																																																					
9. 100円ショップ	10月28日	10:00～14:00																																																																																																																					
10. 100円ショップ	10月29日	10:00～14:00																																																																																																																					
11. 100円ショップ	10月30日	10:00～14:00																																																																																																																					
12. 100円ショップ	10月31日	10:00～14:00																																																																																																																					
13. 100円ショップ	11月1日	10:00～14:00																																																																																																																					
14. 100円ショップ	11月2日	10:00～14:00																																																																																																																					
15. 100円ショップ	11月3日	10:00～14:00																																																																																																																					
16. 100円ショップ	11月4日	10:00～14:00																																																																																																																					
<p>機材</p>	<p>・ マップ 80,000 枚</p>																																																																																																																						

表 2-13 トイレお貸しますの実施内容

実験の名称	トイレお貸します						
実験のねらい	・ 実験期間中の来街者への“おもてなし”、“まち歩き”の補助。						
実施時期	・ 平成 19 年 10 月 20 日（土）～11 月 4 日（日） 計 16 日間						
実施主体	・ 実行委員会事務局（福島商工会議所）						
関連主体 支援組織	<p>・ 各店舗、施設、公共施設 （24 店舗、5 施設、4 公共施設 計 33 店舗・施設）</p> <table border="1"> <tr> <td>店舗</td> <td>あきたや楽器店、うさぎや、エスパル福島店、大政食堂 おしゃれ下着の店アオヤギ、(有)川俣屋商店、弘明堂薬局 カクシ福島置賜町店・福島中町店、サンライズパーキング サンチェ イゲタ本店、(有)清水屋青果店、じゅり庵 まちなか夢工房、趣味のきもの とみ田、竹屋旅館 東京西川フェッテっせんや、(株)根本金物、(株)中合 福島店 ニュー福ビル、花の店ハナセン、ヘアサロンさんかく ラヴィレファーマーズ 食品館、ラヴィレ番丁</td> </tr> <tr> <td>施設</td> <td>ふくしま屋台村「こらんしょ横丁」、福島学院大学福島駅前キャンパス ふくしんギャラリー、ホテル辰巳屋、まちなか宝生園</td> </tr> <tr> <td>公共施設</td> <td>ウィズもとまち、こむこむ、チェンバおおまち、ふれあい歴史館</td> </tr> </table>	店舗	あきたや楽器店、うさぎや、エスパル福島店、大政食堂 おしゃれ下着の店アオヤギ、(有)川俣屋商店、弘明堂薬局 カクシ福島置賜町店・福島中町店、サンライズパーキング サンチェ イゲタ本店、(有)清水屋青果店、じゅり庵 まちなか夢工房、趣味のきもの とみ田、竹屋旅館 東京西川フェッテっせんや、(株)根本金物、(株)中合 福島店 ニュー福ビル、花の店ハナセン、ヘアサロンさんかく ラヴィレファーマーズ 食品館、ラヴィレ番丁	施設	ふくしま屋台村「こらんしょ横丁」、福島学院大学福島駅前キャンパス ふくしんギャラリー、ホテル辰巳屋、まちなか宝生園	公共施設	ウィズもとまち、こむこむ、チェンバおおまち、ふれあい歴史館
店舗	あきたや楽器店、うさぎや、エスパル福島店、大政食堂 おしゃれ下着の店アオヤギ、(有)川俣屋商店、弘明堂薬局 カクシ福島置賜町店・福島中町店、サンライズパーキング サンチェ イゲタ本店、(有)清水屋青果店、じゅり庵 まちなか夢工房、趣味のきもの とみ田、竹屋旅館 東京西川フェッテっせんや、(株)根本金物、(株)中合 福島店 ニュー福ビル、花の店ハナセン、ヘアサロンさんかく ラヴィレファーマーズ 食品館、ラヴィレ番丁						
施設	ふくしま屋台村「こらんしょ横丁」、福島学院大学福島駅前キャンパス ふくしんギャラリー、ホテル辰巳屋、まちなか宝生園						
公共施設	ウィズもとまち、こむこむ、チェンバおおまち、ふれあい歴史館						
実験の内容	<p>・ 実験内容</p> <p>社会実験 PR チラシ、まちあるきマップに記載し来街者にトイレを案内。 普段から「おもてなし」の心を持ち実施している商店もあるが、実験実施に伴い、店舗・施設等に統一した取組みとして「トイレお貸しいたします。お気軽にお立ち寄り下さい。」と記載したシールを貼り、気軽に入店できる仕組みとした。</p>  <p>トイレお貸しいたします！ステッカー</p>						
機材	・ ステッカー 80 枚						
備考	・ 各店舗が対応						

表 2-14 スタンプラリーの実施内容

<p>実験の名称</p>	<p>“まわって当てよう商品券”スタンプラリー</p>
<p>実験のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊性の向上。</li> <li>・地域商品券の発行により地元商店街の利用促進を図る。</li> </ul>
<p>実施時期</p>	<p>・平成 19 年 10 月 20 日(土)～11 月 4 日(日) 計 16 日間</p>
<p>実施主体</p>	<p>・実行委員会事務局（福島商工会議所）</p>
<p>関連主体 支援組織</p>	<p>・チェンバおおまち、ふれあい歴史館、福島稲荷神社、ふくしんギャラリー</p>
<p>実験の内容</p>	<p>・実施内容 まちなかの 6 施設にスタンプを設置する他「ももりん」1 日フリー乗車券、タクシー案内チラシにもスタンプマークを掲載し、その中の 3 箇所を回り、またはマークを貼付し応募した人に対し“地域商品券”が当たる抽選会を実施する。</p> <p>スタンプ設置施設 ①チェンバおおまち②ふれあい歴史館③福島稲荷神社④ふくしんギャラリー ⑤福島市観光案内所（臨時）⑥まちなか総合案内所</p> <p>※応募箱は、まちなか総合案内所に常設する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="403 943 823 1514"> <p>表面</p> </div> <div data-bbox="858 943 1262 1514"> <p>裏面</p> </div> </div>
<p>機材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募箱 1 個</li> <li>・応募用紙 30,000 枚</li> <li>・スタンプ、スタンプ台 6 組</li> <li>・案内看板 6 枚</li> <li>・当選者通知用ハガキ 30 枚</li> <li>・地域商品券（福島市共通商品券「プレミアム5」） 30 名分</li> </ul>
<p>スタッフ</p>	<p>・まちなか総合案内所スタッフ 3 人/日×16 日</p>
<p>備考</p>	<p>・抽選日 平成 19 年 11 月 8 日 ハガキにより当選通知</p>



## 2-2. 交通社会実験の実施内容

交通実験について以下の実験メニューの実施内容を記載した。

- ①循環バス（まちなか循環線）
- ②循環バス（西口循環線）
- ③循環バス（笹谷桜水駅循環線）
- ④ももりんレンタサイクル
- ⑤人と車の共存モール（駅前通り一方通行実験）
- ⑥市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券
- ⑦電車と市内循環線の1日乗り放題共通乗車券
- ⑧交差点の一時停止化

表 2-16 循環バス（まちなか循環線）の実施内容

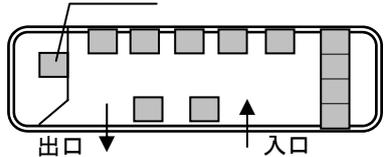
実験の名称	まちなか循環線
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者、子供連れなど誰もが快適に移動できるまちづくり。</li> <li>・まちなかのモビリティ改善。</li> <li>・公共交通（バス）を使ってまちなか回遊性の向上を目指す。</li> <li>・駅東西通路を通らずともお年寄りや子連れの方々の利便性を向上させまちなかに来るきっかけをつくる。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線① 平成 19 年 10 月 20 日（土）～10 月 21 日（日）</li> <li>・路線② 平成 19 年 11 月 3 日（土）～11 月 4 日（日）</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 4 日間</p>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験実行委員会（交通部会）</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行委託；福島交通（株）福島支社</li> <li>・ポンチョ貸出；日野自動車（株）、福島日野自動車販売（株）</li> <li>・事務（手続き、協議窓口）；福島市交通政策課</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験場所 運行ルートについては、P11 を参照。</li> <li>・実験内容 回遊性の向上を目指して、中心市街地の主な通りを低床型コミュニティバスで巡回し、高齢者や障がい者、子供連れなどに配慮し誰にでも乗車しやすい環境とした。歩行者が多い通りにコミュニティ型の 19 人乗りの小型バス 1 台を無料で運行。 路線① 駅東口と街なか広場、稲荷神社、万世町等を回るルートとした。 路線② 駅西口と東口を結びコラッセ福島やこむこむを通るルートとした。 イベントを開催する土日の 10 時～16 時に運行。 〔 10:00、10:20、10:40、11:00、11:30、12:30、13:00、13:20、13:40、 14:10、14:40、15:00、15:20、15:40、16:00（15 本/日） 〕</li> </ul>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型バス 1 台（日野自動車（株）より無償貸し出し）</li> <li>・バス乗場 バス停留所 路線① 7 箇所（時刻表、バス停表示板設置） 路線② 8 箇所（時刻表、バス停表示板設置）</li> <li>・無料バス名表示板</li> <li>・小型バス車両仕様</li> <li>・ 36 人乗（座席 11 人、立席 24 人、乗務員 1 人）</li> <li>・低床型（車椅子乗車可能）</li> </ul> <p>（座席レイアウト）</p>  
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員 1 人（運行委託）</li> <li>・アンケート業務 1 人（市職員：交通政策課）</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運転手が利用者数をカウント</li> <li>・アンケート調査は、市職員が乗車し実施</li> </ul>
協議機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行：国土交通省東北運輸局福島支局輸送課</li> <li>・交通安全：福島警察署交通第一課</li> <li>・道路管理者：福島市道路管理課 福島県県北建設事務所地域保全グループ</li> </ul>

表2-17 循環バス（西口循環線）の実施内容

実験の名称	西口循環線
実験のねらい	・福島駅西口周辺の公共交通空白地区にバスを走らせ、主に高齢者や子供連れの方々に買物等のために駅東西間を回遊してもらい、市街地の活性化を図る。
実施時期	・平成19年10月20日（土）～ 11月18日（金） 30日間
実施主体	・社会実験実行委員会（交通部会）
関連主体 支援組織	・運転委託 福島交通(株)福島支社 ・事務（手続き・協議窓口） 福島市交通政策課
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験場所 運行ルートについては、P12を参照</li> <li>・実験内容 バスの前面に“共通ロゴ”を着け、親しみやすさの演出及び認識性を向上させた。 駅西口の公共交通空白地区 沿線住民に駅東口への回遊性を高める。 乗合バス（小型）1台で9:15～17:45まで30分間隔で18回を一乗車大人100円小人50円の有料で運行。 駅東口と駅西口の空白地区（太田町・八木田橋・須川町・矢剣町・五月町）より駅東口に戻ってくるルートとした。</li> </ul>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合バス小型1台（三菱ふそう） 車両仕様 定員45名（座席19名、立席25名、乗務員1名）</li> <li>・バス乗場（停留所） 8箇所</li> </ul>  <p style="text-align: center;">バス運行の様子</p>
スタッフ	・乗務員 1名
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員が利用者数をカウント</li> <li>・運行終了後、実績報告書（収入及び利用人数）を作成し、市交通政策課へ提出</li> </ul>
協議機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行（運輸許可関係）：国土交通省東北運輸局福島支局運輸課</li> <li>・交通安全（道路使用許可）：福島警察署交通第一課</li> <li>・道路管理者（道路占有許可）：福島市道路管理課</li> </ul>
関係法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島運輸支局へ道路運送法 第4条「一般旅客自動車運送事業の許可」、第5条「許可申請」を申請（福島交通(株)）</li> <li>・福島市道路管理者へ道路法 32条許可を申請（バス停留所の占用）</li> </ul>
備考	・市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券対象系統

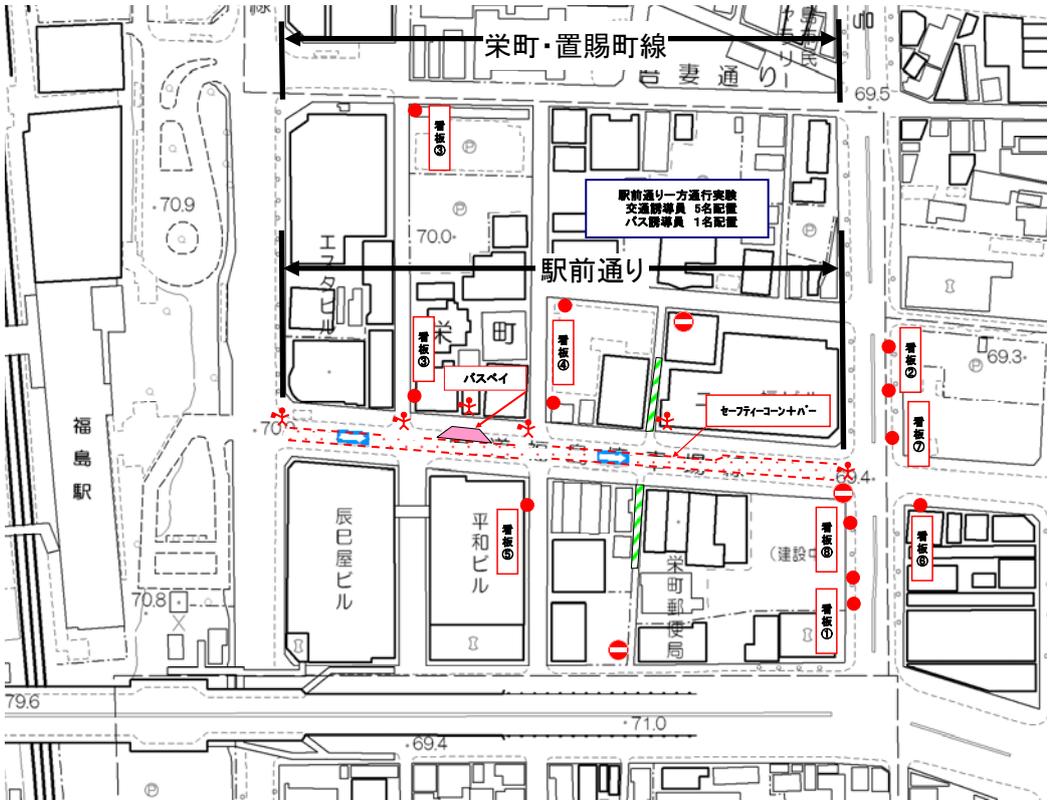
表 2-18 循環バス（笹谷桜水駅循環線）の実施内容

実験の名称	笹谷桜水駅循環線
実験のねらい	・バスと電車の乗り継ぎによる駅周辺への買物等人の呼び込みを行い市街地の活性化を図る。
実施時期	・平成 19 年 10 月 20 日(土)、21 日(日)、11 月 3 日(土)、4 日(日) 計4日間
実施主体	・社会実験実行委員会（交通部会）
関連主体 支援組織	・運転委託 福島交通(株)福島支社 ・事務（手続き・協議窓口） 福島市交通政策課
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 運行ルートについては、P12 を参照。</li> <li>・実験内容 バスの前面に“共通ロゴ”を着け、親しみやすさの演出及び認識性を向上させた。福島市の西部地区に位置する笹谷桜水団地内の住民を最寄りの駅舎（桜水）までバスで運び、電車で駅東口に行っていただく。 乗合バス（小型）1 台で 9:12～17:51 まで 19 回を一乗車大人 100 円小人 50 円の有料で運行。 桜水駅から笹谷桜水団地内を循環させ、桜水駅まで戻ってくるルートとした。</li> </ul>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合バス小型 1 台（三菱ふそう） 車両仕様 定員 45 名（座席 19 名、立席 25 名、乗務員 1 名）</li> <li>・バス乗場（停留所） 13箇所</li> </ul>  <p>桜水駅（飯坂電車駅）に到着した様子</p>
スタッフ	・乗務員 1 名
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗務員が利用者数をカウント</li> <li>・運行終了後、実績報告書（収入及び利用人数）を作成し、市交通政策課へ提出。</li> </ul>
協議機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス運行： 国土交通省東北運輸局福島支局運輸課</li> <li>・交通安全： 福島警察署交通第一課</li> <li>・道路管理者：福島市道路管理課</li> </ul>
関係法令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島運輸支局へ道路運送法 第4条「一般旅客自動車運送事業の許可」、第5条「許可申請」を申請（福島交通(株)）</li> <li>・バス停留所については、民地に設置したため、占用許可は不要。</li> </ul>

表 2-19 ももりんレンタサイクルの実施内容

実験の名称	ももりんレンタサイクル
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の活性化の一環として、都心回遊の利便性向上を目的とする「レンタサイクル事業」を、貸出所間の相互乗り入れや、貸出所増設を行うことで、利用者の意向・システムの問題点及び利用状況について調査する。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 19 年 10 月 20 日（土）～11 月 4 日（日） 計 16 日間</li> </ul>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会実験実行委員会（交通部会）</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務委託：（社）シルバー人材センター</li> <li>・ 事務：福島市交通政策課</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施場所 曾根田駅前と福島駅前公共広場（ツイン広場）に貸出所を増設し6箇所とした。貸出場所については、P11 を参照</li> <li>・ 実施内容 貸出所間の返却を自由とし、中心市街地の回遊性を高める。</li> </ul>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車 既存レンタサイクル56台+再生自転車15台（シルバー人材センターより）</li> <li>・ 自転車保管用幌 1 枚</li> <li>・ 自転車保管用施錠チェーン 2 本</li> <li>・ 自転車保管用施錠南京錠 1 1 個</li> <li>・ 貸出所用テント 1 張</li> <li>・ 貸出所用テントウェイト 8 個</li> <li>・ 貸出所用電気ストーブ 1 台</li> <li>・ 貸出所用携帯電話</li> <li>・ 看板 9 枚</li> <li>・ 禁止区域連絡用無線機 8 台</li> <li>・ 社会実験ロゴ 7 1 枚</li> <li>・ 社会実験ロゴ取付用ケーブルタイ 6 袋</li> <li>・ 広報用チラシ 2,000 枚</li> <li>・ アンケート 2,000 枚</li> <li>・ 貸出所用机 3 脚</li> <li>・ 貸出所用イス 6 脚</li> </ul> <div data-bbox="727 1361 1251 1756" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="863 1760 1145 1794">運営状況（ツイン広場）</p>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出所受付6人（業務委託：（社）シルバー人材センター）</li> <li>・ 貸出所受付補助2人（市職員：交通政策課）</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センターにおいて、午前 10 時までに各貸出所の台数配置調整を随時行う。</li> <li>・ アンケート調査は、返却時に記入。</li> </ul>

表 2-20 人と車の共存モール（一方通行実験）の実施内容

実験の名称	人と車の共存モール（一方通行実験）
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年に供用開始される栄町・置賜町線が駅前周辺の幹線道路となることを予測した交通体系の検証。</li> <li>来街者が安心して歩ける空間の形成と空間を利用した賑わい創出、交流の拡大。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 19 年 10 月 20 日（土）～10 月 21 日（日） 計 2 日間（いきいきふくしま元気 UP フェスタ 2007 開催）</li> </ul>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会事務局（福島市都市計画課、交通政策課）</li> </ul>
関連主体支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前通り商店街振興組合（自転車撤去協力）</li> <li>元気 UP フェスタ実行委員会（福島民報社広報局営業部 ほか）</li> <li>福島地区ハイヤータクシー協同組合</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施場所 福島駅前通り</li> <li>実施内容 福島駅方面からの一方通行とし、歩行空間を拡大し賑わいを創出し、まちなか循環バスを通行させるなど、人と車の共生を図る。 通常片側 2 車線を片側 1 車線（中央位置）に変更。</li> <li>実験方法 実施時間：10 時～16 時（交通規制時間 9 時～17 時） 交通誘導員、セーフティコーン、バー、看板による交通規制。 セーフティコーンで仕切った空間にミニ SL 設置（JR 東日本）し、賑わいイベントを実施。（10 月 21 日） まちなか循環バス停留所、荷捌きスペース、クマパイル（10 月 20 日）を設置。</li> </ul> 



一方通行実験状況（福島駅付近）



歩行空間を拡大し実施したミニ SL

	 <p>一方通行実験状況（福島駅付近）</p>  <p>歩行空間を拡大し実施したミニ SL</p>
<p>機材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフィーン 200 本、セーフィーン錘 200 個、バネ 200 本（福島市跡町三ツ振興公社より借用）</li> <li>・通行止め標識 5 本（福島市観光課より借用）</li> <li>・実験案内看板 2 枚、交通規制看板 9 枚</li> <li>・SL 運行に関わる設備</li> </ul>
<p>スタッフ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通誘導員（警備会社：有資格者）6 人/日×2 日</li> <li>・交通安全担当（JR 東日本職員、福島民報社職員） 6 人～7 人（1 日）</li> <li>・一方通行規制（福島市職員）9 人/日×2 日</li> <li>・自転車撤去（福島市職員、駅前通り商店街振興組合）7 人（1 日）</li> </ul>
<p>特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通規制、告知看板の設置に関しては福島警察署と事前に十分な調整を行う。</li> <li>・歩道の駐輪スペースの自転車を撤去し、歩道から車道に設置した空間への誘導を図る。</li> <li>・10 月 21 日については、クレーンが設置出来ないため、福島地区ハイヤータクシー協同組合へ協力を依頼</li> </ul>
<p>協議機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全：福島警察署交通第一課（道路交通法第 5 条）</li> <li>・道路管理者：道路法 32 条に基づく協議              福島県県北建設事務所地域保全グループ・企画調整グループ              （交通誘導看板の設置願いの提出）              国土交通省福島河川国道事務所福島国道維持出張所（承諾願いの提出）              福島市道路管理課（交通誘導看板の設置願いの提出）</li> <li>・防災関係：福島市消防本部（交通規制について提出）</li> </ul>

表 2-21 市内循環バス 1 日フリー乗車券の実施内容

実験の名称	市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券
実験のねらい	・市内循環バスの利用促進。
実施時期	・平成 19 年 10 月 20 日(土)～11 月 18 日(日) 計 30 日間
実施主体	・ 県都福島地域活性化プロジェクト実証実験運営委員会 事務局：東北運輸局福島運輸支局
関連主体 支援組織	・ 実行委員会事務局（交通部会）
実験の内容	<p>・ 市内循環バス 1 日乗車券 300 円の販売（子供 150 円） 市内循環 1・2 路線が乗り放題となるため、市内循環の利用促進と中心市街地の移動支援を行う。</p> <p>販売場所 福島駅東口バス案内所、福島駅東口臨時観光案内所、循環バス車内</p> <p>市内の施設割引サービスの実施。 花の写真館、県立図書館について入館料の割引。 協賛店の割引サービス。</p>  <p>「ももりん」1日フリー乗車券</p>
機材	・ 乗車券
スタッフ	・ スタッフ（福島交通職員）
備考	<p>・ 東北運輸局福島運輸支局へ届出（運賃）</p> <p>・ 事業期間はデータ収集も含め 11 月 19 日までとした。</p>

表 2-22 電車と市内循環バス 1 日乗り放題共通乗車券の実施内容

実験の名称	電車と市内循環線の 1 日乗り放題共通乗車券
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道と市内循環バスの連携を高め利用促進を図る。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 10 月 20 日(土)～11 月 18 日(日) 計 30 日間</li> </ul>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県都福島地域活性化プロジェクト実証実験運営委員会 事務局：東北運輸局福島運輸支局</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会事務局（交通部会）</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿武隈急行と市内循環バス 1 日乗り放題共通乗車券。 「A キップ」1,000 円の販売（子供 500 円）</li> <li>・飯坂電車と市内循環バス 1 日乗り放題共通乗車券。 「I キップ」700 円の販売（子供 350 円）</li> </ul> <p>市内循環 1・2 路線が乗り放題となるため、市内循環の利用促進と中心市街地の移動支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売場所 「A キップ」阿武隈急行沿線の有人駅 「I キップ」飯坂電車沿線の有人駅及び福島駅東口臨時観光案内所</li> <li>・市内の施設割引サービスの実施 花の写真館、県立図書館について入館料の割引。 協賛店の割引サービス</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="432 1196 1083 1384" style="text-align: center;"> <p>阿武隈急行線電車⇔市内循環(ももりん)バス ももりん乗継ぎAきっぷ</p> <p>発行日: _____ 当日限り1日乗り放題</p> <p>阿武隈急行株式会社 大人 1,000円 小人 500円</p> </div> <div data-bbox="1077 1281 1177 1317" style="text-align: center;">Aキップ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="572 1386 1197 1574" style="text-align: center;"> <p>飯坂電車⇔市内循環(ももりん)バス ももりん乗継ぎIきっぷ</p> <p>発行日: _____ 当日限り1日乗り放題</p> <p>福島交通株式会社 大人 700円 小人 350円</p> </div> <div data-bbox="1197 1473 1284 1509" style="text-align: center;">Iキップ</div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車券</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ（福島交通職員、阿武隈急行職員）</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北運輸局福島運輸支局へ届出（運賃）</li> <li>・事業期間はデータ収集も含め 11 月 19 日までとした</li> </ul>

表 2-23 交差点の一時停止化の実施内容

実験の名称	交差点の一時停止化
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩く人にやさしいまちづくり。</li> <li>・歩行者導線の確保による賑わい創出補助。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 10 月 20 日(土)、27 日(土)</li> <li>・平成 19 年 11 月 3 日(土)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 3 日間</p>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会事務局</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島警察署</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 パセオ通りと交差する並木通り、中央通りの交差点</li> <li>・実施内容 パセオ通りの歩行者天国に合わせ、各交差点の信号機を両方向とも赤点滅させ、一時停止化する。</li> <li>・実施時間：10 時～16 時</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>並木通りの状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中央通りの状況</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・告知看板 2 枚</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法第 5 条に基づく協議が福島警察署と必要。</li> <li>・信号の点滅化は、福島警察署及び業務委託業者が行った。</li> </ul>

### 2-3. 社会実験全体・人にやさしいまちに関する社会実験の実施内容

社会実験全体・人にやさしいまちに関する以下の社会実験の実施内容を記載した。

- ①まちなか総合案内所
- ②キッズサロン
- ③街なかサポーター
- ④街なかUD実験

表 2-24 まちなか総合案内所の実施内容

実験の名称	まちなか総合案内所
実験のねらい	・ 来街者に対するまちなか、商店街及び社会実験等に関する情報の提供。
実施時期	・ 平成 19 年 10 月 20 日（土）～11 月 4 日（日） 計 16 日間
実施主体	・ 実行委員会事務局
関連主体 支援組織	・ 福島県県北建設事務所 ・ NPO法人ユニバーサルデザイン・結
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験内容 社会実験全体の情報管理。 点在するイベントの情報、交通情報等を収集し発信する。 社会実験 PR チラシ、まちあるきマップ、各種イベントチラシの配布、各種案内の実施 親子まちなか探検隊の受付、スタンプラリーの拠点とし利便性を図る。 休憩場所として、テーブル、椅子、お茶等を準備し、来街者に対しおもてなしを実施。</li> <li>・ 実験方法 空き店舗を借用し、総合案内所を設置</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>まちなか総合案内所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お茶による「おもてなし」</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗（借用）</li> <li>・ 電話機 1 台</li> <li>・ 案内・受付スタッフ用机 2 台、椅子各 2 脚（福島市市街地整備課、中央学習センターより借用）</li> <li>・ 来街者休憩用テーブル 3 台、椅子各 3 脚（福島市都市計画課より）</li> <li>・ ポスター、展示物用パネル 15 組（福島市中央学習センターより借用）</li> <li>・ 車椅子 1 台（福島看護専門学校より借用）</li> <li>・ 看板、案内看板 3 枚</li> <li>・ イベントスタッフ用机 10 台、椅子各 2 脚（福島市市街地整備課、中央学習センターより借用）</li> <li>・ 和紙製品、漆器、各種マップ（NPO法人ユニバーサルデザイン・結より借用）</li> <li>・ ポット、紙コップ</li> </ul>
スタッフ	・ 案内スタッフ（平日）3 名×10 日 イベント受付 2 名×6 日（平日の体制に増員）

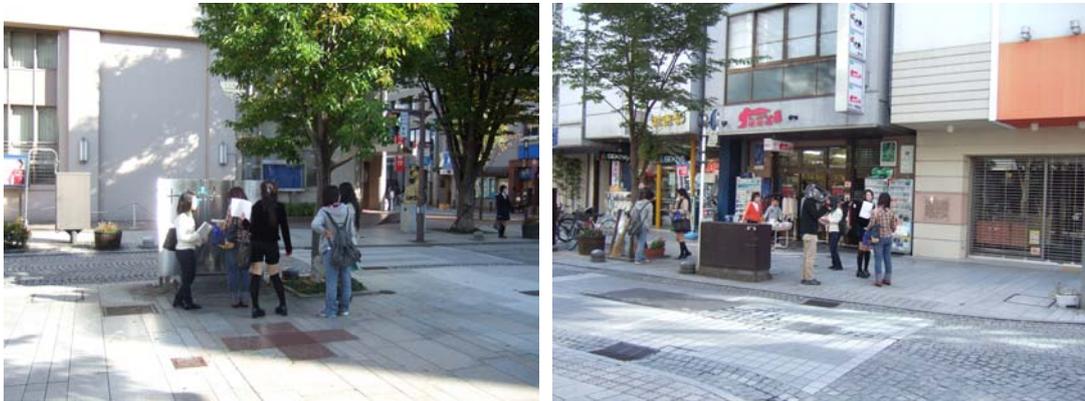
表 2-25 キッズサロンの実施内容

実験の名称	キッズサロン
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供連れの来街者へ憩いの場を提供することによる利便性向上。</li> <li>・回遊性向上の補助。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 10 月 20 日(土)～11 月 4 日(日) 計 16 日間</li> </ul>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会事務局</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島県県北建設事務所</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 まちなか総合案内所内</li> <li>・実施内容 子供の遊び場、ベッド、遊具の設置。 休憩場所として、テーブル、椅子、お茶、お菓子等を準備し、おもてなしを実施。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>キッズサロンの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遊具の設置状況</p> </div> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブル、ベビーベット、布団、カーペット</li> <li>・遊具(滑り台、積み木、輪投げ、絵本、お手玉・NPO 法人まごころサービス福島センターより借用)</li> <li>・遊具(ビニル製ハウス、シーソー 等)</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか総合案内所スタッフ(福島市職員、福島県職員、臨時職員) 3 人/日×16 日</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供だけの預かりは不可とし、親の同伴を条件とした。</li> </ul>

表 2-26 街なかサポーターの実施内容

実験の名称	街なかサポーター
実験のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障がい者のまち歩き補助による利便性向上。</li> <li>・まちなかの清掃活動による環境の向上。</li> </ul>
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年 10 月 20 日(土) 21 日(日)</li> <li>・平成 19 年 11 月 3 日(土) 4 日(日)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 4 日間</p>
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会事務局(福島市都市計画課)</li> </ul>
関連主体 支援組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の聖母短期大学</li> <li>・福島看護専門学校</li> <li>・NPO法人ユニバーサルデザイン・結</li> <li>・NPO法人 シャローム</li> </ul>
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 福島駅前広場、駅前通り、ツイン広場、パセオ通り、街なか広場</li> <li>・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①障がい者のまち歩き補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか循環バス等の乗降補助。</li> <li>・イベント間の歩行補助。</li> </ul> </li> <li>②高齢者のまち歩き補助 <ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物品等の運搬補助。</li> </ul> </li> <li>③まちなか清掃活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各通り、イベント会場等の清掃。</li> </ul> </li> <li>④イベントのPR(案内) <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを配布しイベント等の案内を補助。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>※社会実験のロゴが入った共通ジャンパーを着用</p> <div style="text-align: center;">  <p>ロゴ入り共通ジャンパー</p> </div>
機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通ジャンパー（ロゴマーク入り）</li> <li>・清掃用具</li> <li>・サポーターPRチラシ</li> </ul>
スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生ボランティア 4 日間で 32 人</li> <li>・補助スタッフ 2 人/日×4 日</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力学校へボランティアの学生を募集した。</li> </ul>

表 2-27 街なかUD実験の実施内容

実験の名称	街なかUD実験
実験のねらい	・来街者が歩きやすい街、わかりやすい街にするため、まちなかの各通りを調査し提言する。
実施時期	・平成 19 年 10 月 22 日(月) 計 1 日間
実施主体	・桜の聖母短期大学（生活科学科）
関連主体 支援組織	・実行委員会事務局（福島市都市計画課）
実験の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所 駅前通り、パセオ通り、レンガ通り、文化通り、並木通り</li> <li>・実施内容 学生が「来街者」として観察し、調査項目を決め実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①道路について 段差の有無や点字ブロックなどの位置について 舗装の種類と歩きやすさ ベンチの有無 横断歩道、街灯の位置</li> <li>②看板等について 周辺案内図、通り名の表示 等 看板の位置、見やすさ</li> <li>③そこにいる人々について 高齢者、車いすの方、乳幼を児連れた親子、妊婦の方にとって「歩きやすいか、わかりやすいか」を考える。</li> </ul> </li> </ul>
	 <p>調査の様子（パセオ通り）</p>
機材	・調査用ノート 等
スタッフ	・学生5グループ 23人 指導者 2人
備考	・平成 19 年 10 月 29 日(月)に調査内容の取りまとめを行った。

## 2-4. 許可申請および届出等

### (1) 許可申請および届出等

#### 1) 警察署長規制に係る事前協議

社会実験のように通常の規制と異なる規制を一時的に実施する場合は、道路交通法第5条の規定による警察署長への委任の規定を適用し、警察署長の判断と責任で実施することとなる。

したがって、事前に所管の警察署と十分な協議を行い、車両の通行規制等を実施しても交通の安全と円滑を確保できる計画書の策定、地元関係者との合意の形成及び一般運転者等への周知計画の確立等により、警察署長が当該交通規制の実施を責任をもって決定できる条件を整備した。

#### a) 社会実験全般に関わる申請

人と車の共存モール(一方通行実験)の実施や歩行者天国の実施、循環バスの運行にあたって必要となる交通規制に関する事項、案内看板設置等の誘導案内に関する事項、誘導員の配置・作業内容等の管理計画、循環バス運行ルート及びバス停留所に関わる協議を行い支援について申請した。

表 2-28 協議・申請経過

	月日	内容
協議	平成 19 年 5 月 7 日	社会実験全般について
	平成 19 年 7 月 3 日	交通実験全般について
	平成 19 年 7 月 24 日	歩行者天国、ワゴンセールについて
	平成 19 年 9 月 5 日	申請方法、時期について
	平成 19 年 9 月 21 日	一方通行の規制について
	平成 19 年 9 月 28 日	一方通行の規制詳細について
申請	平成 19 年 10 月 1 日	社会実験にかかる支援について

#### 2) 道路使用許可申請

道路交通法第77条1項に基づき、福島警察署長に以下の道路使用許可申請を行なった。

〈参考〉道路交通法77条による道路許可の種類

1号許可	道路において工事もしくは作業をしようとする行為
2号許可	道路に石碑、広告版、アーチ等の工作物を設けようとする行為
3号許可	道路に露店、屋台を出そうとする行為
4号許可	道路において、祭礼、ロケーション等をしようとする行為 等

a) 賑わい実験に関する申請

賑わい実験のうち、収益を伴うパセオワゴンセールは、出店者（個人）ごとに、道路使用許可を申請した。

表 2-29 パセオワゴンセールに関する申請

申請日	実験メニュー	申請期間	申請者
平成 19 年 10 月 17 日	パセオワゴンセール	平成 19 年 10 月 20 日 ～11 月 4 日	個人出店者 2 2 店舗

※自己敷地内実施 3 店舗

3) 通行規制等に関する届出

a) 各種届出

駅前通り、パセオ通りの通行規制及び通行規制を告知する看板等の設置について、道路法第 32 条に基づき協議し、下記のとおり道路管理者、関係部署へ届出を行った。

表 2-30 届出一覧

申請項目	申請日	申請先	内容
交通誘導看板の設置願い	平成 19 年 10 月 3 日	福島市道路管理者	交通規制、誘導・案内看板の設置・管理に関する事項
交通情報案内板の設置承諾願い	平成 19 年 10 月 5 日	福島県県北建設事務所長	交通規制、誘導・案内看板の設置・管理に関する事項 バス停留所看板の設置・管理に関する事項
承諾願い	平成 19 年 10 月 9 日	国土交通省福島河川国道事務所 福島国道維持出張所長	交通情報案内板の設置・管理に関する事項
交通規制について	平成 19 年 10 月 17 日	福島市消防長	交通規制に伴う緊急時の体制及び協力について
社会実験に伴う協力について	平成 19 年 10 月 15 日	福島地区ハイヤータクシー協同組合理事長	タクシーベイの利用規制及びアンケートの協力について

4) 循環バス運行に関する許可申請

西口循環線、笹谷桜水駅循環線の運行について、道路運送法第4条「一般旅客自動車運送事業の許可」第5条「許可申請」を国土交通省東北運輸局福島運輸支局へ申請した。

また、西口循環線の運行に伴うバス停留所の設置について、道路法32条許可を福島市道路管理者へ許可申請を行った。

表2-31 届出一覧

申請項目	申請日	申請先	内容
道路運送法第4条許可 第5条許可申請	平成19年8月24日	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	西口循環線、笹谷桜水駅 循環線の運送事業につ いて
道路法32条許可	平成19年9月11日	福島市道路管理者	西口循環線のバス停留 所の占用許可について

5) 各種イベントに伴う飲食店等の届出（臨時及び露天営業等の取扱要綱）

食品を提供するイベントに関し、「飲食店等の臨時出店届」を福島県県北保健所長へ届出を行った。

## 2-5. 広報活動

### (1) 広報計画

表 2-32 広報計画

種別		内容	実施実績	備考
①	ホームページ等	まちなかイベントカレンダーへアップ	・9月18日より掲載	
		市ホームページへアップ	・10月15日より掲載	
		関係機関ホームページへリンク		
②	チラシ	実験実施チラシ	・10月15日	・各市所、学習センター、 公共施設、公共交通 機関へ3千枚配布
			・10月17日	
③	マップ	まちあるきマップ	・10月20日(リビングふくしま)	・6.5万世帯に折込
④	新聞等	福島市からのお知らせ(福島民報)	・9月23日掲載	
		シティ情報ふくしま10月号	・9月25日発行	
		社会実験PR(福島民報・福島民友)		
		社会実験PR(福島テレビ、テレビユー福島、 福島放送福島支社、福島中央テレビ福島支社)	・10月17日	
⑤	ラジオ	<30秒スポット> うつくしまインフォメーション(ラジオ福島)	・10月16日～20日、31日 ・11月1日～2日	
		<60秒スポット>(ラジオ福島)	・10月7日	
		<60秒スポット>(ふくしまFM)	・10月12日	
		まいどくん参上!(FMポコ)	・10月18日	
		ふくしまEVENING BRRAK(ふくしまFM)	・10月18日～19日	
⑥	テレビ	<30秒スポット> しゃくなげニュース(福島テレビ)	・10月18日～20日、30日 ・11月1日～2日	
		<30秒スポット> しゃくなげコーナー(福島中央テレビ)	・10月17日、19日 ・11月2日	
		<30秒スポット> しゃくなげスポット(福島放送)	・10月18日～19日、31日 ・11月1日～2日	
		<30秒スポット> しゃくなげガイド(テレビユー福島)	・10月17、19日、31日 ・11月1日	
		<15秒スポット> 福島市政広報テレビ(福島テレビ)	・10月22日	
		<15秒スポット> 福島市政広報テレビ(福島中央テレビ)	・10月22日	
		<15秒スポット> 福島市政広報テレビ(福島放送)	・10月23日	
		<15秒スポット> 福島市政広報テレビ(テレビユー福島)	・10月21日	
		テレビ市政だより 「中心市街地活性化の取組」(福島テレビ)	・11月4日	
		テレビ市政だより 「中心市街地活性化の取組」(テレビユー福島)	・11月3日	
		⑦	広報誌	うつくしま夢だより(福島県)
市政だより(福島市)	・10月号に掲載			
まちなかイベントカレンダー(福島情報ステーション)	・10月11月(秋号)に掲載			
都道府県だより	・10月号に掲載			
商工ふくしま	・10月号に掲載			
⑧	その他	電光掲示板(県庁、コラッセふくしま)	・10月1日～11月16日	
		広報看板(福島駅前)	・10月12日～11月4日	

### ①ホームページ等

社会実験の取組みを関連組織のホームページに掲載し、各種情報をリアルタイムに提供し、実験中の状況写真等についても掲載した。また、イベントカレンダーウェブ版及び秋号の冊子に社会実験の個々の内容について掲載し情報を提供した。

### ②チラシ

社会実験実施チラシ（複合チラシ）を作成し、まちなかの個々の情報を1枚のチラシに集約することで情報が増え、楽しさやまちの一体感を演出した。各種催しを日時、場所ごとに整理し、見やすさに配慮した。地図上に情報を表現（位置情報）することで、周辺イベントの紹介や回遊を演出した。

また、イベント情報と公共交通などのアクセス、まちなか移動の情報等を併せて提供することで、効果的な情報の提供ができた。個々のイベントごとにチラシを作る必要をなくし、少ない費用でチラシを作成した。



チラシ裏面

### ③マップ

まちを楽しく歩くために、まちなかのイベント情報を掲載した「まちあるきマップ」を作成し配布した。  
(別紙実施内容に記載)

④～⑦は P.48 のとおり。

### ⑧その他

広報看板

福島駅前に社会実験の実施を知らせる大型広報看板を実験期間前に設置し、歩行者等に広報した。



## (2) パブリシティの掲載状況

パブリシティのうち、新聞に掲載されたものを以下に示す。

表 2-33 掲載状況

掲載日	見出し	新聞名
平成19年3月23日	歩いて暮らせるまちづくり 福島、若松、いわきで実験	福島民報
平成19年5月20日	歩いて暮らせるまちづくり22日から 3市で実行委	福島民報
平成19年5月20日	歩いて暮らせるまちづくりへ社会実験	福島放送 (HPニュース)
平成19年6月6日	「歩いて暮らせるまちづくり」福島市実行委立ち上げ 今秋にも社会実験を実施	福島民友
平成19年6月6日	委員長に下平尾氏 歩いて暮らせるまちづくり福島地区	福島民報
平成19年6月7日	論説：市街地活性化 取り組みは多様に	福島民報
平成19年6月15日	商店街と連携カギ 歩いて暮らせるまちづくり社会実験	福島民友
平成19年6月15日	各市実験案示す 新しいまちづくり検討委員会	福島民報
平成19年7月31日	福島市10月に歩いて暮らす社会実験	福島放送 (HPニュース)
平成19年7月31日	歩いて暮らせるまち実現へ工夫 福島・若松 循環バス活用で社会実験	福島民友
平成19年7月31日	歩いて暮らす社会実験 10月20日から福島	福島民報
平成19年9月1日	社会実験14日間に拡大 福島市の歩いて暮らせるまちづくり	福島民友
平成19年9月7日	歩いて暮らせるまちづくり 来月から多彩な実験 福島	福島民報
平成19年9月28日	取材メモから：社会実験に期待	福島民報 (福島・県北版)
平成19年10月8日	屋台村を恋の聖地に 福島・こらんしよ横丁	毎日
平成19年10月13日	恒例のパザーをコラッセで開催 来月4日、商議所女性会	福島民友
平成19年10月18日	観光スポットに理解 タクシ運転手向け説明会	福島民友
平成19年10月18日	楽しさ、魅力より充実 5テーマで活性化	福島民報
平成19年10月19日	歩いて暮らせるまちづくり実験 福島であすスタート	福島民友
平成19年10月20日	いきいきふくしま元気UPフェスタ2007 きょう開幕 福島駅周辺	福島民報
平成19年10月21日	人と車の共存を 福島の社会実験スタート	福島民報
平成19年10月21日	いきいきふくしま元気UPフェスタ2007 街に活気を 食や演舞 盛況 地元産品の即売も	福島民報
平成19年10月21日	催し多彩 街中活気 歩いて暮らせる社会実験	福島民友
平成19年10月21日	歩いて暮らせるまちづくり実験スタート	福島民友
平成19年10月21日	出会った屋台村で結婚式	読売
平成19年10月21日	歩いて楽しい街模索	毎日
平成19年10月22日	県都に笑顔と歓声 いきいきふくしま元気UPフェスタ2007 人気集め閉幕	福島民報
平成19年10月22日	いきいきふくしま元気UPフェスタ2007 中心街に人の波	福島民報
平成19年10月22日	歩いて回れるまちに 福島市中心部で社会実験	河北新報社 (HP. NEWS)
平成19年10月23日	カップルの門出祝い 福島 屋台村で初の結婚式	福島民報
平成19年10月23日	歩きやすい街考える ユニバーサルデザイン 桜の聖母短大生が実験	福島民友
平成19年10月23日	鬼ごっこで町おこしつかまえる 27日、福島駅前の道路で大会	朝日
平成19年10月23日	福島市中心部 歩いて回れるまちに にぎわい創出へ社会実験	河北
平成19年10月24日	福島の道路歩きやすい？ 桜の聖母短大「街なかUD実験」	福島民報
平成19年10月31日	まちに人の流れ戻そう 福島 歩いて暮らせる社会実験 セミナーで探る	福島民報
平成19年11月3日	福島でまちづくりセミナー 「歩く暮らし」考える にぎわい創出テーマに議論	福島民友
平成19年11月4日	歩いて暮らせるまちづくり社会実験 家族連れにぎわう 福島	福島民報
平成19年11月4日	歩いて暮らせるまちづくり社会実験 県都の中心笑顔と歓声	福島民報
平成19年11月5日	歩いて暮らせるまちづくり社会実験 中心市街地広がる笑顔 主要道の変遷パネルで紹介	福島民報
平成19年11月5日	歩いて暮らせるまちづくり社会実験イベント 福島・街なか広場 多彩な出店や「平成福島座」	福島民友
平成19年11月22日	論説：福島街なか活性化の弾みに	福島民報
平成19年12月27日	歩いて暮らせるまちづくり社会実験 中心部通行増に効果 いわきラトブ効果で2.7倍	福島民友
平成20年1月30日	市街地の通行量増 好評の事業新年度へ継続 昨秋の歩いて暮らせる福島地区社会実験	福島民友
平成20年1月30日	福島・歩いて暮らせるまち社会実験 イベント効果、歩行者2倍	福島民友
平成20年1月30日	商店街と行政が連携 イベントで来街者増 歩いて暮らせるまちづくりアンケート結果 商業以外の機能も求める	福島民報
平成20年1月31日	歩いて暮らせる福島地区社会実験 売上増に課題残す	福島民報
平成20年2月6日	福島市の商店主調査 ワゴンセール効果は にぎわいはアップ 売り上げは横ばい	朝日

### 3. 社会実験に伴う通行量調査・解析

#### 3-1. 通行量調査内容

##### (1) 調査目的

本調査は、歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験の一環として実施する福島駅前通りの人と車の共生モール（一方通行）実験及び歩行者天国とパセオ通りの歩行者天国、及び、各種イベントの実施による歩行者及び自動車交通量の変化を把握し、実験実施による効果を検証する。

##### (2) 調査項目

通行量調査として、以下の項目を実施する。

- ・ 歩行者断面交通量調査
- ・ 自動車断面交通量調査（一方通行実験時のみ実施）

##### (3) 調査日時と歩行者天国・人と車の共生モール（一方通行）実験実施状況

###### ① 一方通行実験 平成19年10月21日（日）

調査時間 10:00～16:00（6時間連続）

###### ② 通常時（比較日）平成19年11月2日（金）

調査時間 10:00～16:00（6時間連続）

###### ③ 歩行者天国 平成19年11月3日（土）

調査時間 10:00～16:00（6時間連続）

表 3-1 歩行者天国・一方通行実験実施状況

日	駅前通	パセオ通り
10月21日(日)	駅方向から一方通行	平和通りから一方通行
11月2日(金)	通常両側通行	平和通りから一方通行
11月3日(土)	歩行者天国	歩行者天国



人と車の共生モール実験（駅前通り：10月21日）



歩行者天国（駅前通り：11月3日）



歩行者天国（パセオ通り：11月3日）

(4) 調査内容

①歩行者交通量調査

調査対象断面を通過する歩行者を、方向別、属性別、時間帯別に数取器を用いて人手により観測する。集計は30分毎に行い、属性分類は以下に示す分類とする。

- ・ 歩行者（男性・女性）
- ・ 自転車（男性・女性）

②交通量調査

調査対象断面を通過する車両の台数を、方向別、車種別、時間帯別に数取器を用いて人手により観測する。集計は30分毎に行い、車種分類は以下に示す2分類とする。

- ・ 自動車
- ・ 二輪車

(5) 調査箇所

調査箇所は、16箇所である。

平成18年に行われた商業労政課調査箇所との対応を示す。

表 3-2 調査箇所一覧

番号	実験時調査地点名	近傍のH18商業労政課調査地点
1	西町跨線橋BOX・地上	19.丸常ビル前
1	西町跨線橋BOX・BOX	
2	中央通り	13.川虎前
3	吾妻通り	10.東北電力前
4	パセオ470・北日本銀行前	8.北日本銀行前
5	文化通り	11.旧加藤豆腐店
6	稲荷神社消防屯所前	23.波恵ダンスカルチャーパーク前
7	東西連絡自由通路	14.駅東西自由通路
8	県道福島飯坂線	18.ハラカ福島駅前駐車場
9	駅前通り	1.笑笑前
10	国道13号	9.リパークパーキング前
11	街なか広場南	15.街なか広場前
12	パセオ470・駐輪場前	7.福島楽器店前
13	並木通り	5.コロール前
14	レンガ通り	3.チェンバおおまち前
15	パセオ470・福島学院大前	2.まちなか夢工房前
16	こむこむ前	21.こむこむ前



通行量調査の状況

### 3-2. 通行量調査結果

#### (1) 歩行者・自転車交通量

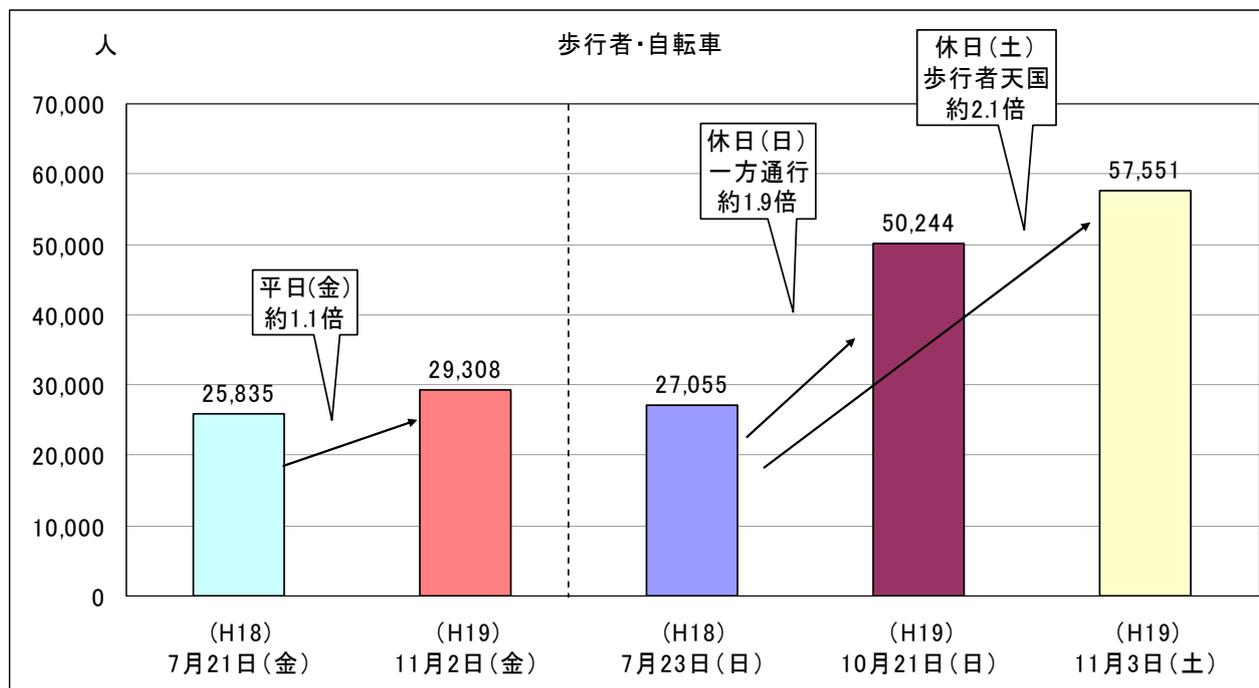
##### 1) 日別交通量

実験を行った日の来街者交通量（調査地点の歩行者・自転車通行量計）は、平日は11月2日（金）が29,308人と、比較日の平成18年7月21日（金）の25,835人に対し約1.1倍、休日は10月21日（日）が50,244人、11月3日（土）が57,551人と、比較日の平成18年7月23日（日）に対し約2.1倍と大きく増加した。

注\*) 福島市商業労政課調査結果のなかから、対応する16箇所の調査地点の10時～16時の歩行者交通量を抽出

実験日平日の11月2日（金）は各種交通実験のほか「パセオワゴンセール」「まわって当てよう商品券”スタンプラリー”」等のイベントや「まちなか総合案内所」「キッズサロン」「トイレお貸しします」等を実施し、交通量は約1割増加となった。

また、11月3日（土）が大きく増加した原因としては、駅前通り、パセオ通り双方で歩行者天国が実施され、街なか広場等と一緒に実施されたイベントが大きな集客効果をもたらしたことが考えられる。



※測定16箇所 時間10:00～16:00で比較

図3-1 歩行者・自転車交通量

## 2) 時間帯別歩行者交通量（平日）

実験日、比較日ともに、同じような傾向を示し、昼のランチタイムの 12 時台にピークとなっている。

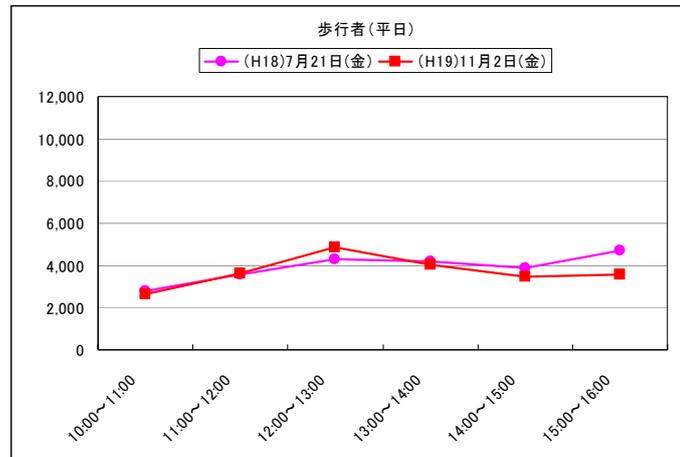


図 3-2 時間帯別歩行者交通量

## 3) 時間帯別歩行者交通量（休日）

### ①10月21日（日）

実験開始から徐々に歩行者が増加し、昼過ぎの 13 時にピークを迎えている。比較日は 14 時過ぎのピークとなっている。

### ②11月3日（土）

10月21日（日）と同様、実験開始から徐々に歩行者が増加し、昼過ぎの 13 時にピークを迎えている。

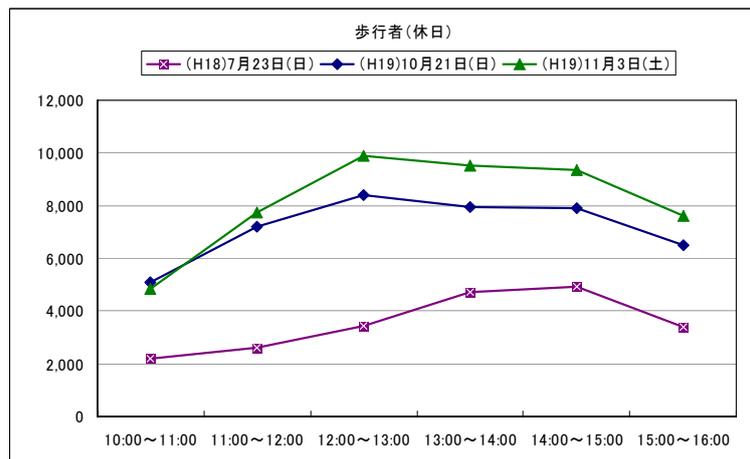


図 3-3 時間帯別歩行者交通量

#### 4) 調査地点別歩行者交通量

##### ①平日交通量

11月2日(金)は比較日の平成18年7月21日(金)に対して、東西自由通路の歩行者交通量が増加した。

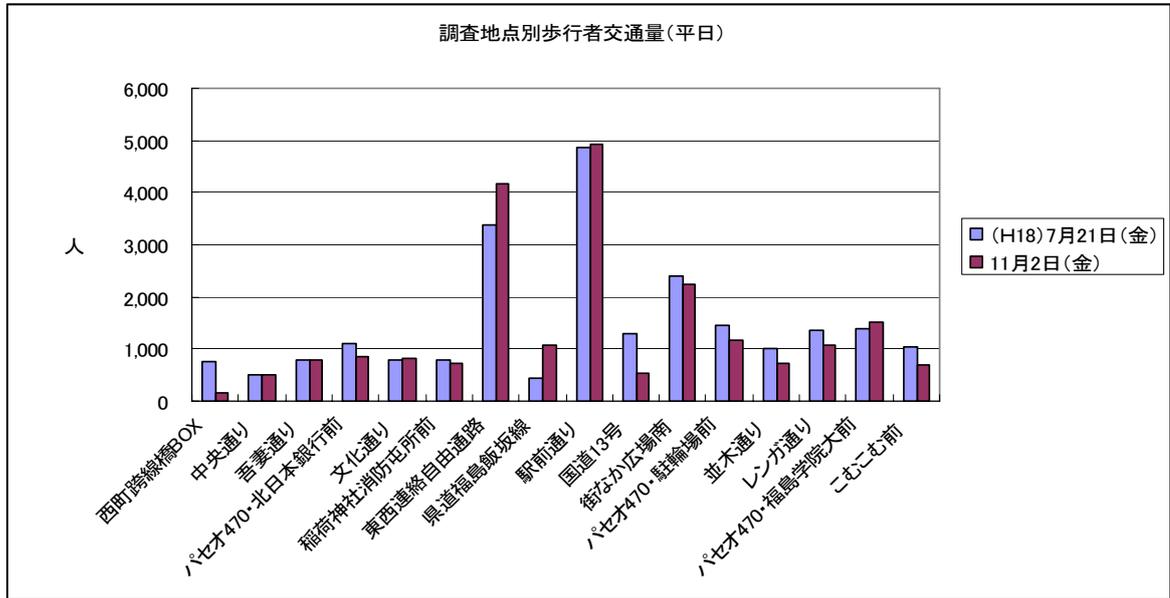


図 3-4 調査地点別歩行者交通量 (平日)

##### ②休日交通量

比較日の平成18年7月23日(日)に対して著しい増加をみたのが、駅前通り、稲荷神社消防屯所前、パセオ通り、文化通り等の地点である。

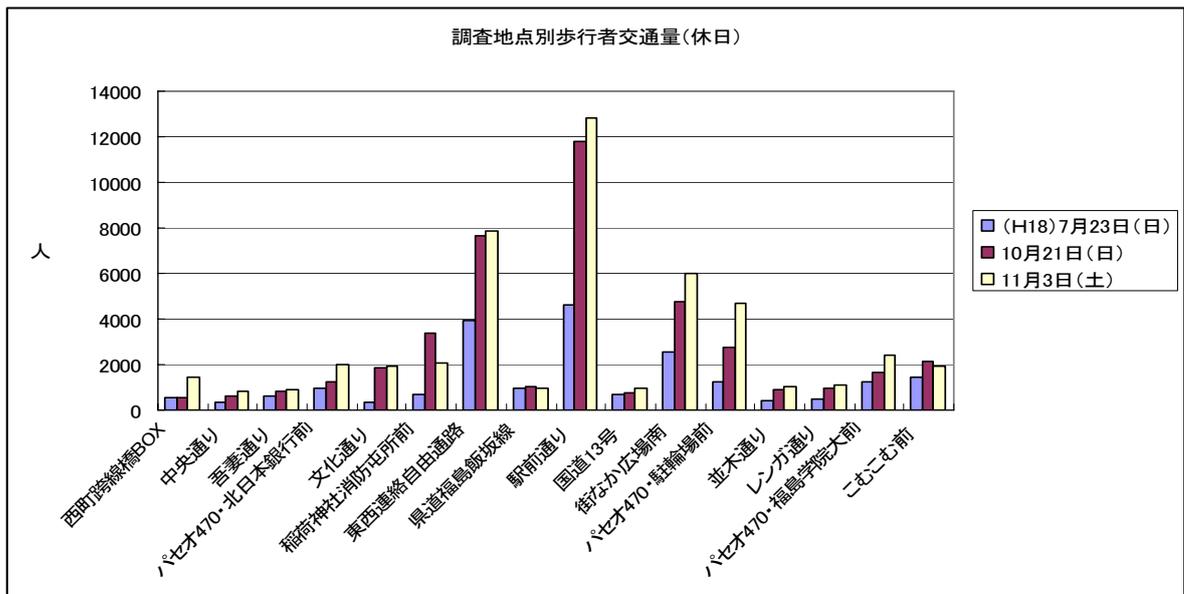


図 3-5 調査地点別歩行者交通量 (休日)

## (2) 自動車交通量

### 1) 日別交通量

#### ①平日

実験日の11月2日(金)は、比較日の平成18年7月21日(金)から2%減少となった。

#### ②休日

実験日の10月21日(日)が2%、11月3日(土)が6%と、比較日の平成18年7月23日(日)に対し増加した。

平日の歩行者・自転車交通量は約10%の増加に対して、自動車は2%減少した。また、休日は、歩行者自転車通行量はそれぞれ約2倍と大幅な増加となったが、自動車は2%増、6%増にとどまり、特に渋滞も発生しなかった。

以上から、歩行者天国や一方通行を実施しても周辺道路に与える影響がほとんどないことがわかった。

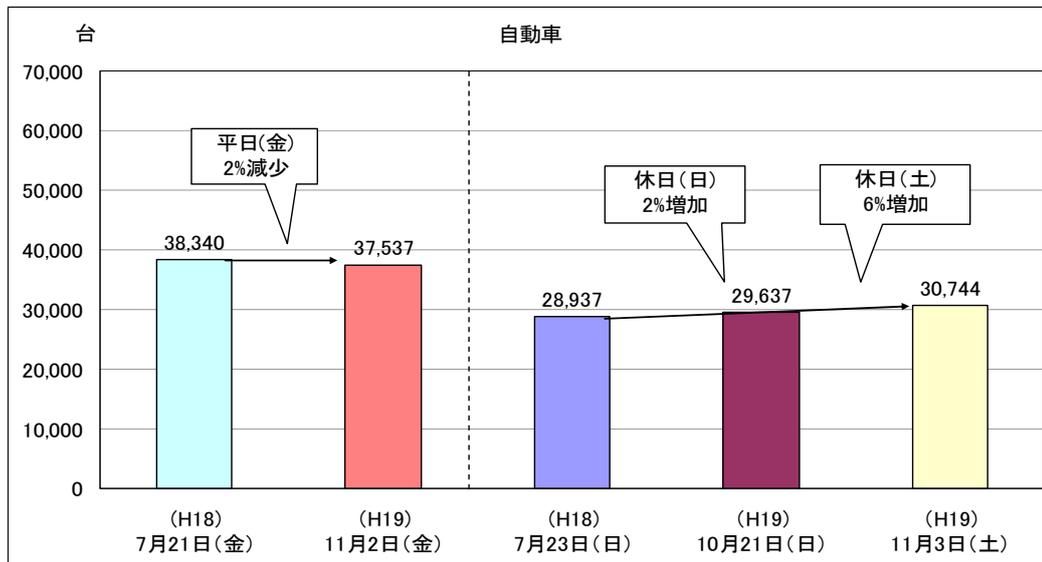


図 3-6 自動車交通量

## 2) 調査地点別交通量

実験日の10月21日(日)、11月3日(土)とも、比較日の平成18年7月21日(金)に対し、吾妻通りに加え、稲荷神社屯所前、県道福島飯坂線、国道13号等の幹線道路で若干増加した。

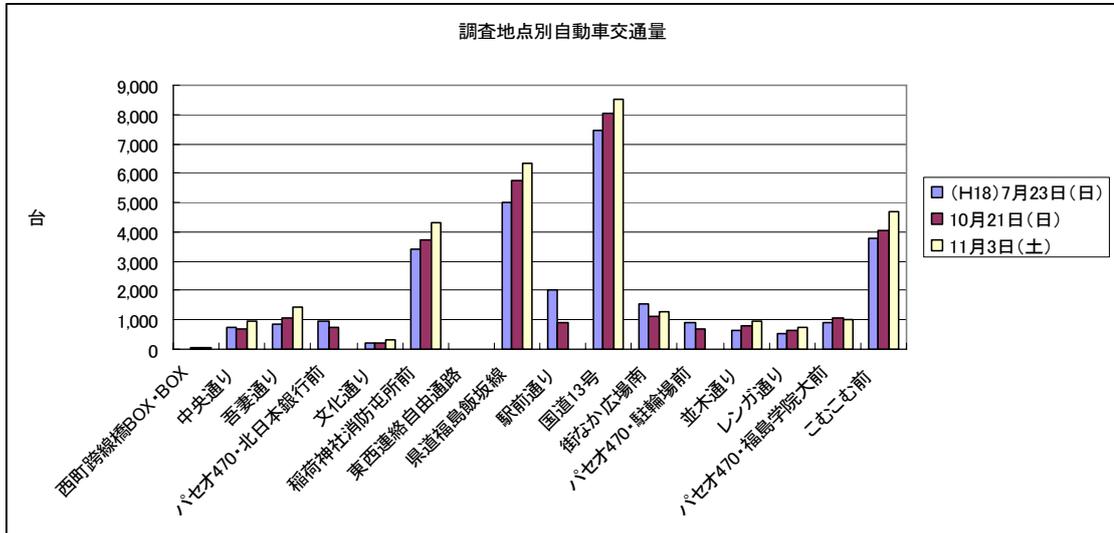


図 3-7 調査地点別自動車交通量

## 2) 時間帯別交通量

### ① 平日

実験日の11月2日(金)、比較日の平成18年7月21日(金)とも12時台が若干下がっている。

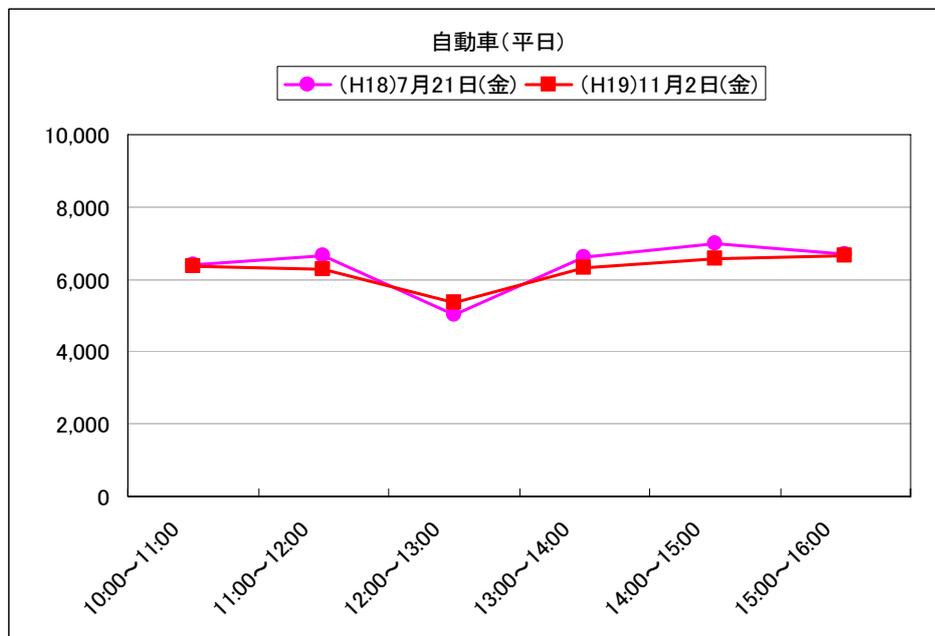


図 3-8 時間帯別自動車交通量 (平日)

## ②休日

自実験日の10月21日(日)、11月3日(土)がどの時間帯も平均した交通量を示しているのに対し、比較日の平成18年7月21日(金)は昼に減少した一方、14時台に増加した。

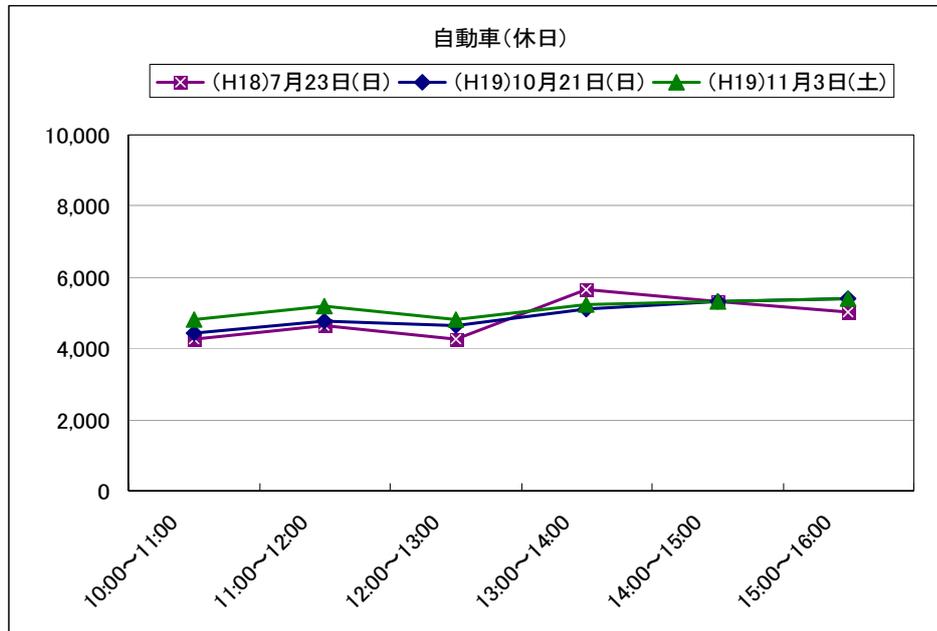


図 3-9 時間帯別自動車交通量 (休日)

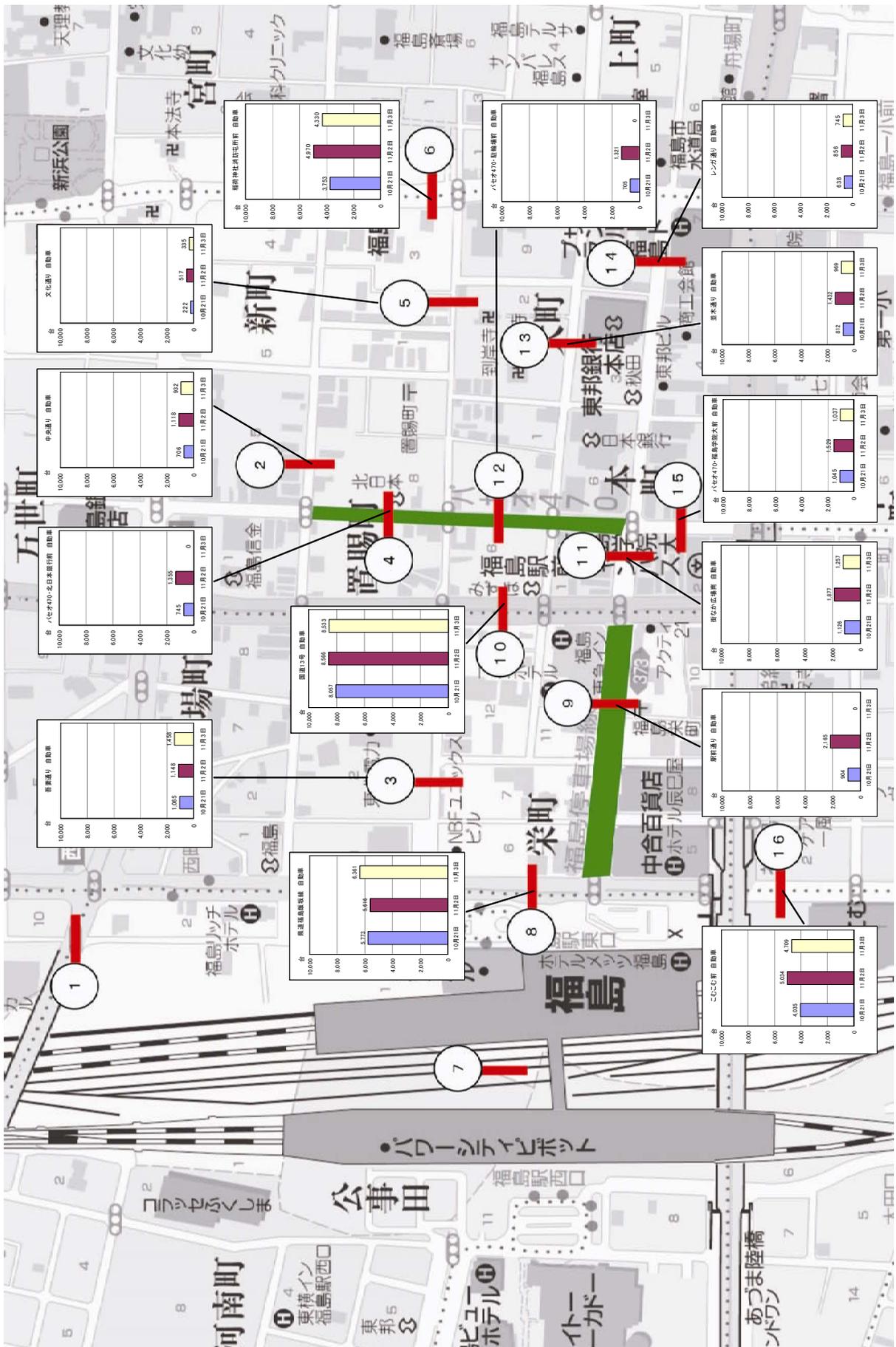


図 3-10 調査地点別・自動車交通量

### 3-3. 地区別の交通量変化の特性

#### 1) 駅前通り

駅前通りの歩行者交通量は、車両の一方通行規制をおこなった通常と同じ車両の一方通行規制をおこなった10月21日(日)は、比較日の平成18年7月23日(日)の2.6倍の歩行者数を記録している。一方、歩行者天国を実施した11月3日(土)は、2.8倍と増加している。車両の一方通行規制だけでも通常時に較べて大きく増加した結果となった。

表 3-3 駅前通り交通量変化 (10時～16時)

地点名	(H18)7月23日(日)	10月21日(日)	11月3日(土)
歩行者交通量	4,597	11,787	12,810
自動車	2,046	916	0
摘要	通常(両側通行)	一方通行	歩行者天国

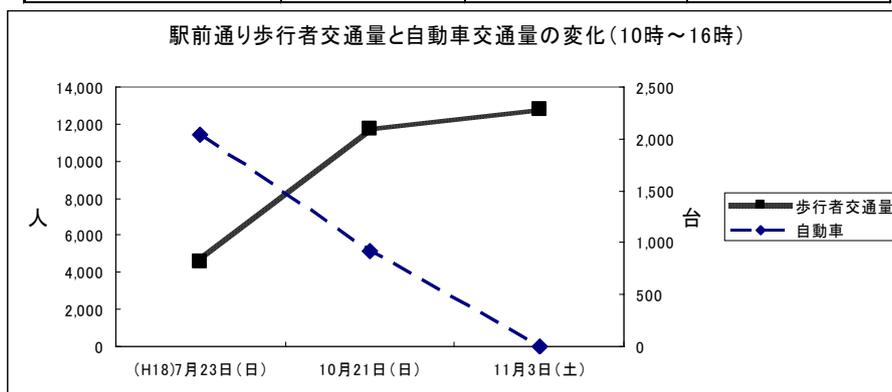


図 3-11 駅前通歩行者交通量と自動車交通量の変化 (10時～16時)

#### 2) パセオ通り

パセオ通り(駐輪場前)の歩行者交通量は、通常と同じ車両の一方通行規制をおこなった10月21日(日)は、比較日の平成18年7月23日(日)の2.2倍の歩行者数を記録している。一方、歩行者天国を実施した11月3日(土)は、3.7倍と大きく増加している。

パセオ通りでは、歩行者天国により、限られた街路幅員のなか、様々な集客イベントが実施できるようになったため、歩行者天国の実施がより効果があったことがうかがえる。

表 3-4 パセオ通り(駐輪場前)交通量変化(10時～16時)

地点名	(H18)7月23日(日)	10月21日(日)	11月3日(土)
歩行者交通量	1,264	2,782	4,676
自動車	631	736	0
摘要	通常(両側通行)	通常(一方通行)	歩行者天国

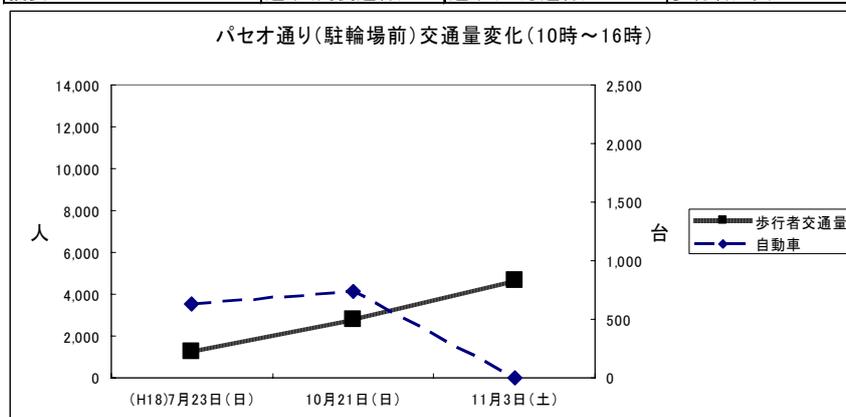


図 3-12 パセオ通り(駐輪場前)交通量変化(10時～16時)

## 4. アンケート調査結果

### 4-1. アンケート調査の概要

#### (1) アンケート調査概要

賑わい実験、及び、交通実験のアンケートの概要を示す。

「歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験」アンケート調査一覧表

分類	実験の名称	実験実施日	アンケート調査項目	調査方法	調査日	サンプル数
賑わい・交通実験等アンケート	スタンプラリー	10/20(土)～11/4(日)	来街者アンケート	来街者にアンケートを依頼	11/3	258
	ワゴンセール	10/20(土)～11/4(日)				
	歩行者天国(パセオ通り)	10/20(土)11/3(土)				
	農産物フェア	10/20(土)27(土)11/3(土)				
	まちなかコンサート	10/20(土)11/3(土)4(日)				
	交差点の一時停止化	10/20(土)11/3(土)				
	トイレお貸します	10/20(土)～11/4(日)				
	まちなか総合案内所	10/20(土)～11/4(日)				
	キッズサロン(親子休憩所)					
	まちなかイベント広場	11/3(土)				
	フルモール(駅前通り歩行者天国)	11/3(土)～11/4(日)				
	賑わい・交通実験等アンケート	まちなか総合案内所				
キッズサロン(親子休憩所)						
賑わい・交通実験等アンケート	イベントまちなか広場	「平成 福島座」	来場者アンケート	来場者にアンケートを依頼	11/3	46
		商店逸品コーナー				
		チビッコおまつり広場				
		まちなか歴史ウォーキングツアー				
賑わい・交通実験等アンケート	商店街朝市	11/3(土)	利用者アンケート	利用者にアンケートを依頼	11/3	24
賑わい・交通実験等アンケート	ワゴンセール	10/20(土)～11/4(日)	出店者アンケート	出店者にアンケートを依頼	実験終了後	18
賑わい・交通実験等アンケート	農産物フェア	10/20(土)27(土)11/3(土)	主催者アンケート	JAIにアンケートを依頼	実験終了後	1
賑わい・交通実験等アンケート	まちなかコンサート	10/20(土)11/3(土)4(日)	出演者アンケート	出演者にアンケート依頼	実験終了後	13
賑わい・交通実験等アンケート	親子まちなか探検隊	10/20(土)21(土)11/3(土)4(日)	利用者アンケート	利用者にアンケートを依頼	実施日全て	92
賑わい・交通実験等アンケート	街なかサポーター	10/20(土)21(土)11/3(土)4(日)	①来街者アンケート ②利用者アンケート ③サポーターアンケート	①来街者にアンケート依頼 ②利用者にアンケート依頼 ③サポーターにアンケート依頼	①②③実施日全て	①180 ②10 ③32
賑わい・交通実験等アンケート	コラッセ夢ばざー	11/4(日)	利用者アンケート	利用者にアンケートを依頼	11/4	18
賑わい・交通実験等アンケート	トイレお貸します	10/20(土)～11/4(日)	商店主アンケート	商店主にアンケート依頼	実験終了後	20
賑わい・交通実験等アンケート	フルモール(駅前通り歩行者天国)	11/3(土)～11/4(日)	来街者アンケート	来街者にアンケートを依頼	11/4	113
	「学びのエリア」～昔のみち、今のみち～	11/4(日)				
	未来の私へ手紙を出そう!	11/4(日)				
交通実験アンケート	ももりんレンタサイクル	10/20(土)～11/4(日)	利用者アンケート	利用者にアンケート依頼	実施日全て	198
	市内循環線1日乗り放題乗車券	10/20(土)～11/18(日)	利用者アンケート	利用者にアンケート依頼	実施期間全て	42
	電車と市内循環線の1日乗り放題共通乗車券	10/20(土)～11/18(日)				
	西口循環線(循環バス)	10/20(土)～11/18(日)	町内会アンケート	路線沿線町内会にアンケート依頼	実施期間中	1,302
	まちなか循環線(循環バス)	10/20(土)27(土)11/3(土)4(日)	利用者アンケート	利用者にアンケート依頼	実施日全て	192
	笹谷桜水駅循環線(循環バス)	10/20(土)27(土)11/3(土)4(日)	町内会アンケート	路線沿線町内会にアンケート依頼	実施期間中	1,305
交通実験アンケート	人と車の共生実験(トランジットモール)	10/20(土)21(日)	①来街者アンケート ②運転者アンケート	①来街者にアンケート依頼 ②運転者(タクシー)にアンケート依頼	①②実施日全て	①254 ②10

総サンプル数

4,230

## 4-2. 賑わい実験に関するアンケート結果

### (1) 賑わい実験全般

#### ①実験の概要

賑わい実験として、歩行者天国、パセオワゴンセール、農産物フェア、まちなかコンサート等を実施した。

#### ②アンケート調査結果

(サンプル N=258 重複回答 11月3日の賑わい実験アンケートの合計)

11月3日(土)に実施した、賑わい実験及びパセオ通りの交差点の一時停止化について、街なか広場・パセオ通りを中心にアンケート調査を実施した。

##### 1)性別

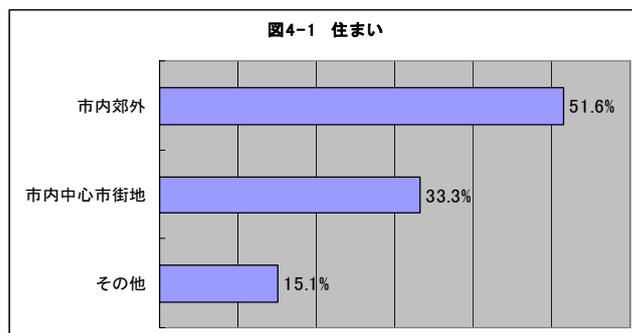
男性 34.1%、女性 65.9%であった。

##### 2)年齢

10代 4.7%、20代 8.5%、30代 26.0%、40代 18.6%、50代 16.3%、60代 16.7%、70代 8.9%、80代 0.4%であった。30代から60代が多く参加している。

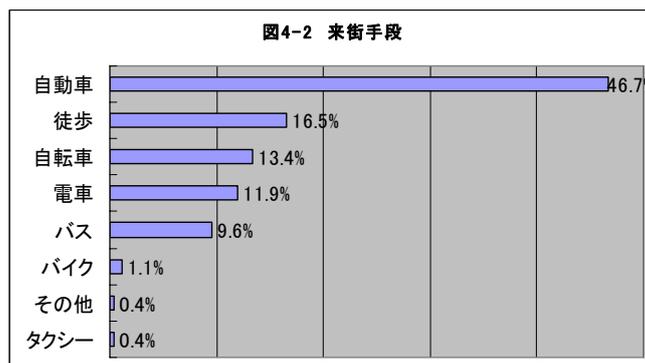
##### 3)住まい

市内郊外 51.6%、中心市街地 33.3%、その他 15.1%であった。(図 4-1)



##### 4)来街手段

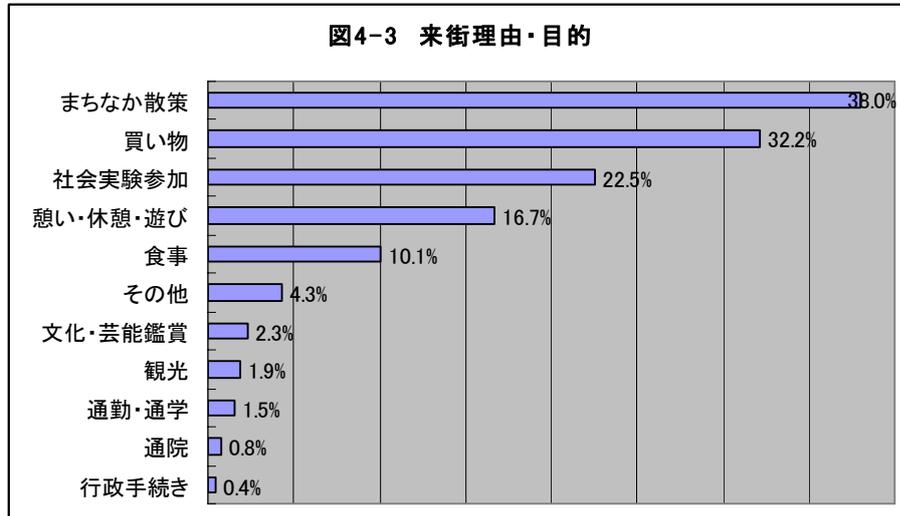
自動車 46.7%、徒歩 16.5%、自転車 13.4%、電車 11.9%、バス 9.6%の順であった。中心市街地居住者は徒歩 45%、次いで、自転車 17%が多く、市内郊外からの来街者は自動車利用が 61%と圧倒的に多く、バス 12.8%、電車 10.5%の順であった。また、福島市外からの来街者では、自動車 56.4%、電車 35.9%であり、伊達市からが多く郡山市、仙台市からの来街者もみられた。(図 4-2)



5)来街理由・目的

まちなか散策 38.0%、買い物 32.2%、次いで社会実験参加 22.5%、憩い・休憩・遊び 16.7% 食事 10.1%と続く。(図 4-3)

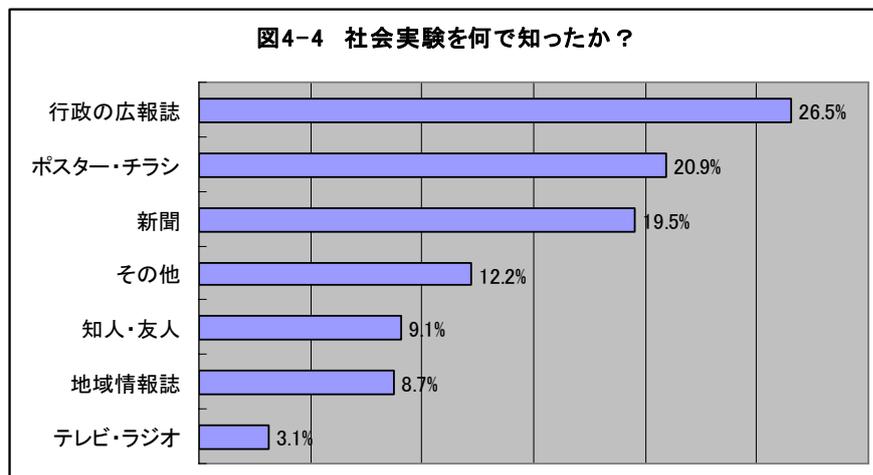
中心市街地居住者は、まちなか散策 46.5%、買い物 27.9%、社会実験参加 23.3%で、市内郊外居住者は、まちなか散策 37.6%、買い物 34.6%、社会実験参加 22.6%で、市外居住者は買い物 33.3%、まちなか散策、社会実験参加が 20.5%と並んでいる。



6)社会実験を何で知りましたか？ (図 4-4)

行政の広報誌 26.5%が一番多く、ポスター・チラシ 20.9%、新聞 19.5%と続く。

居住地別では、福島市内は行政の広報誌、ポスター・チラシの順であるが、福島市外は新聞、行政の広報誌の順となった。

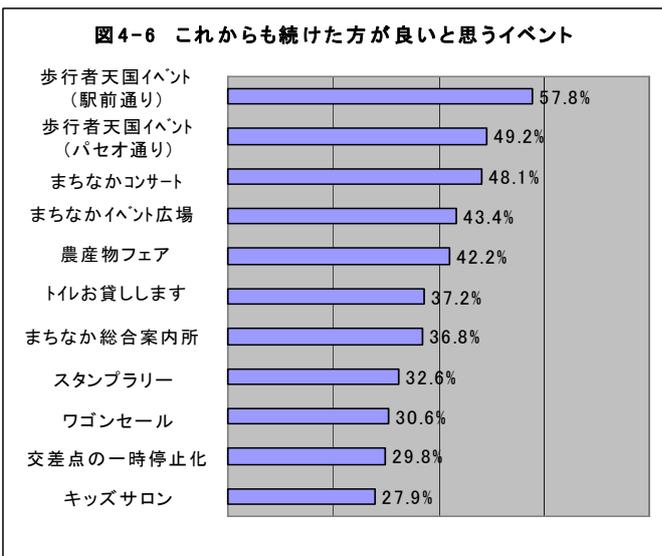
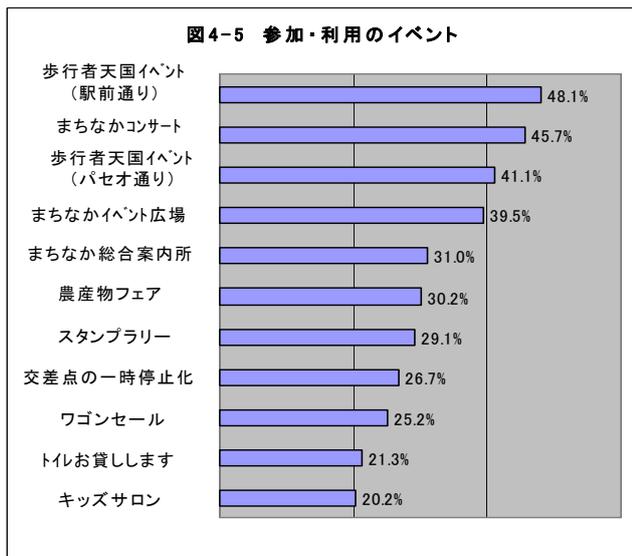


7)賑わい実験の参加・利用イベントについて (図 4-5)

参加、利用したイベントとして、歩行者天国イベント (駅前通り) 48.1%、まちなかコンサート 45.7%、歩行者天国イベント (パセオ通り) 41.1%、まちなかイベント広場 39.5%と多かった。

8)今後も続けた方が良くと思うイベントについて (図 4-6)

歩行者天国イベント (駅前通り) 57.8%、歩行者天国イベント (パセオ通り) 49.2%、まちなかコンサート 48.1%、まちなかイベント広場 43.4%となっている。



9) これからも続けた方が良くする場合の日程

「トイレお貸しします」については、毎日実施して欲しい、との意向が過半数である。まちなか総合案内所、キッズサロン、ワゴンセール、交差点の一時停止化は毎週末の実施を望む意向が高い。他は月1回程度が多い。

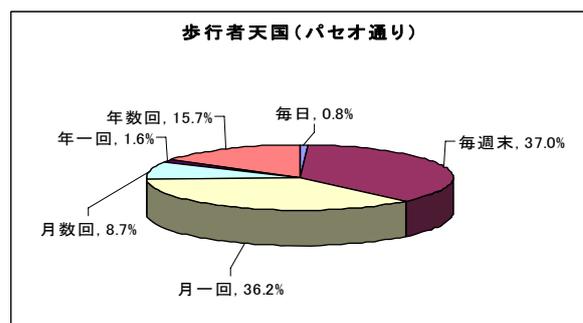
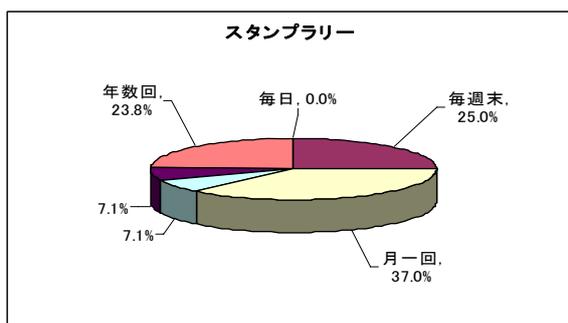
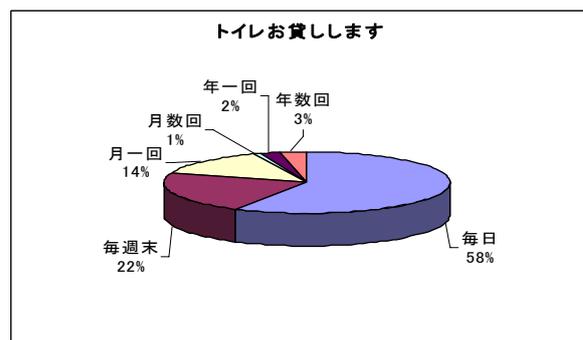
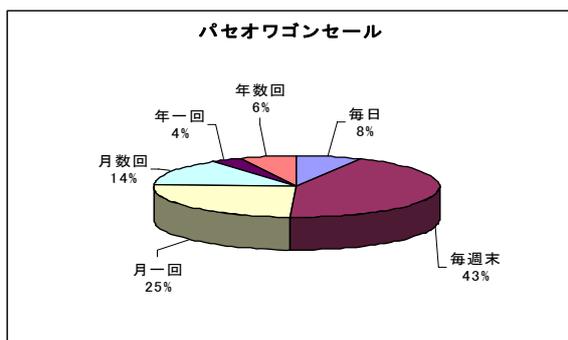
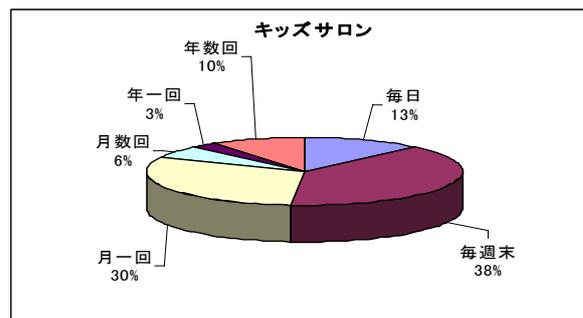
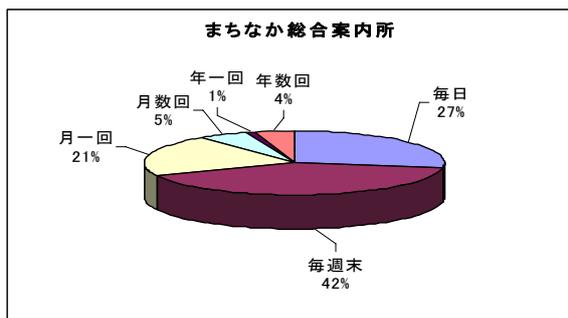


図 4-7-1 これからも続けた方が良く場合の日程

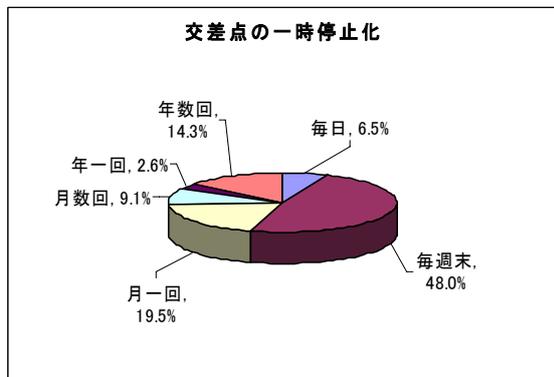
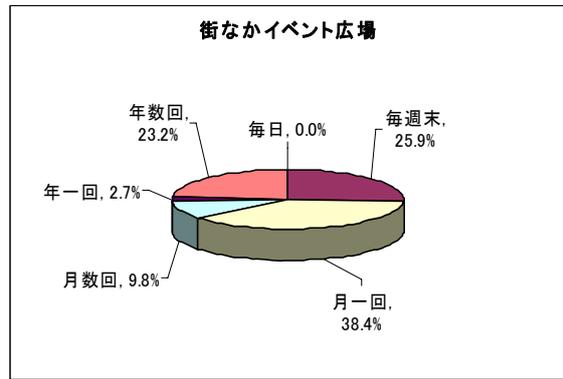
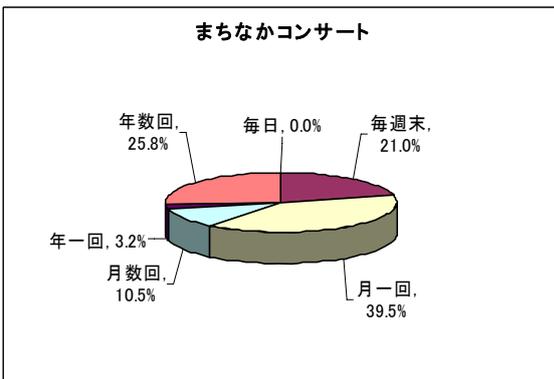
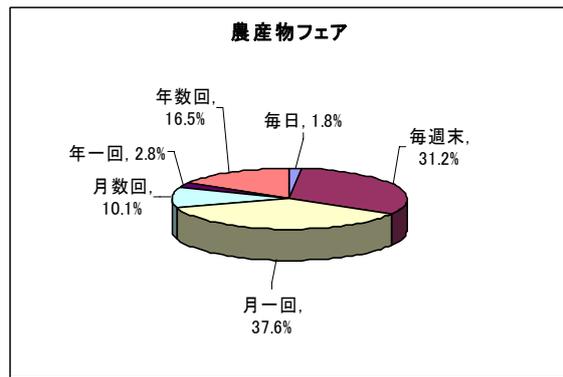
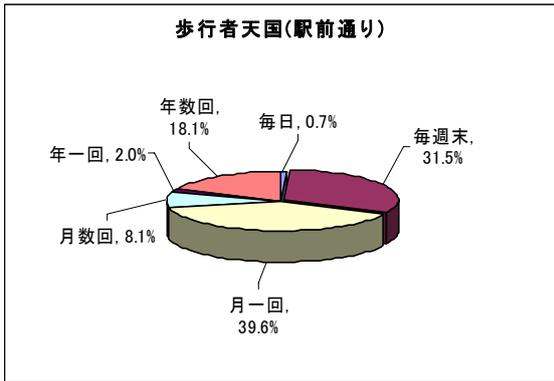


図 4-7-2 これからも続けた方がよい場合の日程

### ③調査結果にもとづく考察

利用者アンケート調査結果では、駅前通りやパセオ通りの歩行者天国イベント、まちなかコンサートの利用が相対的に多かったが、突出した値ではなく、他のイベントの利用も多かった。今後も、多彩なイベントを連携して企画・実行し、多くの人をまちなかに誘引することが重要と考えられる。

また、各イベントの実施頻度については、来街者を支援する「トイレお貸しします」は毎日、「キッズサロン」「まちなか総合案内所」「交差点の一時停止化」は毎週末の設置が多く望まれており、これらについては毎週末の実施ができないか検討が望ましい。

## (2) まちなか総合案内所・キッズサロン

### ①実験の概要

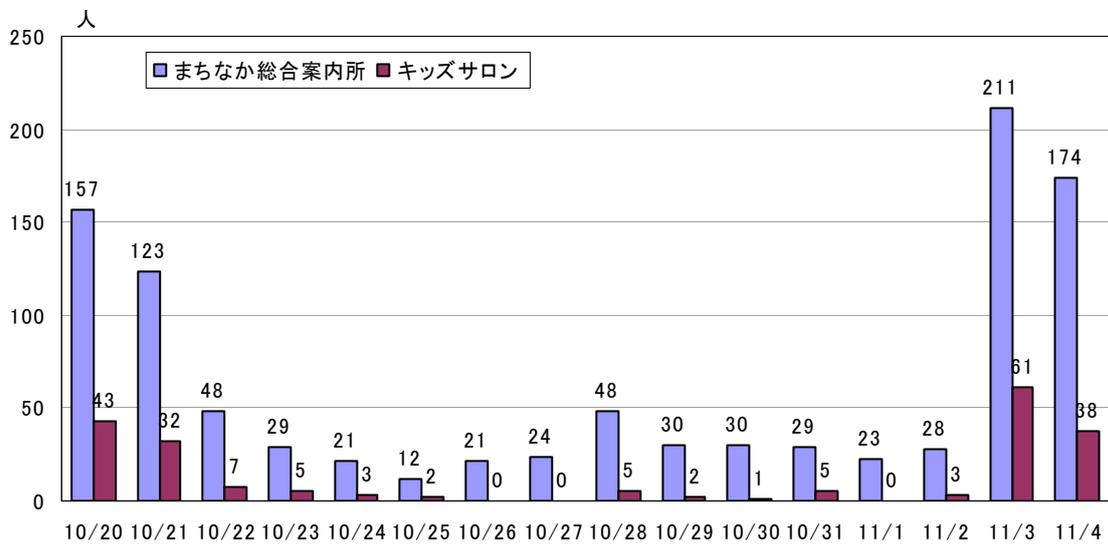
情報提供による利便性の向上をねらいとして、総合案内所を常設し、イベント情報やまちあるきマップ等を配布した。また、キッズサロンを案内所内に設置した。

#### <実験中利用者数>

- ・まちなか総合案内所 1,008人（土日平均123人/日、平日平均27人/日）
- ・キッズサロン 207人（土日平均30人/日、平日平均3人/日）



まちなか総合案内所



まちなか総合案内所・キッズサロンの日別利用者数一覧

### ②利用者アンケート調査結果

★まちなか総合案内所（サンプルN=79 重複回答あり）

#### 1)性別

男性 17.7%、女性 82.3%で圧倒的に女性が多かった。

#### 2)年齢

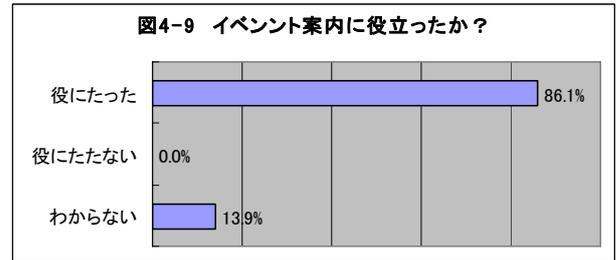
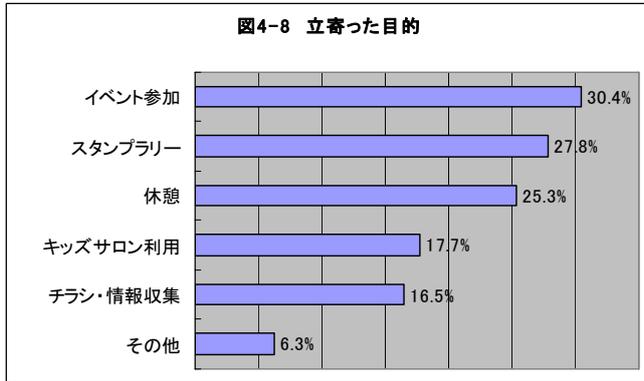
10代 6.3%、20代 19.0%、30代 31.6%、40代 11.4%、50代 19.0%、60代 5.1%、70代 7.6%  
で30代が多く、次いで20代・50代が並んでいる。

#### 3)立寄った目的（図4-8）

イベント参加 30.4%、スタンプラリー27.8%、休憩が 25.3%となっている。

4) イベントの案内に役立ったか？ (図 4-9)

役に立ったが 86.1%と殆んどの利用者がイベントの案内に役立ったとしている。

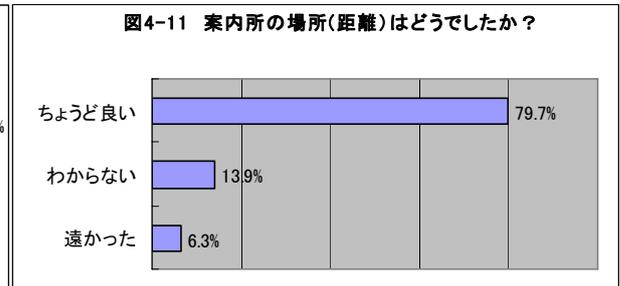
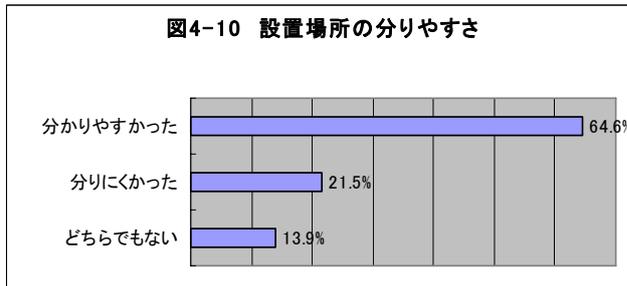


5) 設置場所はわかりやすかったですか？(図 4-10)

わかりやすかった 64.6%、分りにくかった 21.5%であり、空き店舗の利用であったが、チラシ・案内看板等で概ね誘導ができた結果となった。

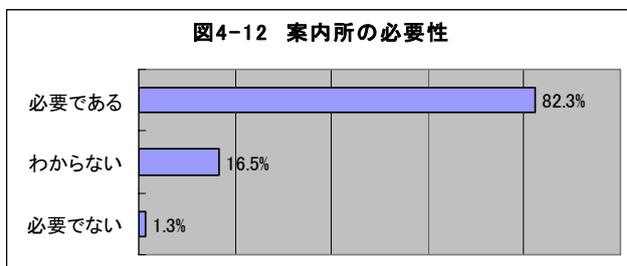
6) まちなか総合案内所の場所（距離）はどうでしたか？(図 4-11)

ちょうど良い 79.7%、わからない 13.9%、遠かった 6.3%であった。イベントを実施しているセオ通り、まちなか広場に近いこともあり概ね良い評価となった。



7) まちなか総合案内所は今後も必要だと思いますか？(図 4-12)

必要である 82.3%、わからない 16.5%、必要でない 1.3%であった。



まちなか総合案内所の立寄り目的は、イベント参加、スタンプラリーなどが多い。総合案内所のイベント案内に対する有効性、わかりやすさ、立地場所、必要性については概ね肯定的であった。

NO	自由意見 等	年齢・性別
1	福島市内の活性化のために良い活動だと思います。これからも頑張って下さい	20代・女性
2	娘二人と姉と四人で来ました。とてもお天気が良くてお散歩がてら楽しめました。子供の遊ぶスペースもあり大喜びで遊んでました。	20代・女性
3	地図をたくさん頂きました。週末にフルーツ狩りに出掛けようと思います。ありがとうございました。	30代・女性
4	市内・県内の案内誌がいつもあると便利。	50代・男性
5	イベントの広報をもっと広めてほしい。	70代・男性
6	初めてスタンプラリーに参加してみました。このようなイベントをもっとやってほしいと思います。	40代・女性
7	子供が遊べる場所をそのまま残してほしい。	30代・女性
8	頑張って下さい。雰囲気は良かった。	50代・男性
9	出入り口が一方でない方がベストかもしれません。でも、スペースは広すぎない方が落ち着きます。	30代・女性
10	案内所設置の目的を教えて欲しい。	20代・男性
11	駅前か街なか広場あたりにあった方が良い。	50代・女性
12	もっと広報活動をした方が良い。	50代・女性
13	合併後を考えて飯野町の年輩の方々には喜ばれると思う。	70代・女性
14	もっと知ってもらえるような工夫が必要だと思う。キッズルームとしては今の場所は悪くないけど案内をするなら駅前にあるべき内容だと思う。	30代・女性
15	空き店舗を利用するのであれば、人通りの多い場所にすれば良いと思う。定着するまで時間がかかると思いますが施設を残して欲しい。	60代・女性
16	こうした取り組みを通して街なかの活性化を図って下さい。	30代・女性
17	街なかに休める場所があるのは良いと思う。	30代・女性
18	お茶が出されホッと一息つけました。福島駅近くにあると観光客に良いと思います。	30代・女性

★キッズサロン（サンプルN=17 重複回答あり）

まちなか総合案内所を利用し、かつ、キッズサロンを利用した方にアンケートに協力していただき、回答を分析した。

1)キッズサロンに立寄った目的(図 4-13)

総合案内所に立寄ったからと遊具があった(見えた)からが 47.1%で並んで多く、次いで休憩 29.4%となっている。

2)キッズサロンは街なかに必要だと思いますか？（図 4-14）

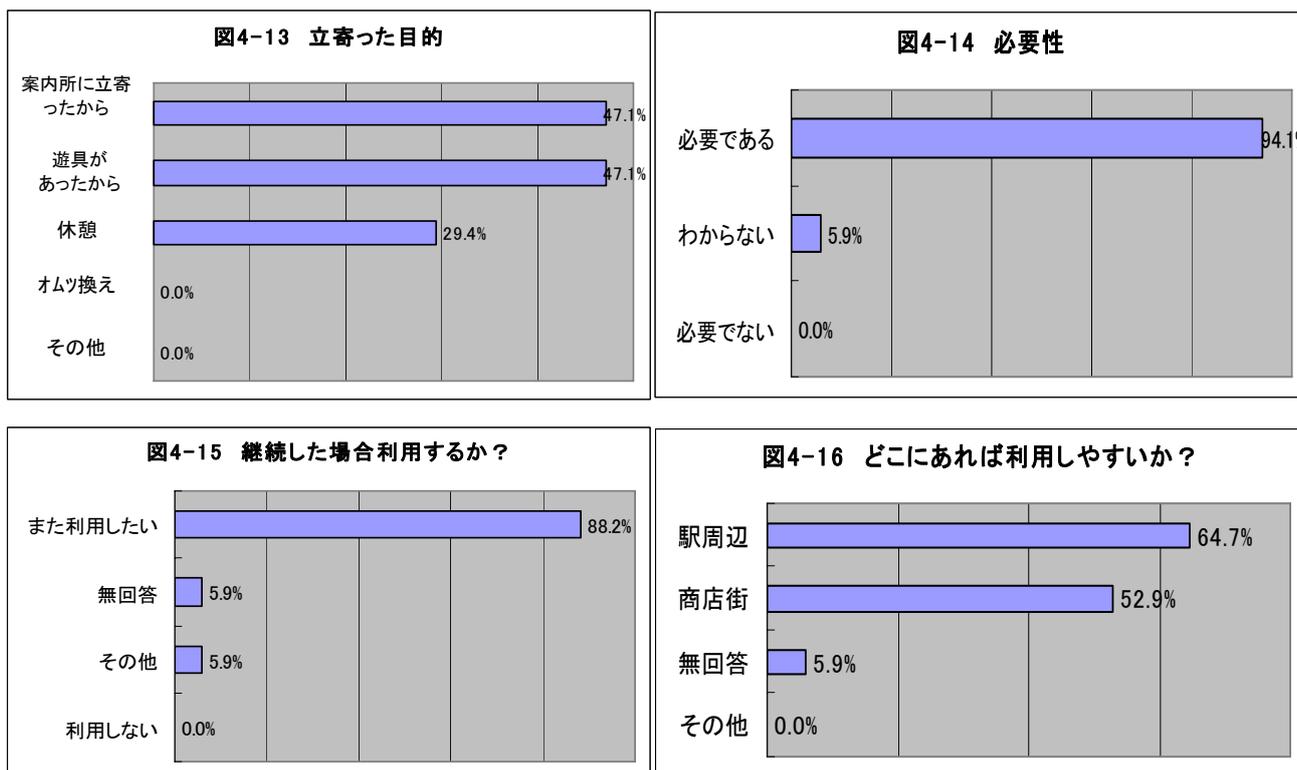
必要である 94.1%、わからない 5.9%でキッズサロンの継続を望む方が圧倒的に多い。

3)継続した場合、また利用しますか？(図 4-15)

また利用したいが 88.2%を占め、利用しないは 0%である。その他、無回答が 5.9%である。

4)キッズサロンがどこにあれば利用しやすいですか？（図 4-16）

駅周辺 64.7%、商店街 52.9%であった。商店街ではパセオ通りという意見があった。



NO	継続した場合、要望や改善点はありますか？	年齢・性別
1	もう少し広く	30代・女性
2	もう少し広く、クッション性のある床マット	30代・女性
3	もう少し遊具が欲しい	30代・女性
4	塗り絵をして楽しめたら良いと思う。子供用のぬるいお茶があったら嬉しいです。	30代・女性
5	もう少し広い方が良い。	30代・女性

### ③調査結果にもとづく考察

実験期間中、まちなか総合案内所は、土日で 123 人／日、平日で 27 人／日の利用があり、よく利用された結果となった。また、キッズサロンについては、土日で 30 人／日、平日で 3 人／日の利用があり、特に土日の利用が多かった。

利用者に対するアンケート調査結果では、まちなか総合案内所について、利用者の 8 割以上が「必要である」と回答し、キッズサロンについては、利用者の 9 割以上が「必要である」と回答しており、福島のまちなかに設置することが望まれる施設といえる。

特に、まちなか総合案内所は、まちなかへの来訪者に対するホスピタリティ（おもてなし）の場としての拠点施設の位置づけになるものと期待される。キッズサロンについては、もう少し広いスペースを望む声が多く、十分なスペースの確保とともに子育て支援団体（NPO）との連携を含めてどのような位置づけ・事業内容にするか今後の検討課題である。



キッズサロンの様子

### (3) まちなかイベント広場

#### ①実験の概要

集客・来街者の増加を目的として、11月3日、街なか広場において、「平成福嶋座」の開催、商店街PRのブースを設置、子供専用のイベントの開催、歴史スポットの散策などを行った。

＜実験中参加者数＞ 5,500人（平均5500人/日）

＜イベント内容＞

- ・「平成福嶋座」
- ・花'ッお祭り広場
- ・商店街朝市
- ・商店街逸品コーナー
- ・まちなか歴史ウォーキングツアー



まちなかイベント広場（11月3日）

#### ②アンケート調査結果

まちなかイベント広場に入場した方にアンケートを実施した。（サンプル N=46）

##### 1)性別

男性 23.9%、女性 76.1%であった。

##### 2)年齢

10代 13.0%、20代 13.0%、30代 39.1%、40代 8.7%、50代 6.5%、60代 15.2%、70代 4.3%であった。30代が4割程度を占めた。

##### 3)住まい

中心市街地 54.3%、市内郊外 30.4%、その他 15.2%であった。毎年行っているイベントでもあり中心市街地居住者に知られているイベントであると考えられる。

#### ★「平成福嶋座」参加者アンケート（サンプル N=31）

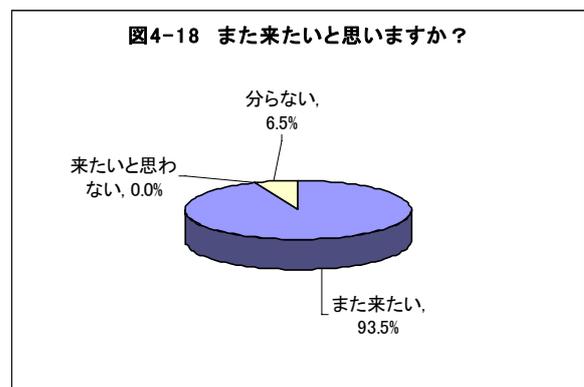
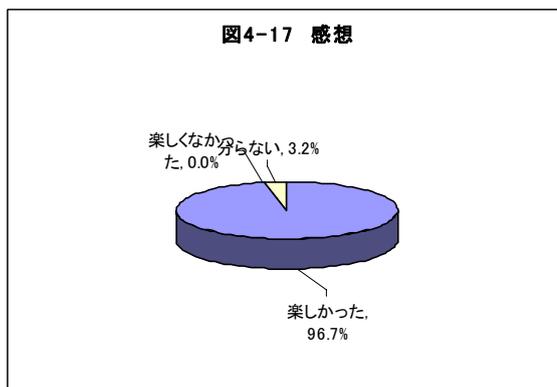
11月3日に実施した賑わいアンケート 258名分の中から、まちなかイベント広場に入場し「平成福嶋座」をご覧になった31名のアンケート結果である。

##### 1)感想（図4-17）

楽しかったが 96.7%を占めた。

##### 2)また来たいと思いますか？（図4-18）

また来たいが 93.5%を占めた。

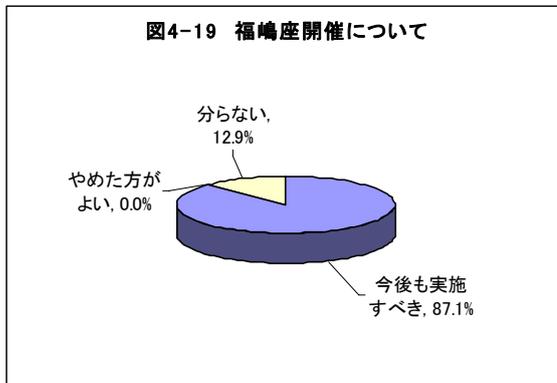


3) 「平成福嶋座」の今後の開催について(図 4-19)

今後も実施すべきが 87.1%、分らないが 12.9%であった。

4)開催場所について (図 4-20)

今のままが 96.8%、変更すべきが 3.2%であった。利用者にとって現在の場所が定着しているという結果になった。また、変更すべきの理由として、もっと広い場所という意見があった。

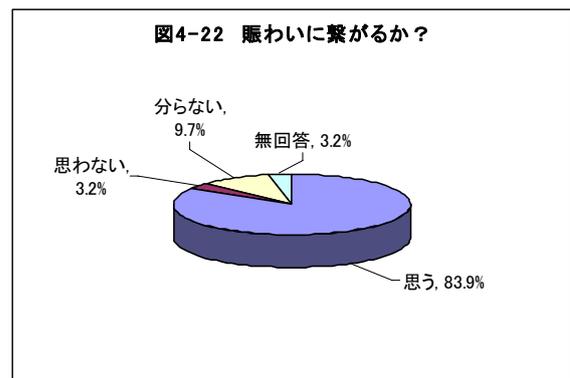
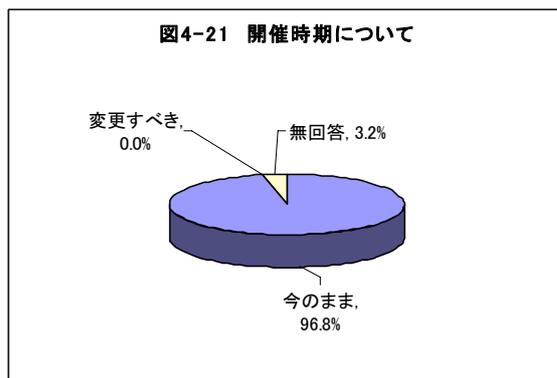


5)開催時期について(図 4-21)

今のままが 96.8%を占めた。

6)まちなかの賑わいに繋がると思えますか?(図 4-22)

思うが 83.9%、分らない 9.7%、思わないが 3.2%であり、賑わいに繋がるイベントであるという回答が多かった。



楽しかったとの感想や今後のリピート意向がともに高く、90%を超えている。賑わいへの繋がりについても肯定的である。

開催時期や開催場所についても現在の時期、場所が良いとの回答が多く、毎年開催されているイベントとして定着していると考えられる。



「平成福嶋座」開催状況

★出店ブース利用者アンケート（サンプル N=25）

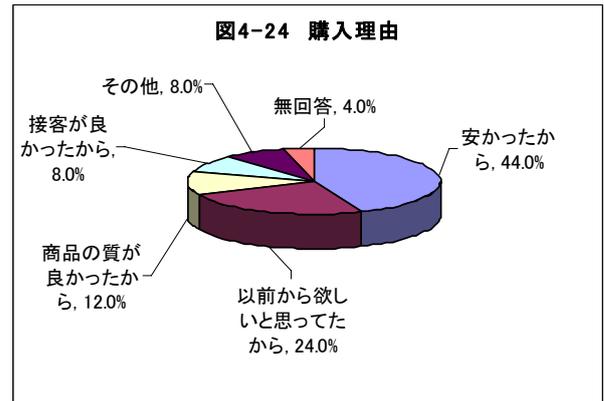
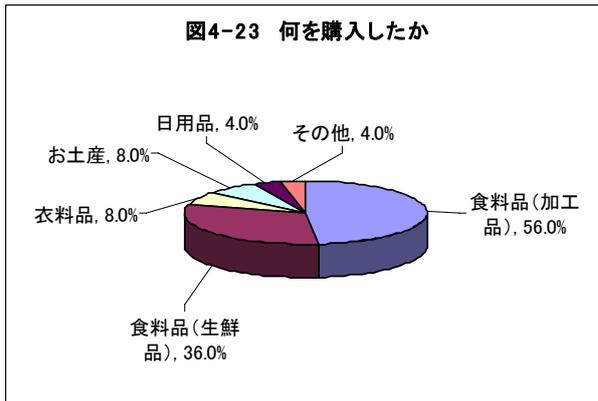
11月3日に実施した賑わいアンケート 258名分から出店ブースを利用した 25名のアンケート調査の結果である。

1)何を買いましたか？(図 4-23)

食料品（加工品）56.0%、食料品（生鮮品）36.0%と食料品が多数であった。

2)なぜそれを買いましたか？(図 4-24)

安かったから 44.0%、以前から欲しいと思ってたからが 24.0%を占めた。

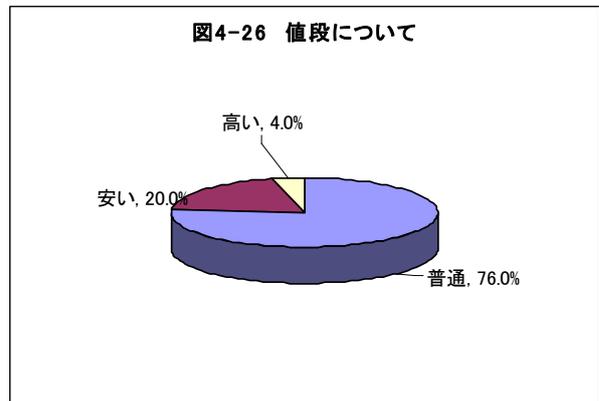
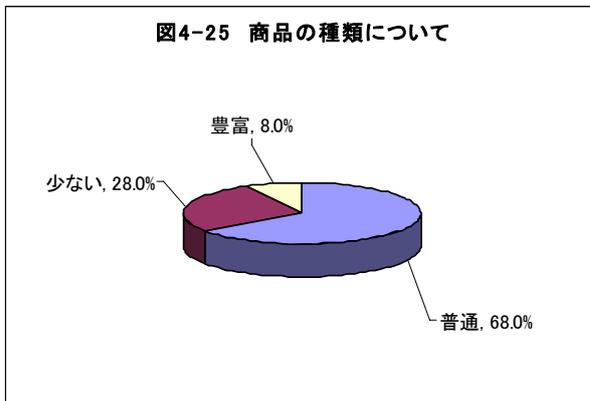


3)商品の種類について(図 4-25)

普通 68.0%、少ない 28.0%、豊富 8.0%であった。

4)値段について (図 4-26)

普通 76.0%、安い 20.0%、高い 4.0%であった。2)に問い“なぜそれを買いましたか？”では、“安かったから”が 44.0%を占めたが、ここでは 20.0%に留まった。



5)商品の質について (図 4-27)

満足 44.0%、普通 56.0%であった。

6)接客について (図 4-28)

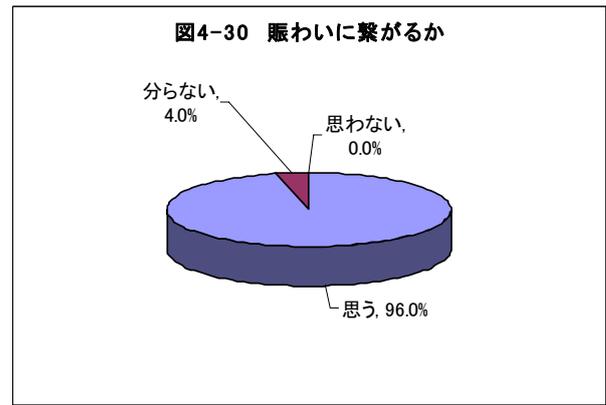
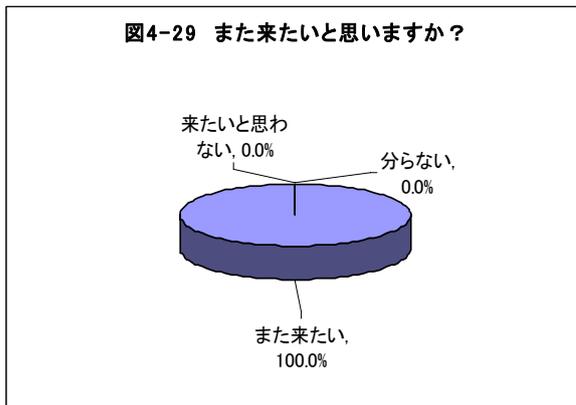
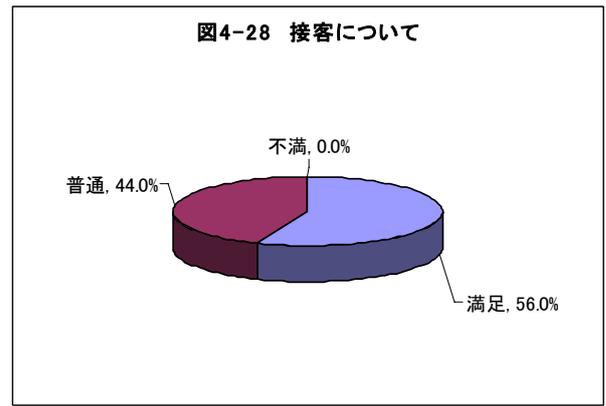
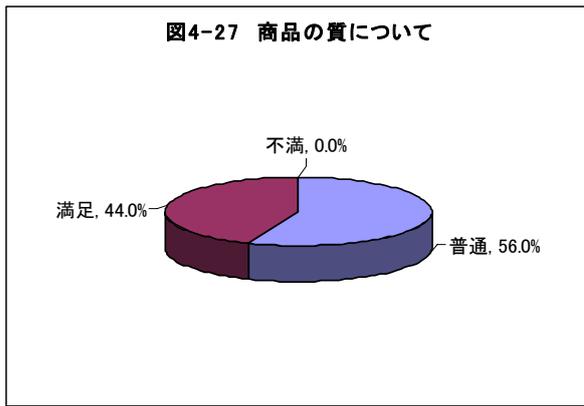
満足 56.0%、普通 44.0%であった。

7)また来たいと思いますか？(図 4-29)

また来たいが 100.0%で利用者全員がまた利用したいとの回答であった。

8)まちなかの賑わいに繋がると感じますか？ (図 4-30)

思う 96.0%、分らない 4.0%であり、賑わいに繋がるという回答が多数であった。



出店ブース自体については、今後の利用意向が高く、賑わいへの繋がりも肯定的である。商品の種類や値段、質については普通との意見が高かった。接客についての満足度は過半数を占めた。



出店ブースの状況（県北うまいもの市場）

★まちなか歴史ウォーキングツアー参加者アンケート（サンプル N=23）

ショートコース参加者からアンケートに協力いただいた。

1)性別

男性 43.5%、女性 56.5%であった。

2)年齢

40代 13.0%、50代 26.1%、60代 34.8%、70代以上 26.1%であった。30代以下の参加者はなかった。

3)住まい

福島市内 91.3%、福島市外 4.3%、県外 4.3%であった。

4)参加されての感想（図 4-31）

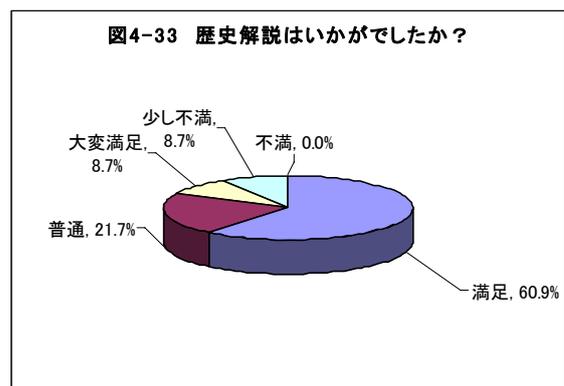
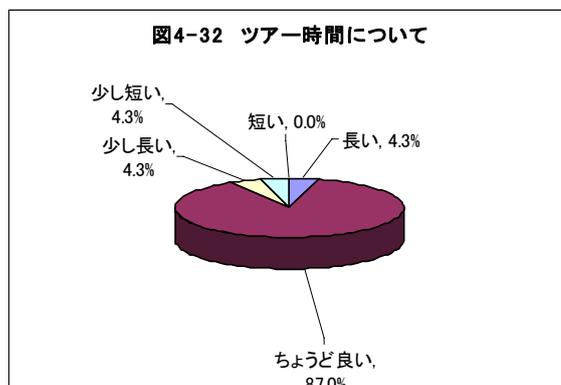
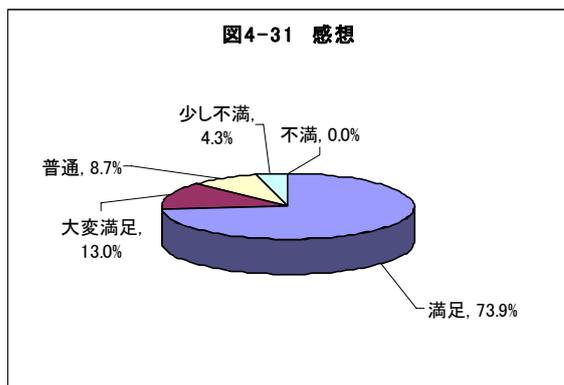
満足 73.9%、大変満足 13.0%、普通 8.7%と利用者は満足したという回答だった。

4)ツアーの時間はいかがでしたか？（図 4-32）

ちょうど良いが 87.0%を占めた。

5)歴史解説はいかがでしたか？（図 4-33）

満足 60.9%、普通 21.7%であった。



まちなか歴史ウォーキングツアーの状況

ツアーの感想、歴史解説とも満足度が高い結果となった。ツアー時間も「ちょうど良い」が多数を占めた。

### ③調査結果にもとづく考察

「平成福嶋座」参加者アンケート、「まちなか歴史ウォーキングツアー」参加者アンケート調査結果では、企画・内容とも非常に好評であり、今後も継続した実施が期待される。

「出店ブース」利用者アンケートは賑わいへのつながり、接客等について肯定的な意見が多かった一方、商品の種類、値段、質については普通との意見が多かった。「パセオワゴンセール」や「農産物フェア」の提供商品と同様の評価である。市民の消費者としての期待は高いものがあり、今後、提供商品についての工夫が必要と考えられる。



チビッコお祭り広場



「平成福嶋座」太鼓演奏

まちなかイベント広場の状況

#### (4) 商店街朝市

##### ①実験の概要

集客・来街者の増加を目的として、11月3日、街なか広場において、農産物（農産加工品）その他を販売し、朝市を実施した。

＜実験中参加者数＞ 300人（平均300人／日）

##### ②アンケート調査結果（サンプルN=24）

商店街朝市に訪れた利用者にアンケート調査をした結果である。

###### 1)性別

男性33.3%、女性66.7%であり女性が多かった。

###### 2)年齢

30代25.0%、40代29.2%、50代20.8%、60代8.3%、70代16.7%であった。年齢層は30代から70代まで、ほぼ平均的であった。

###### 3)住まい

中心市街地87.5%、市内郊外12.5%であった。中心市街地居住者が多数であった。

###### 4)朝市の開催について（図4-34）

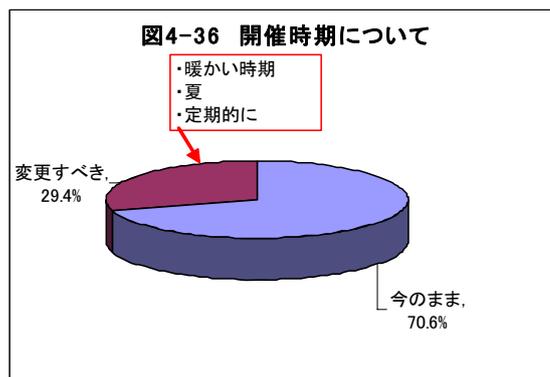
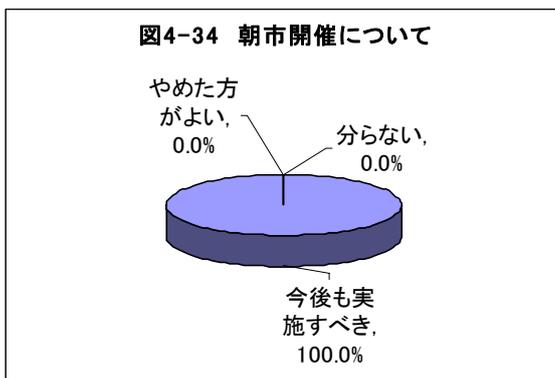
今後も実施すべきが100.0%であり、利用者は継続を望んでいる。

###### 5)開催場所はどうですか？（図4-35）

今のままが100.0%であり、街なか広場での開催が良いとの回答であった。

###### 6)開催時期はどうですか？（図4-36）

今のまま70.6%、変更すべき29.4%であった。変更すべきと回答した利用者は、暖かい時期・夏・定期的に開催して欲しいとの意見であった。

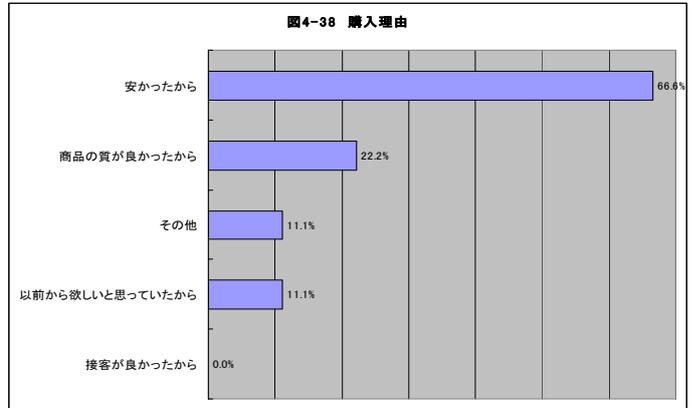
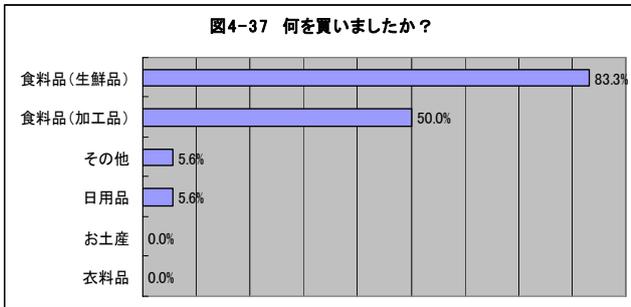


7)何を買いましたか？(図 4-37)

食料品（生鮮品）83.3%、食料品（加工品）50.0%と殆んどが食料品であった。

8)なぜそれを買いましたか？(図 4-38)

安かったから 66.6%、商品の質が良かったから 22.2%であった。

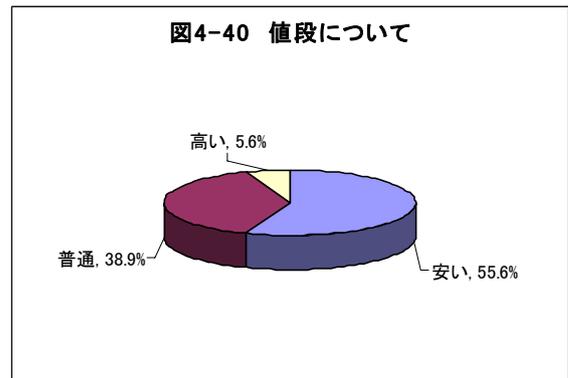
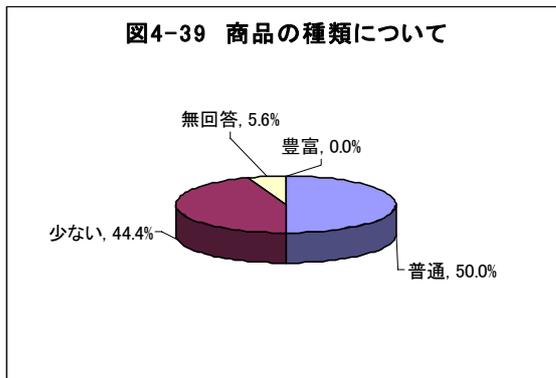


9)商品の種類について (図 4-39)

普通 50.0%、少ない 44.4%であり、もう少し種類（品揃え）の多さを望む回答であった。

10)値段について (図 4-40)

安い 55.6%、普通 38.9%、高い 5.6%であった。

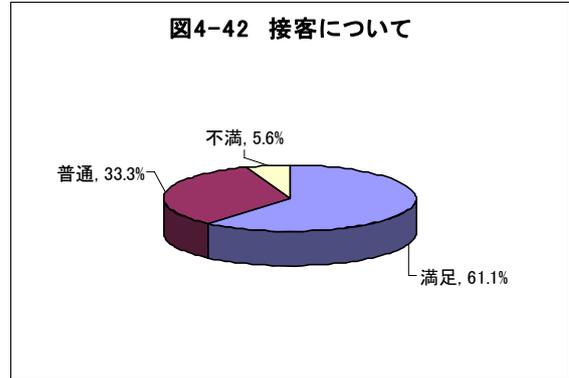
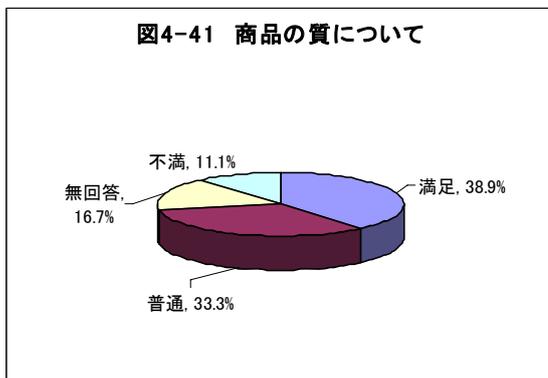


11)商品の質について (図 4-41)

満足 38.9%、普通 33.3%、不満 11.1%であった。

12)接客について (図 4-42)

満足 61.1%、普通 33.3%、不満 5.6%であった。

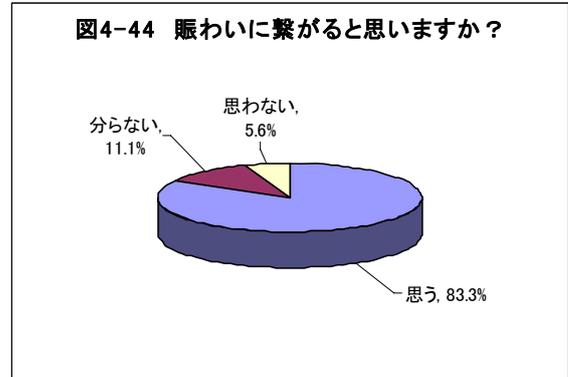
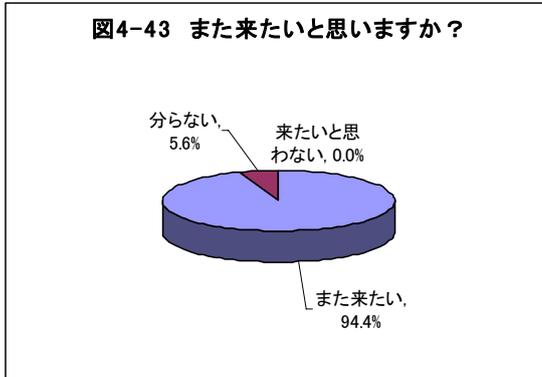


13)また来たいと思いますか？(図 4-43)

また来たいが 94.4%を占めた。

14)まちなかの賑わいに繋がると思いますか？(図 4-44)

思う 83.3%、思わない 5.6%、分らない 11.1%であった。



朝市自体については、今後の利用意向も高く、賑わいへのつながりにも好意的であった。また、商品の値段や接客についても満足度が高い。商品の種類、質は普通との意見が多数を占めた。

### ③調査結果にもとづく考察

利用者アンケート結果では、「今後も実施すべき」「開催場所も今のまま」が 100%と好評だった。また、商品の種類は普通との意見が多かったが、値段や品質、接客等はおおむね好評であり、継続開催に向けた検討が必要である。



朝市の状況

(5) ワゴンセール (利用者)

①実験の概要

集客、来街者の増加、回遊性の向上を目的として、パセオ通りの店先にワゴンを設置し、店頭販売を行った。

②アンケート調査結果 (サンプル数N=74)

11月3日に実施した賑わいアンケート258名分の中からワゴンセールを利用した74名のアンケートの調査結果である。

1)性別

男性 40.6%、女性 59.4%であった。

2)年齢

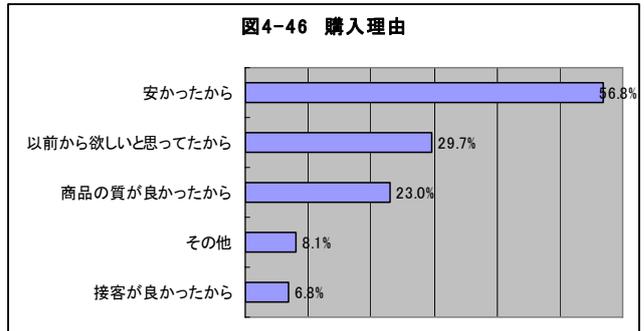
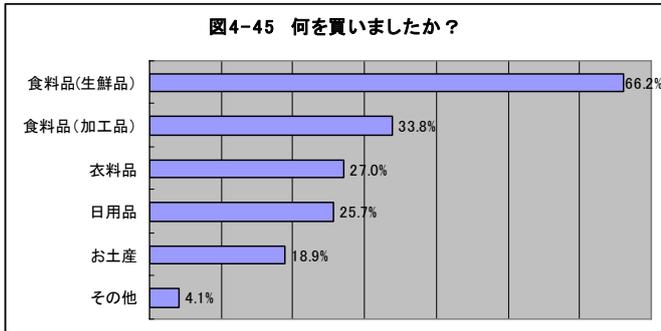
50代 23.1%、30代 21.5%、40代・60代 18.5%、70代 9.2%、20代 6.2%、10代 3.1%であった。

3)何を買いしましたか？ (図 4-45)

食料品 (生鮮品) 66.2%、食料品(加工品)33.8%と食料品が多数を占めた。

4)なぜそれを買いましたか？(図 4-46)

安かったから 56.8%、が多く次いで以前から欲しいと思ってたから 29.7%、商品の質が良かったから 23.0%と続く。

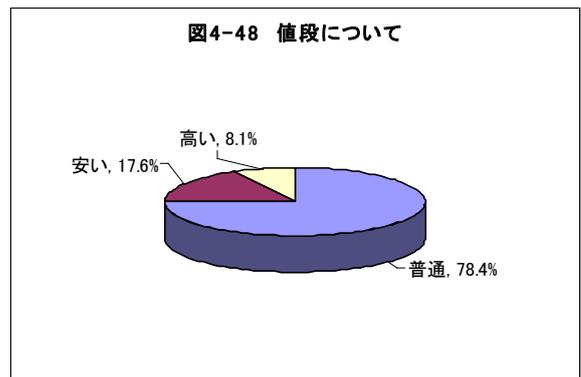
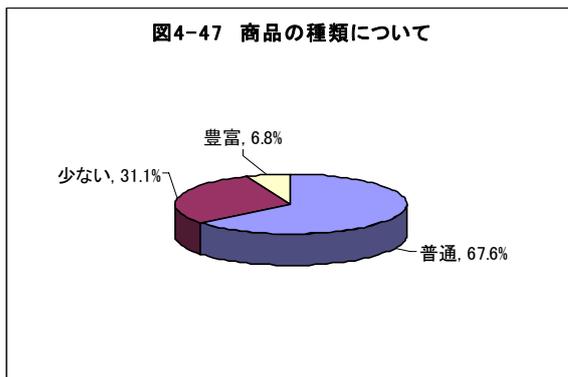


5)商品の種類について (図 4-47)

普通 67.6%、少ない 31.1%であった。

6)値段について (図 4-48)

普通 78.4%、安い 17.6%であった。

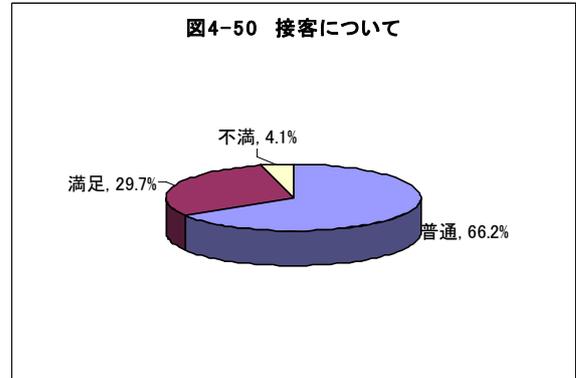
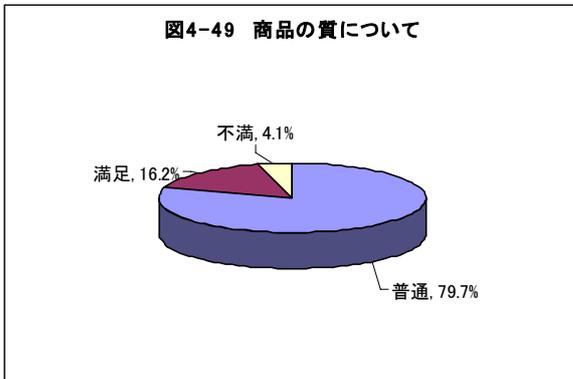


7)商品の質について (図 4-49)

普通 79.7%、満足 16.2%であった。

8)接客について (図 4-50)

普通 66.2%、満足 29.7%、不満 4.1%であった。不満という回答には「支払いまでの時間がかかる」という意見があった。

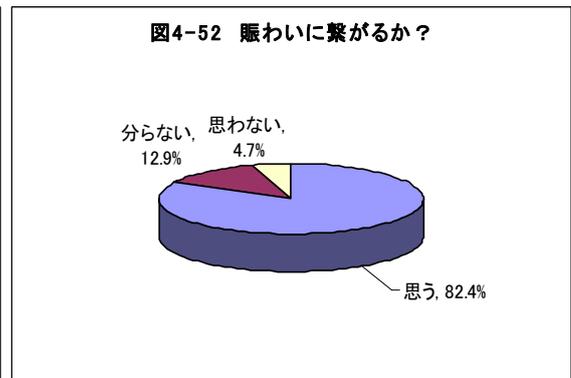
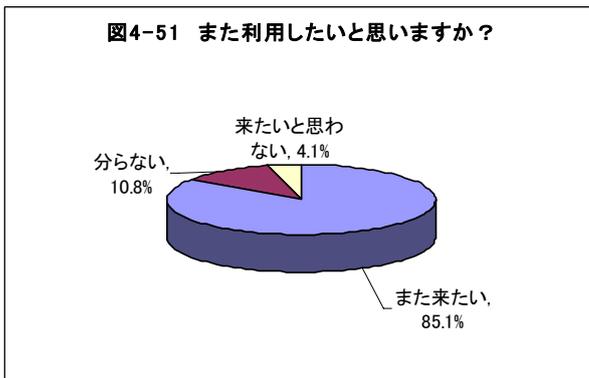


9)また来たいと思いますか？ (図 4-51)

また来たいが 85.1%、分らない 10.8%、となった。

10)まちなかの賑わいに繋がると思いますか？(図 4-52)

思うが 82.4%、分らない 12.9%、思わない 4.7%であった。



③調査結果にもとづく考察

利用者アンケート調査結果では、「また来たい」が 85.1%、「賑わいに繋がると思う」が 82.4%と好意的な結果となっている。一方、商品の種類、値段、質、接客等については普通との意見が多い。ワゴンセールスの開催自体は今後も継続しておこなうことが期待されている。継続する際は、利用者の購買意欲を高めるような、提供商品や接客方法を今後工夫していくことが必要である。

(6) ワゴンセール (出店者)

①実験の概要

集客、来街者の増加、回遊性の向上を目的として、パセオ通りの 25 の店先にワゴンを設置し、店頭販売を行った。

②出店者アンケート調査結果 (サンプル N=18)

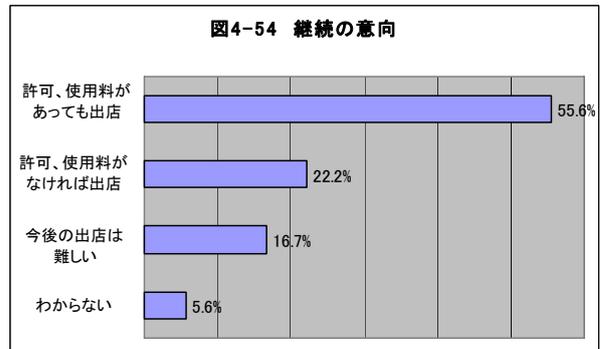
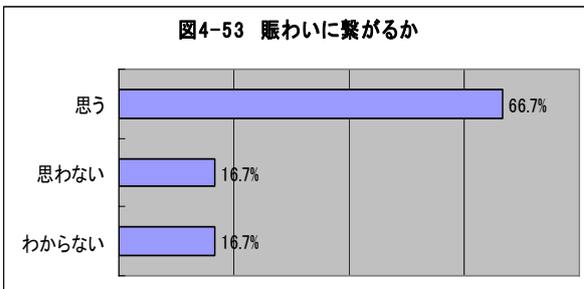
出店 25 店中 18 名の出店者からアンケートに協力いただいた。

1)ワゴンセールは賑わいに繋がると思うか? (図 4-53)

思う 66.7%、思わない、分らないが 16.7%で並んでいる。

2)道路使用申請等が発生しても出店するか? (図 4-54)

許可・使用料がなければ出店 55.6%、許可・使用料があっても出店 22.2%、今後の出店は難しい 16.7%であった。許可・使用料が出店する際に支障となっている。

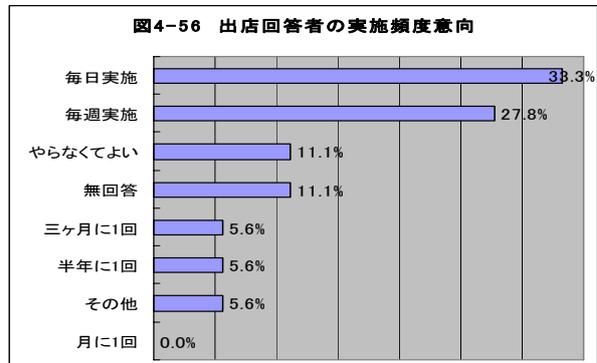
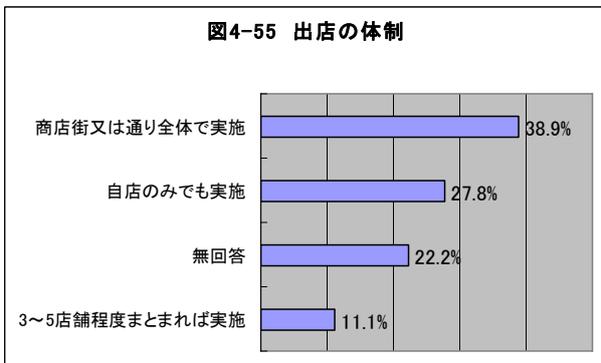


3)上記で許可・使用料に関わらず出店する際の意向 (図 4-55)

商店街又は通り全体で実施 38.9%、自店のみでも実施 27.8%、無回答 22.2%、3~5 店舗程度まともれば実施 11.1%という結果である。

4)上記回答者の実施頻度意向 (図 4-56)

毎日実施 33.3%、毎週実施 27.8%がと多くなっている。三ヶ月に1回、半年に1回という回答が少数あるが、月に1回という回答はなかった。

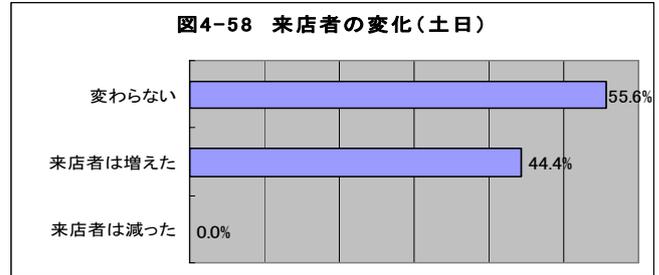
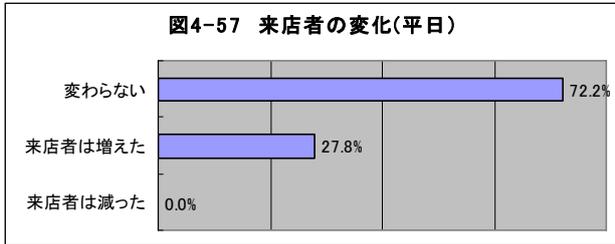


5)実施中の来店者（平日）の変化（図 4-57）

変わらない 72.2%、来店者は増えた 27.8%であった。

6)実施中の来店者（土日）の変化（図 4-58）

変わらない 55.6%、来店者は増えた 44.4%であり、平日に比べると増える傾向にあるという回答であった。

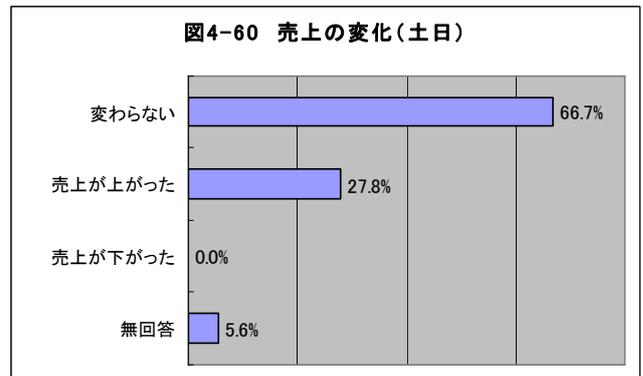
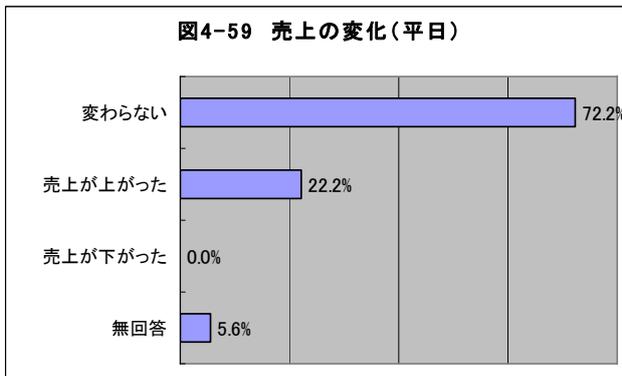


7)実施中（平日）の売上の変化（図 4-59）

変わらない 72.2%、売上が上がった 22.2%であった。

8)実施中（土日）の売上の変化（図 4-60）

変わらない 66.7%、売上が上がった 27.8%であった。



No	実施して良かった点
1	ワゴンセールに限らず何かをして街なか人が増える努力が目的、何もしなければ必ず売上は下がる。
2	お買い得品をワゴンに入れたが、ある程度売れ、認知された。
3	気分転換になった。
4	特に成果が見えなかったので良かったことはない。
5	ホコ天でLIVEなどがあり活気があった。
6	通行者がお店に入る必要がなく、商品に触れることができるので、気軽さをアピールできた。
7	入店数が上がった。
8	常時「ワゴンセール」を行っている。今回ワゴンセールが通り全体に広がりを見た第一歩だったことが、何より一番良かった点。
9	店舗ができた事を認知してもらえた。
10	店名、所在等を判っていたいただき、また来店希望の声あり、次回に繋がる糸口になった。
11	店頭でワゴンを出せてとてもよかった。
12	店の取扱い商品の拡大化をアピールすることができた。
13	通行するお客様がお店の前で足を止めてくれるきっかけになった。
14	開店して間もない店だったので、多くの人にアピールできた。
15	通りがかりの人が興味を持ってきて、購入してくれた。普段は来店頂いた方にこちらからお勧めして購入して頂いているので、それ以外で売上ができた。

No	悪かった点・問題点
1	悪いのはこちら側にあり、限りなく問題点はある。
2	ワゴンセール特有のにぎやかさが演出できていなかったのでは。
3	人通り、来店者数にまったく変化がなかった。
4	あまり来客数も変わりがないようで、宣伝、告知がもう少しだったかもしれない。
5	もう少し、商店の連帯でイベントを企画してほしい。直前まで内容すら知らなかった。
6	ワゴンに商品を並べるだけでなく、店主も店頭で立ち、声を張りあげることも必要。お祭りムードを盛り上げて元気な通りにならなければ人は集まらない。
7	もっと多くの店で実行してほしい。
8	ワゴンを出している所の間隔が広く、歯抜け状態でインパクトに欠けた。
9	パセオ通りの商店街としての意気込みが感じられず、期待して訪れたお客様には、多少失望感があった。お店としての取組みがバラバラ。
10	ワゴン自体の性能が良くなかった。
11	店内での仕事が優先なので、外にいるお客様への対応が状況によってむずかしい。

No	自由意見・要望
1	土曜日の車の進入禁止は不満。駐車禁止取締りよりは、パーキングメーターを設置して、車で来やすくするか、100円バスのコースにする等はどうか。
2	「歩いて暮らせるまちづくり社会実験」により久しぶりに人通りの多い商店街となった日もあった。人通りが多ければ、自ずと来店客も多くなる。実験の段階から継続した実行の段階へ移してほしい。
3	一度きりではなく、継続してほしい。
4	使用料がかからなければ毎日でもやりたい。
5	街に人が来ないと嘆く前に個々の商店が魅力づくりに取り組む必要あり。商店街として人間関係により街中に人を呼ぶ戦略が急務と思われる。
6	できれば、継続して続けられれば良いと思う。商店街活性化のせつかくの良いきっかけなので。
7	せつかくのワゴンセールという企画でやっていたのに他の店は地味すぎてやっているのかさえ分からない。活性化させるのだったら、もっと派手にやらないと意味がないと思う。

### ③調査結果にもとづく考察

出店者アンケート調査結果では、「ワゴンセールの実施がまちなかの賑わいにつながる」との回答が66.7%と過半数を占めた。来店者は土日で44.4%、平日で27.8%、売上は土日で27.8%、平日で22.2%が増加したとの結果となった。

また、継続の際には、許可手続きや使用料がないことを条件にするとの回答が過半数を占めたことから、出店許可や使用料が出店の際のネックになっていることがうかがえる。

特に、収益を伴うワゴンセールは、出店団体（個人）ごとに道路使用許可申請（2,200円/月・件）が必要であり、手続きの簡略化方法についての検討が必要である。



ワゴンセールの状況

(7) 農産物フェア

①実験の概要

集客・来街者の増加を目的として、まちなか広場  
・パセオ通りにおいて農産物（農産加工品）の販売を実施した。

＜実験中参加者数＞ 330人（平均110人/日）



農産物フェアの状況

②アンケート調査結果（サンプル N=78）

11月3日に実施した賑わいアンケート258名分の中の農産物フェア利用者78名のアンケート調査結果である。

1)性別

男性33.3%、女性66.7%であった。

2)年齢

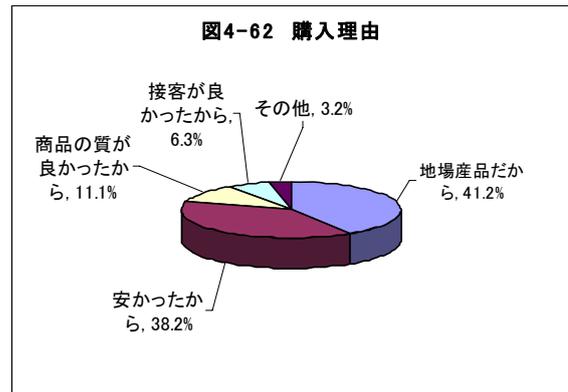
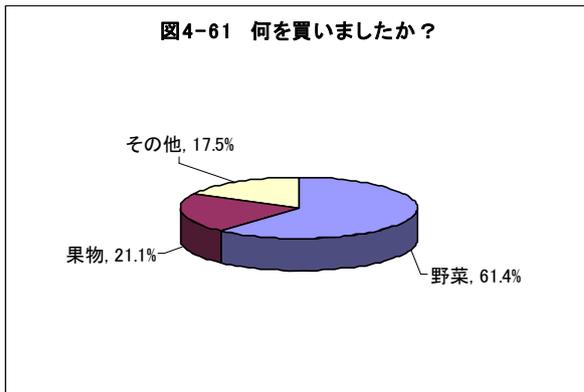
50代・60代21.8%、30代・40代16.7%、70代14.1%、10代・20代3.8%であった。

3)何を買いましたか？（図4-61）

野菜61.4%、果物21.1%、その他17.5%となった。

4)なぜそれを買いましたか？（図4-62）

地場産品だから41.2%、安かったから38.2%が多かった。

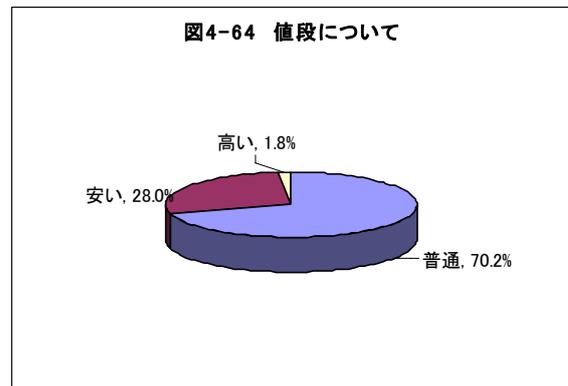
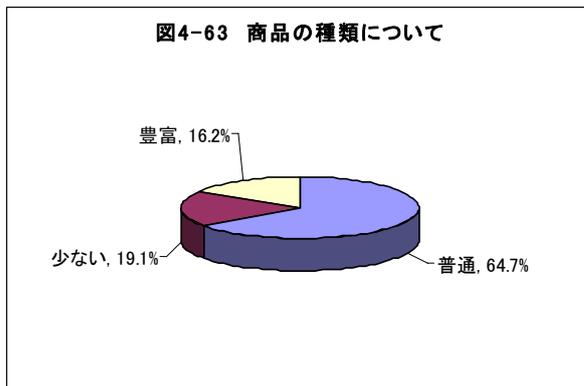


5)商品の種類について（図4-63）

普通64.7%、少ない19.1%、豊富16.2%となった。

6)値段について（図4-64）

普通70.2%、安い28.0%、高い1.8%となった。

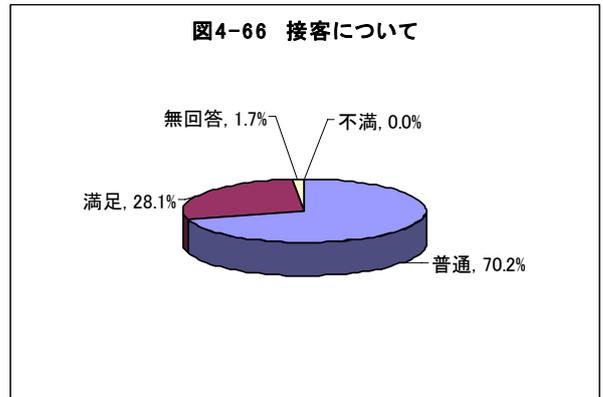
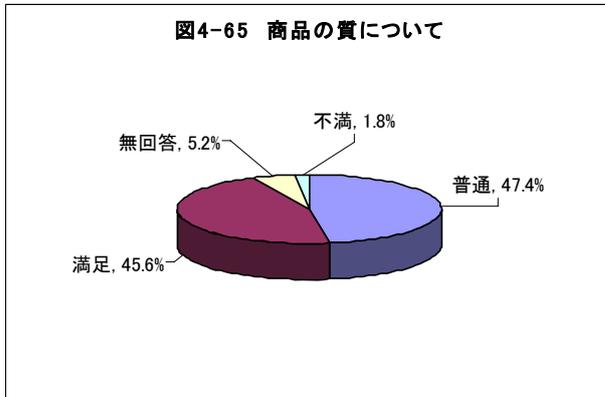


7)商品の質について (図 4-65)

普通 47.4%、満足 45.6%、不満 1.8%となった。

8)接客について (図 4-66)

普通 70.2%、満足 28.1%となった。

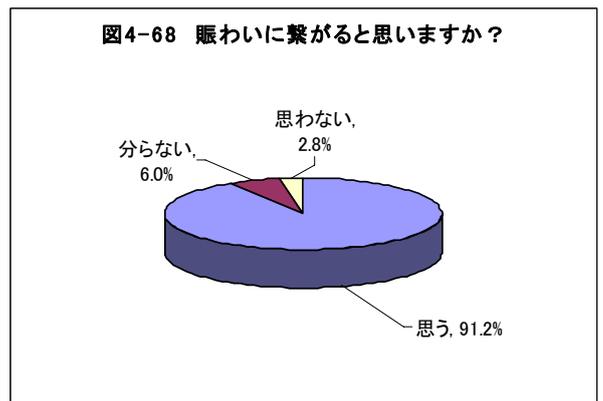
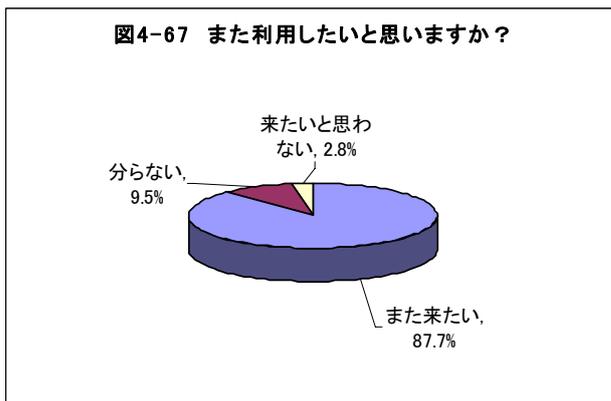


9)また来たいと思いますか? (図 4-67)

また来たい 87.7%、が多数を占めた。

10)まちなかの賑わいに繋がると思いますか? (図 4-68)

思う 91.2%と圧倒的に多かった。



農産物の販売自体については、今後の利用意向も高く、賑わいへの繋がりも肯定的である。一方、商品の種類、値段、接客については、普通との回答が多数を占めた。商品の質は満足と普通が半々である。

③調査結果にもとづく考察

参加者アンケート調査結果では、農産物フェアは、「また来たい」が 87.7%、「賑わいに繋がると思う」が 91.2%と好評だった。一方、商品の種類、値段、接客等については普通との意見が多い。農産物フェアの開催自体は今後も継続しておこなうことが期待されるが、提供商品や接客方法を今後工夫していくことが必要である。

(8) まちなかコンサート

①実験の概要

回遊性向上を目的として、各通りの空きスペースや施設を利用し、ストリートミュージックを行った。

<実験中参加者数>

・1,780人(平均593人/日)



まちなかコンサート(10月20日)

まちなかコンサートの日別参加者数

10月20日(土)	10月27日(土)	11月3日(土)	11月4日(日)
470人	中止	710人	600人

②アンケート調査結果(サンプル数N=158)

11月3日に実施した賑わいアンケート258名分の中のまちなかコンサート参加者158名のアンケート調査の結果である。

1)性別

男性43.0%、女性57.0%であった。

2)年齢

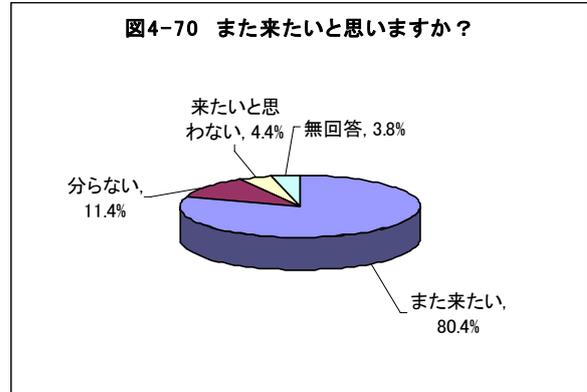
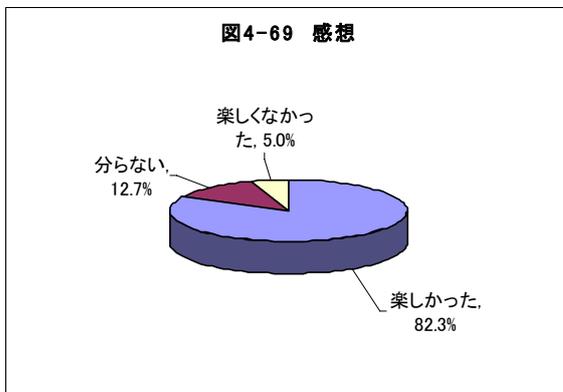
30代25.3%、60代18.4%、40・50台17.7%、20・70代8.9%、10代3.2%であった。

3)感想をお聞かせ下さい(図4-69)

楽しかった82.3%、分らない12.7%、楽しくなかった5.1%であった。

4)また来たいと思いますか?(図4-70)

また来たい80.4%、分らない11.4%、来たいと思わない4.4%となった。

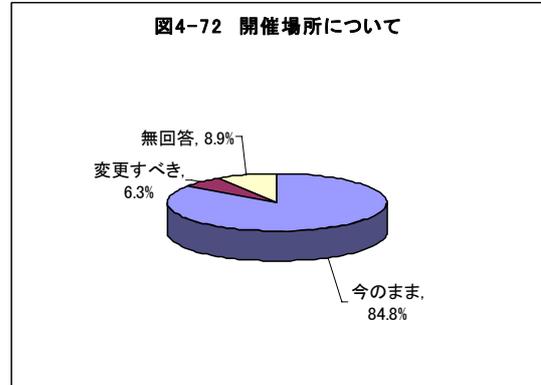
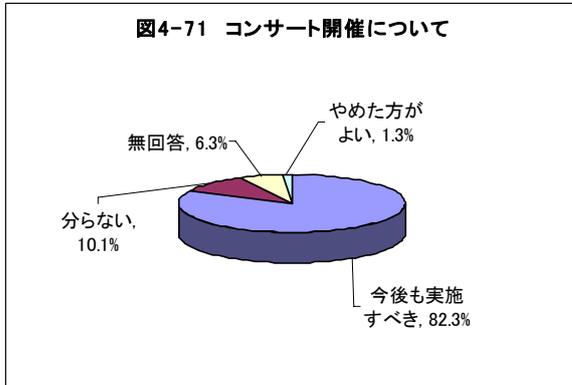


5)コンサートの開催について (図 4-71)

今後も実施すべき 82.3%、分らない 10.1%、やめた方がよい 1.3%となった。

6)開催場所はどこですか？(図 4-72)

今のまま 84.8%、変更すべき 6.3%となった。変更すべきとの回答には、「雨天時できるところ」「駅前通り」「西口」等の意見があった。

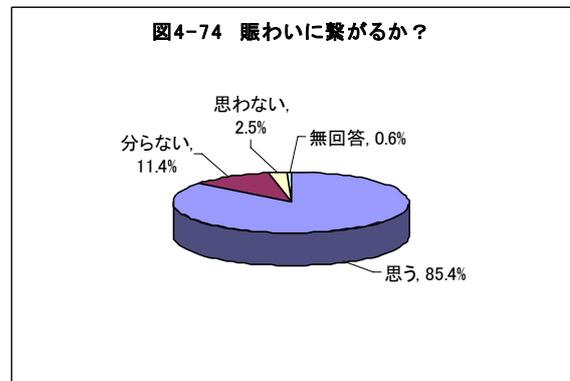
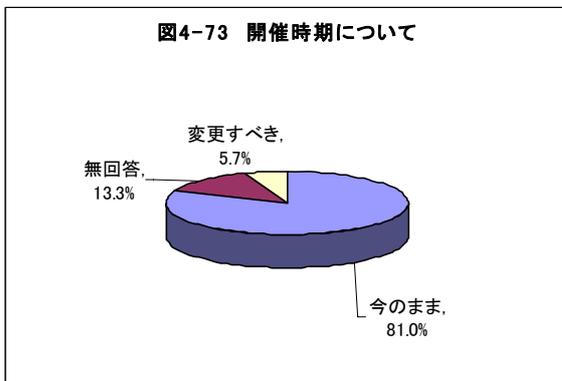


7)開催時期はどこですか？ (図 4-73)

今のまま 81.0%、変更すべき 5.7%であった。変更すべきとの回答には、「毎週・末」「春先」「年3. 4回」等の意見があった。

8)まちなかの賑わいに繋がると感じますか？ (図 4-74)

思う 85.4%、分らない 11.4%、思わない 2.5%であった。



楽しかったとの感想、今後のリピート意向とともに、80%を超えて高くなっている。賑わいへのつながりについても肯定的である。

③調査結果にもとづく考察

参加者アンケート調査結果では、「今後も実施すべき」が 82.3%、「賑わいに繋がると思う」も 85.4%と非常に好評な結果となっている。賑わい実験の中では、1日当りの参加者数がまちなかイベント広場について高い結果を示している。

(9) 親子まちなか探検隊

①実験の概要

集客・来街者の増加を目的として、街なかを探検してもらい、どのようなものや通り、店があるか知ってもらった。

親子まちなか探検隊の日別参加者数

10月20日(土)	10月21日(日)	11月3日(土)	11月4日(日)
114人	72人	70人	74人

②アンケート調査結果(サンプル N=92)

まちなか総合案内所で受付をした参加者にアンケート調査を実施した結果である。

1)性別

保護者の性別は、男性 22.8%、女性 77.2%で、子供の性別は、男性 51.1%、女性 58.7%であった。

2)年齢

保護者の年齢は 30代 46.7%、40代 39.1%、50代 9.8%、20代 4.3%の順であった。

子供の年齢は、小学生 76.1%、幼稚園児 29.3%、5歳未満 15.2%、中学生 3.3%の順であった。

3)お住まい

市内郊外 48.9%、市内中心市街地 41.3%、その他 9.8%であった。

4)来街手段

自動車 54.3%、徒歩・自転車が 17.4%と並んでいる。その他、電車 6.5%、バス 4.3%の順であった。

5)このイベントを何で知りましたか？

ポスター・チラシ 34.8%、行政の広報誌 31.5%、新聞 23.9%、社会実験に参加して 10.9%の順であった。

6)来街目的

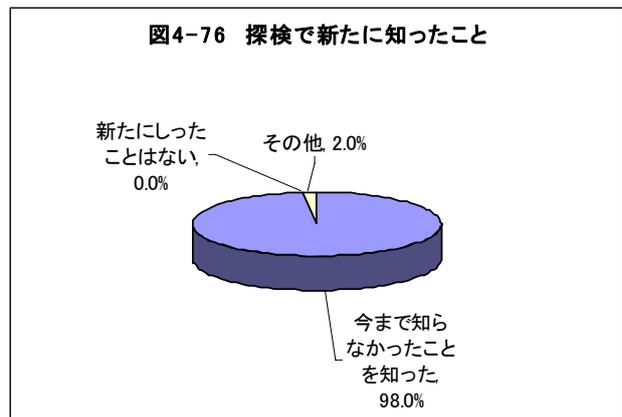
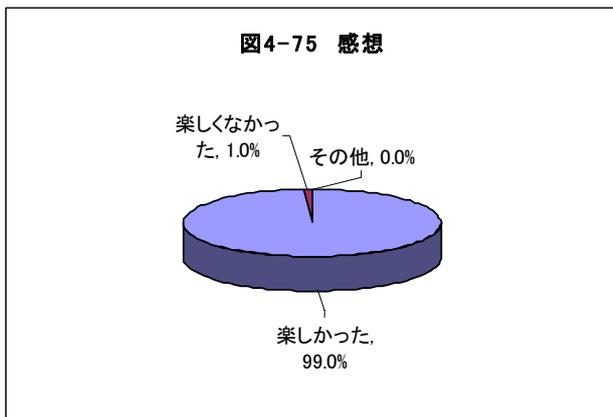
社会実験イベント参加 56.5%、まちなか散策 34.8%、買い物 20.7%、遊び 12.0%の順であった。

7)参加されての感想 (図 4-75)

楽しかった 99.0%、楽しくなかった 1.0%であった。

8)今回の探検参加で新たに知ったことはありましたか？ (図 4-76)

今まで知らなかったことを知った 98.0%、その他 2.0%、新たに知ったことはない 0%であった。



No.	自由意見・要望など(どんなイベントがあったらよいか)	年齢・性別
		保護者
1	街のお店ラリー	30代・女性
2	福島街なか再発見でした	40代・女性
3	子供向けのコンサート(一緒に歌ったり踊ったり) 他1件	30代・女性
4	今回のイベントでは自分たちが勝手に行って見つけてくるという形でしたが、地理感がないと場所を探すのが大変でした。ただ答えを書くだけでなく係の方がその場において説明とかがあればわかりやすかったと思います。人とふれあえるイベントがあると楽しいです。	40代・男性
5	試食コーナーがたくさんあるイベント	30代・女性
6	果物などをあつかったイベント	30代・女性
7	食べ歩きも良いかな。	50代・男性
8	福島をはじめ、郷土のいろいろな食べ物フェアなど	30代・女性
9	子供が楽しめるようなイベント 他3件	30代・男性
10	子供がいっぱい遊べるイベント(ヨーヨー、スーパーボールすくい、輪投げ等)	40代・女性
11	子供が体を使って遊べるイベントがあると良いと思います。	30代・女性
12	露店があるととても良い	30代・女性
13	今回のように母親一人でも子供たちを遊ばせられるイベントがあるとありがたいです。毎週こむこむに行くのも疲れるので・・・	30代・女性
14	今回子供が参加のイベントなので答えがもう少し簡単だと良かったです(ひらがなで書けるのが良い)	40代・男性
15	福島の昔や文化を知るイベント	40代・女性
16	新たな福島市の発見が出来るようなイベント	40代・女性
17	乗り物をたくさん展示するイベント	30代・女性
18	クイズ大会	40代・女性
19	歴史の探検があるといい 他3件	30代・女性
20	体を使うイベント、動物とふれあうイベント、エコに関するイベント	30代・女性
21	普段車ばかりで疲れましたが、このようなクイズラリーやスタンプラリーは子供が喜んでやるので、また企画してください。	40代・女性
22	小さい子供を連れていくと荷物が多くなりますので、おむつが捨てられないと余計負担になります。処理費用の問題かと思いますが、おむつが捨てられるというだけでも郊外の大店への流出が歯止めになるのではないかと思います。街なかは平たんでベビーカーでも来やすいのでベビールームの拡充をお願いします。	30代・女性
23	今回の問題は子供には難しすぎました。親が記入することになったので、子供が自分で記入した方がもっと良かったかも・・・このようなイベントをまたやって欲しいと思います。毎週いろんなイベントがあって良いです。子供もバスに乗ったり、ぐるっとバスで街なかを回れて楽しかった様です。小さい子供が居ると車が楽なのですが、駐車場代がかかってしまいます。土日だけでも、西口に無料駐車場があってそこに車を止めて、無料のバスがでれば街なかに来やすくなると思います。	30代・女性
24	無料バスをもっと広範囲にして欲しい。知らなかったことをもっと探検して知るイベント	30代・男性
25	歩行者天国にして安全に歩けるイベント	30代・女性
26	今回のような体験できるイベントはとても楽しいです。	30代・女性
27	子供も大人も楽しめるイベント。前に移動温泉が来たとき楽しかったです。	20代・女性
28	今回、いつもは素通りしている道でいろいろなもの名前を知りました。クイズではなくスタンプを押すだけのものの方が子供も楽しいのではないかと思います。	20代・女性
29	お金がかからない子供が喜ぶ遊び 他1件	30代・女性
30	親子、祖父母でも出来るイベント。とても運動的で良いです。楽しみにしています。	50代・女性
31	今回ので十分楽しめました。 他2件	30代・女性
32	親子で楽しめるイベント 他2件	40代・男性

### ③調査結果にもとづく考察

本メニューは、まちなかを親子と一緒に巡って楽しむ取り組みとして多くの参加があった。また、まちなかの地域資源を来街者に紹介する仕組みとして非常に評判が良く、「楽しかった」が99.0%、「今まで知らないところを知った」が98.0%と親子で参加できるイベントとして非常に高い評価結果となった。

今後、各機関で持っている情報の発信方法として、また子育て家族をまちなかへ呼び込むイベントとして、実施に向けた検討が必要である。



親子まちなか探検隊受付状況



問題用紙と景品（ももりんストラップ）

## (10) 街なかサポーター

### ①実験の概要

賑わいの創出、集客・来街者の増加、利便性向上を目的として、街なかサポーターを配置巡回させ高齢者・障がい者の介助の実施、街なかの街路等をパトロールし清掃活動をした。

#### <実験実施日>

・10/20(土)、21(日)、11/3(土)、4(日)

#### <利用者・参加者>

・利用者10人(土日平均2.5人/日) 参加者 学生ボランティア32人(土日平均8人/日)、



街なかサポーター(10月20日)

### ②アンケート調査結果(サンプルN=180 重複回答あり)

★11月3、4日に実施した来街者アンケートの調査結果である。

#### 1)性別

男性37.8%、女性62.2%であった。

#### 2)年齢

30代18.3%、10代17.8%、40代17.2%、20・60・70代11.7%、50代10.0%、80代1.7%であった。

#### 3)お住まい

市内郊外40.6%、その他30.6%、市内中心市街地28.9%であった。

#### 4)来街手段

自動車47.2%、電車22.2%、自転車11.7%、徒歩9.4%、バス8.3%であった。

#### 5)来街目的

社会実験イベント参加33.3%、買い物30.0%、まちなか散策12.8%、食事9.4%、遊び8.3%が主な目的であった。

#### 6)サポーターがいることを知っていましたか?(図4-77)

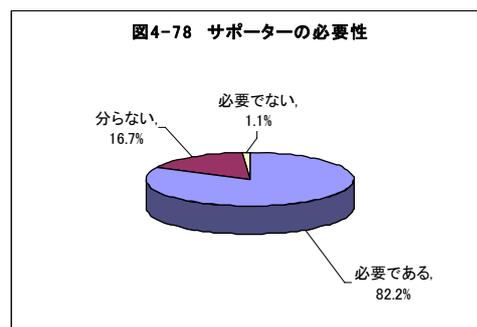
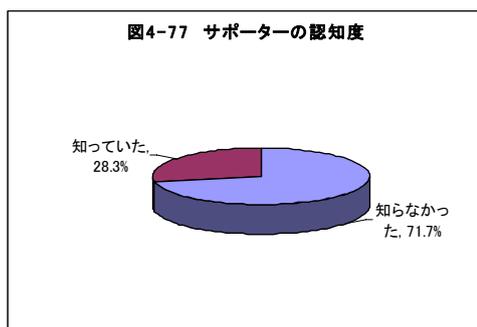
知らなかった71.7%、知っていた28.3%であった。認知度は低かった。

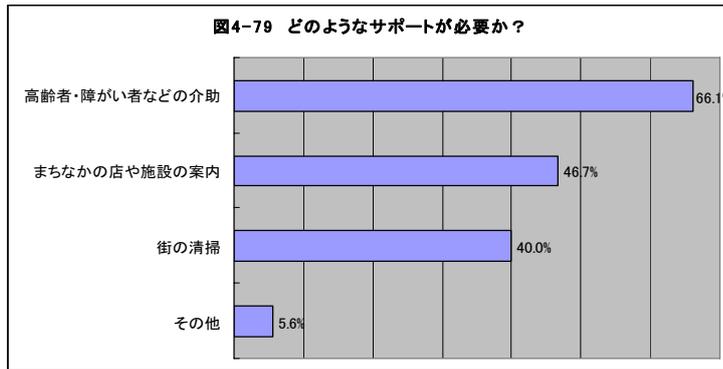
#### 7)サポーターは必要だと思いますか?(図4-78)

必要である82.2%、分らない16.7%、必要でない1.1%であった。

#### 8)どのようなサポートがあれば良いと思いますか?(図4-79)

高齢者・障がい者などの介助66.1%、まちなかの店や施設の案内46.7%、街の清掃40.0%その他5.6%であった。その他の回答では、「傘、カッパの貸出」「自転車などの整理」「笑顔で街を元気にする」との意見があった。





まちなかサポーターの認知度は低かったが、その必要性が高いとの意見が多かった。

★サポート利用者アンケート (サンプル N=10)

サポーターによる介助、まち歩き補助の利用者に対するアンケート調査結果である。

1)性別

男性 30.0%、女性 70.0%であった。

2)年齢

60・80代 30.0%、10代 20.0%、40.50代 10.0%であった。

3)お住まい

市内郊外 70.0%、市内中心市街地 20.0%、その他 10.0%であった。

4)来街手段

自動車 45.5%、バス・タクシー18.2%、電車・徒歩 9.1%であった。

5)来街目的

買い物 41.7%、社会実験イベント参加 16.7%、食事・観光・まちなか散歩 8.3%であった。

6)サポーターを利用した理由 (図 4-80)

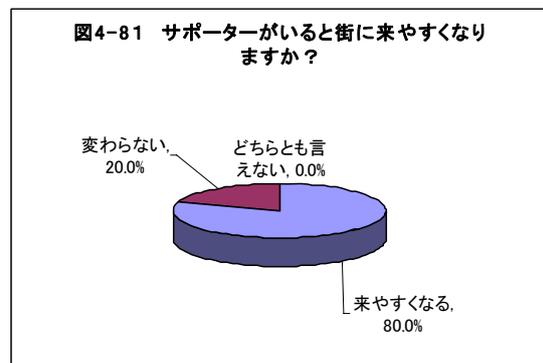
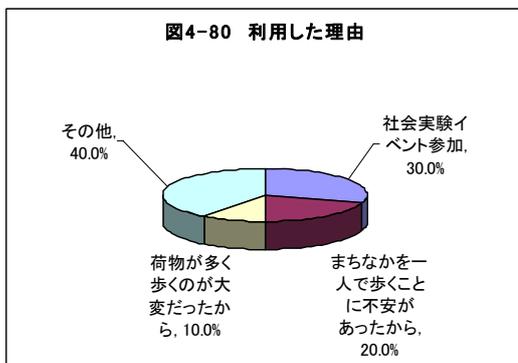
社会実験イベント参加 30.0%、まちなかを一人で歩くことに不安があったから 20.0%  
荷物が多く歩くのが大変だったから 10.0%、その他 40.0%であった。

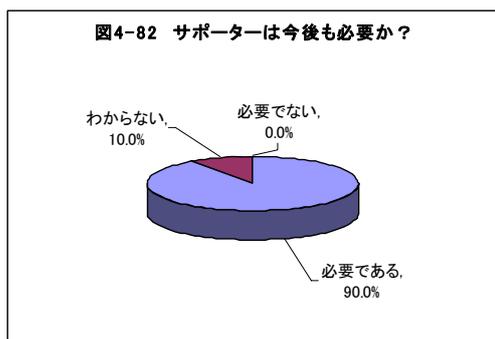
7)サポーターがいることでまちなかに来やすくなりますか？(図 4-81)

来やすくなる 80.0%、変わらない 20.0%であった。

8)サポーターは今後も必要だと思いますか？(図 4-82)

必要である 90.0%、分らない 10.0%であった。





自由意見	年齢・性別
循環バスのスロープはいらない	60代・男性
周りにあるものや状態をもっと詳しく説明してくれると歩きやすい	10代・女性
車いすの上げ下げ	60代・男性
駐車場が足りない	60代・女性
駐車場不足	50代・女性
もっとイベントを増やしてもらいたい	40代・男性

サポーターがいることで街に来やすくなるとの意見が高かった。

★サポーター（ボランティア）アンケート

10月20・21日、11月3・4日にサポーターに参加した学生（ボランティア）に対してアンケート調査をした結果である。

1)性別

女性 100.0%

2)年齢

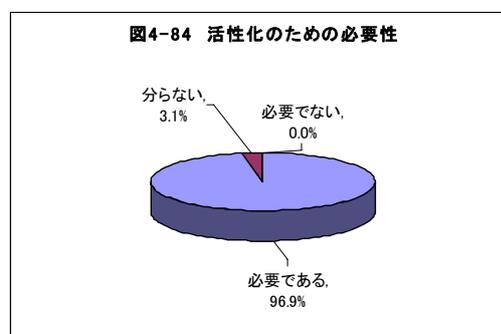
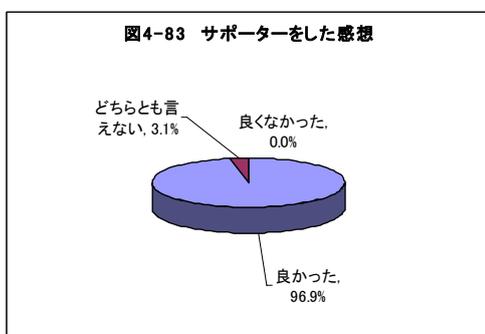
10代 93.8%、20代 6.2%であった。

3)サポーターをした感想（図4-83）

良かった 96.9%、どちらとも言えない 3.1%、良くなかった 0%であった。

4)活性化のためにサポーターは必要だと思いますか？（図4-84）

必要である 96.9%、分らない 3.1%、必要でない 0%であった。

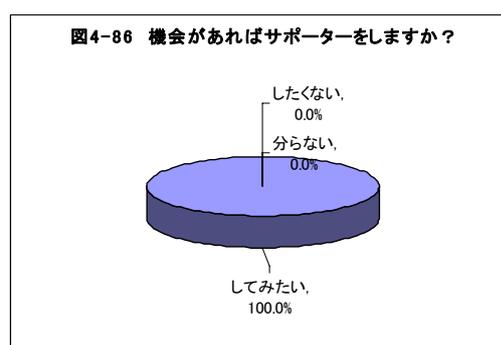
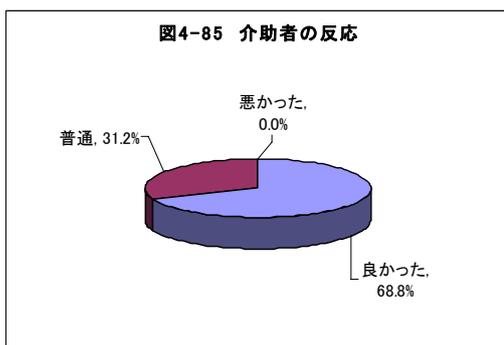


5)介助されている方の反応はいかがでしたか？（図4-85）

良かった 68.8%、普通 31.2%、悪かった 0%であった。

6)また機会があればサポーターをしてみたいと思いますか？（図4-86）

してみたい 100.0%、全員がしたいとの回答であった。



### ③調査結果にもとづく考察

本メニューは、街なかサポーターとして短大や専門学校の学生ボランティアが参加し、まちなかの案内や来街者のまち歩き補助、清掃活動等を実施した。

参加した学生も「またしてみたい」が100.0%、利用者では「まちなかへ来やすくなる」が80.0%、「今後も必要」が90.0%であり、若者や障がい者、高齢者が気軽にまちなかへ来やすくなるための取り組みとして、サポーター、利用者相互に満足度の高い結果となった。今後、運営方法や人員確保のための仕組みづくりと広報・PRの工夫による継続が望まれる。



サポーターによる清掃状況

## (11) トイレお貸しします

### ①実験の概要

情報提供による利便性の向上・集客増加を目的として、各商店街の店舗にトイレ貸します店舗を設置し広報した。

**<参加店舗> ・ 33 店**

### ②アンケート調査結果（サンプル N=20）

実験終了後に、アンケート調査を実施し、参加店舗 33 店のうち 20 店から回答があった。

#### 1) まちなかの賑わいに繋がると感じますか？（図 4-87）

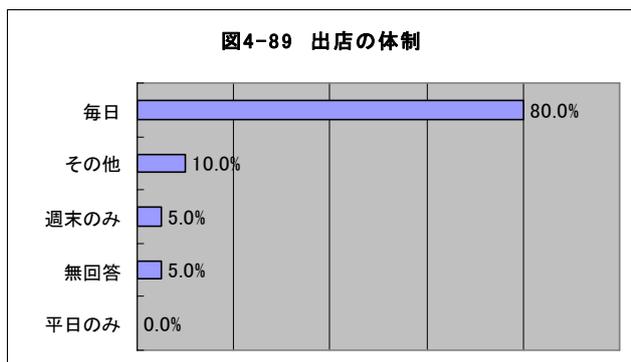
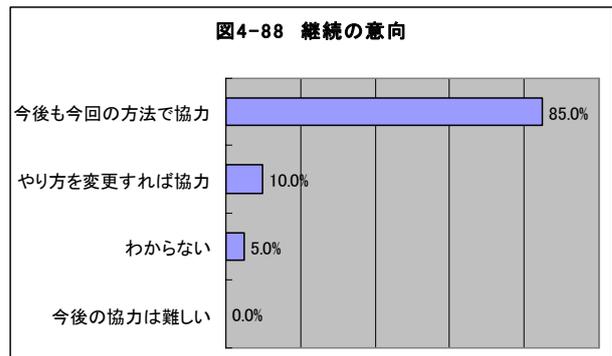
思う 50.0%、分らない 50.0%であった。

#### 2) 継続した場合協力できますか？（図 4-88）

今後も今回の方法で協力 85.0%、やり方を変更すれば協力 10.0%、分らない 5.0%、今後の協力は難しい 0%であった。「やり方を変更すれば協力」の回答は、“日祭日が休館日”“年中行事として実施しているというものであった。

#### 3) 開催するとすればいつが良いか？（図 4-89）

毎日 80.0%、その他 10.0%、週末のみ 5.0%、無回答 5.0%であった。



トイレお貸ししますが街なかの賑わいにつながるとの回答は約半分である。今後も、今回の方法で協力できるとの回答が大半である。

### ③調査結果にもとづく考察

協力店のアンケート調査結果では、「トイレお貸ししますが街なかの賑わいにつながる」との回答は約半分であるが、経費や管理上の問題が少ないため、高い継続意向が示されている。

まちなかに、高齢者や女性を呼ぶためには、「まちなかにたくさんのきれいなトイレ」があることは必須条件といえる。これからも、積極的にきれいなトイレを市民にPRし、継続して取り組むことが望まれる。



ステッカー設置状況

### 4-3. 交通実験に関するアンケート結果

#### (1) 交差点の一時停止化

##### ①実験の概要

来街歩行者の安全向上を目的として、パセオ通りと並木通りの交差点信号を両方向とも一時停止とした。

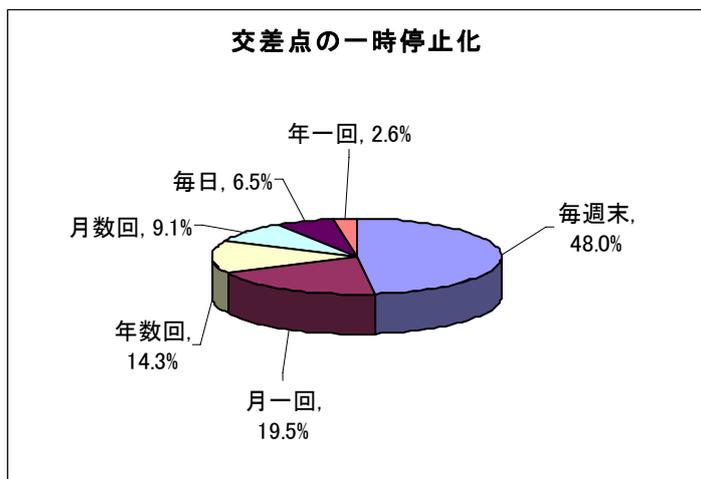


交差点の一時停止化

##### ②アンケート調査結果 (サンプル N=77)

11月3日に実施した賑わいアンケート 258名分の中で回答があった77名のアンケート調査の結果である。

交差点信号機の赤点減化による交差点の一時停止化は毎週末実施すべき、との意見が約半分の48.0%となった。



##### ③調査結果にもとづく考察

交差点の一時停止化は歩行者天国とセットで行うことが望ましい。歩行者天国はワゴンセールなどの賑わいイベントの実施が前提となるが、歩行者天国の実施とあわせ、交差点の一時停止化を毎週末実施することが可能か検討する必要がある。

(2) ももりんレンタサイクル

①実験の概要

回遊性の向上を目的として、ももりんレンタサイクルの場所を2箇所増設するとともに、返却場所を自由にするシステムを採用した。



レンタサイクル (11月3日)

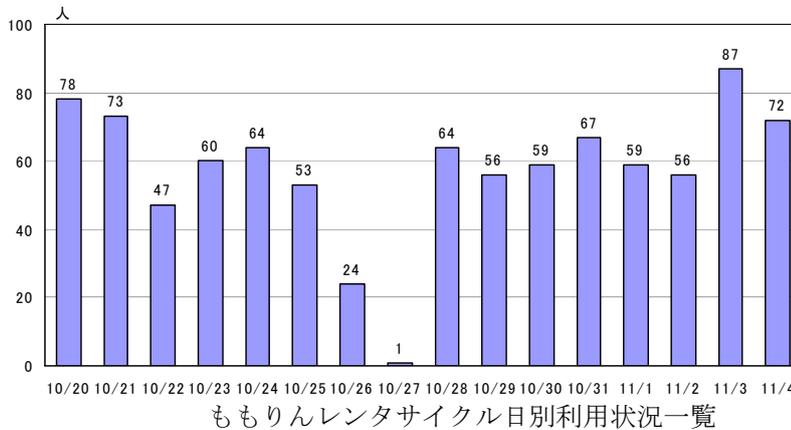
<実験中利用者数>

- ・922人 (土日平均63人/日、平日平均55人/日)

<増設場所>

- ・ツイン広場臨時貸出所 20台
- ・曾根田駅臨時貸出所 20台

<貸出場所と返却場所>



②ももりんレンタサイクルの利用状況

返却場所を自由にするシステムであったが多数が貸し出し場所と同じ場所への返却となった。(同一場所返却率 863台/922台=93.6%)

一方、別の場所に返却した例は少ないが、その中でも返却場所として多く選ばれたのは東口の貸出所であった。また、東口～西口間での移動もあり駅の東西間での動きも見られた。

■歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験(レンタサイクル貸出-返却台数調)

返却場所 貸出場所	東口	本町	平和地下	西口	曾根田	ツイン広場	計
東口	370	6	1	5	3	0	385
本町	9	208	0	0	0	2	219
地下	1	1	84	0	0	0	86
西口	6	1	0	163	0	2	172
曾根田	8	5	1	0	18	0	32
ツイン広場	3	3	0	2	0	20	28
貸出計	397	224	86	170	21	24	922
貸出-返却	+12	+5	0	-2	-11	-4	

### ③アンケート調査結果（サンプル数 N=198）

ももりんレンタサイクルの利用者は、20代と60代が多くなっている。借入場所、返却場所は福島駅西口が多い。今後、返却場所を自由にして欲しいとの意見が多い。

1) レンタサイクル利用（図 4-90）

利用したことがある 79.8%、初めて利用するが 20.2%であった。

2) 性別・年齢（図 4-91）

女性 53.3%、男性 46.7%であった。女性は 10 代、20 代、50 代、男性は 20 代の利用が多い。

3) 利用頻度（図 4-92）

利用経験者の利用頻度は月数回が 38.6%と多数を占める。

4) 使用目的（図 4-93）

買物が 43.7%、遊び 20.9%、仕事 13.3%、食事 8.2%などとなっている。

5) 借入場所と返却場所（図 4-94）

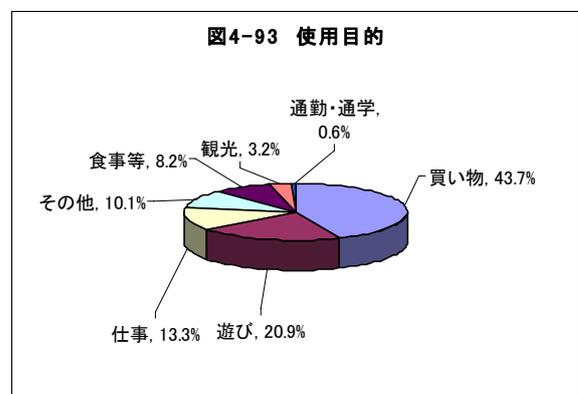
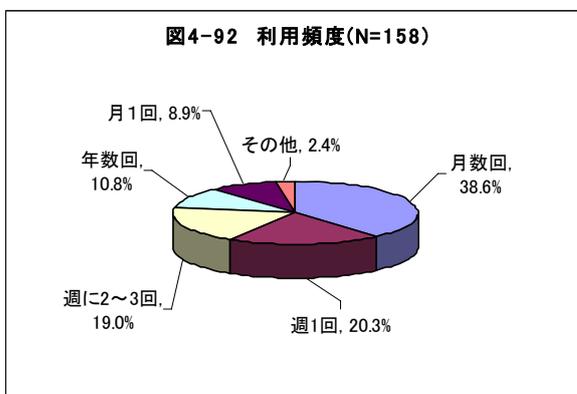
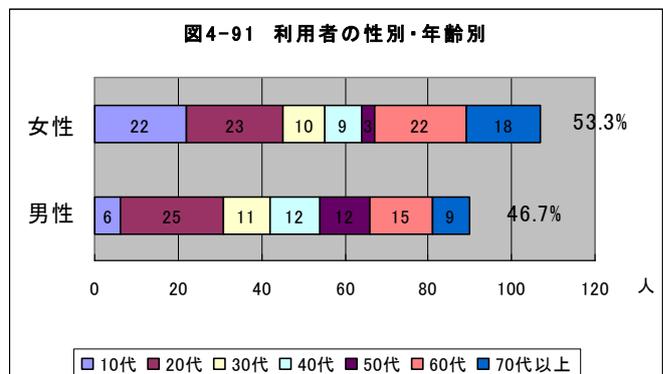
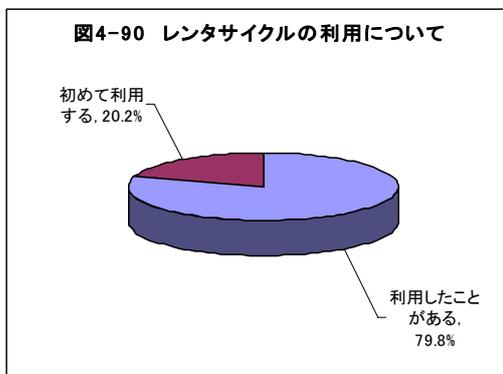
福島駅西口が借入れ 72 台、返却 74 台と最も多い。実験時に開設した曾根田駅前には借入れ 33 台、返却 29 台、ツイン広場が借入れ 8 台、返却 7 台であった。（アンケート調査結果からの台数であり、99 ページの表とは一致しない）

6) 返却システムの感想（図 4-95）

移動に便利が 74.9%と最多である。

7) 今後に必要なこと（図 4-96）

返却が自由なシステム 34.6%、自転車台数を増やす 27.5%、自転車が走りやすい道路整備 24.7%と分かれている。

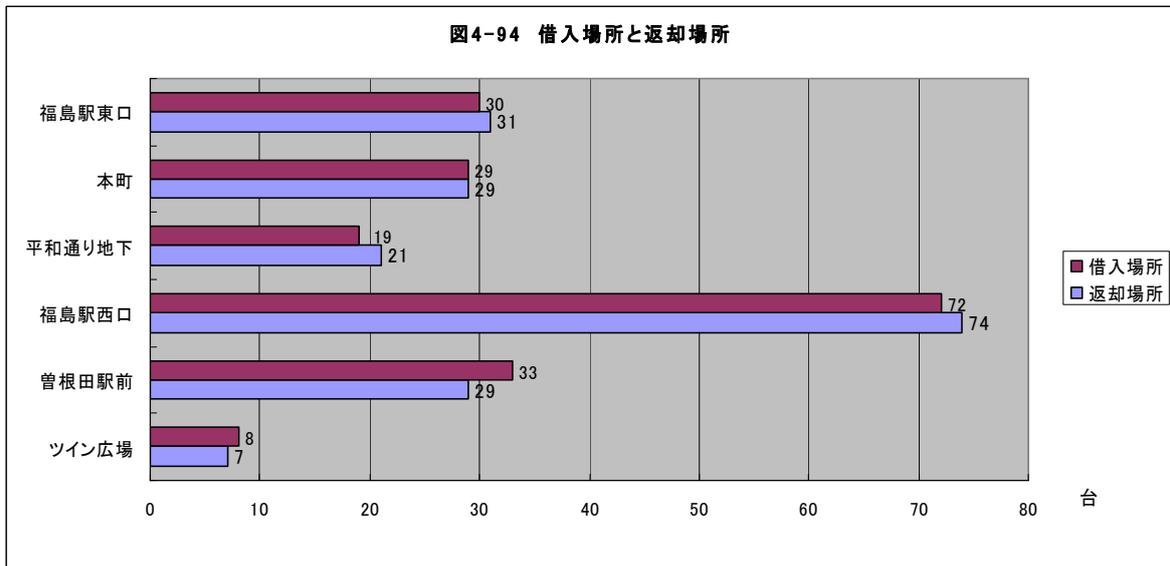




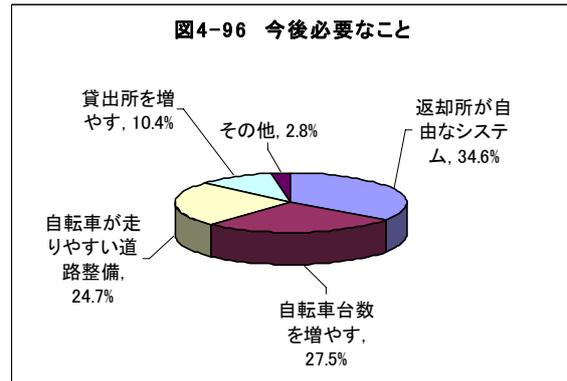
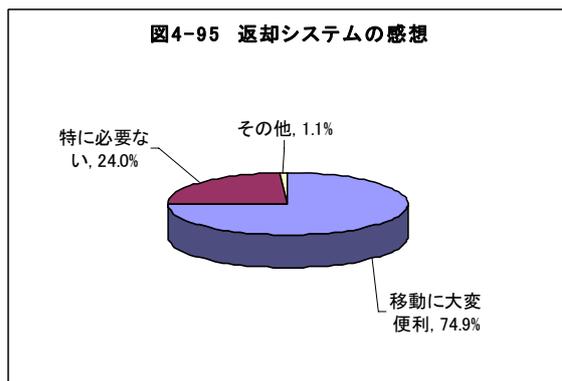
貸出所（ツイン広場）の状況



レンタサイクル利用状況



注) アンケート回収結果



#### ④調査結果にもとづく考察

利用者アンケート調査結果では、ももりんレンタサイクルは移動に大変便利との評価である。実験結果からは、返却が自由なシステムを活用した例は 6.4%と少なかったが、アンケートでの今後必要なこととして 34.6%があげられており、今後、返却場所を自由にするシステムが技術的に可能か検討する必要がある。また、非常にリピート率が高いが、今後、新規利用者層の拡大に向けての広報・PR等の工夫が必要と考えられる。

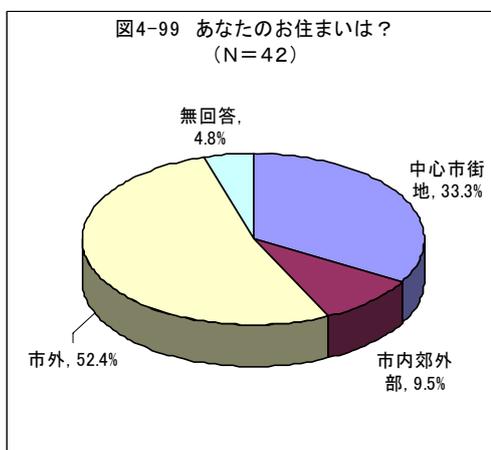
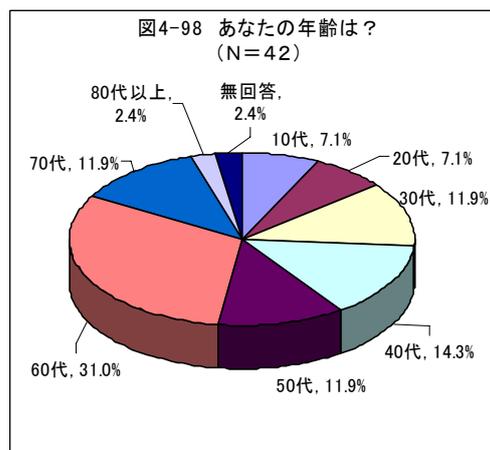
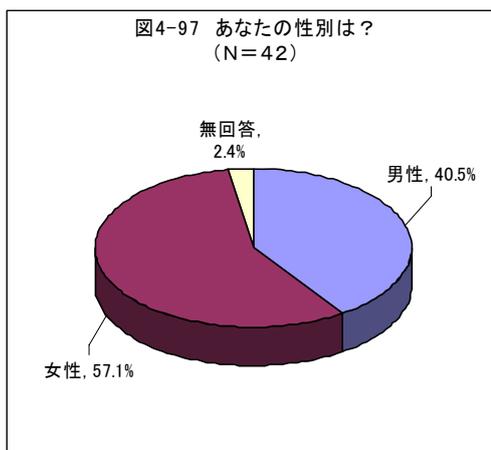
### (3) 市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券、電車と市内循環線の1日乗り放題共通乗車券

#### ①実験の概要

市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券の販売を行った。また、阿武隈急行と市内循環線、飯坂電車と市内循環線の1日乗り放題券の販売を行った。

#### ②アンケート調査結果

- 1) 性別 (図 4-97)  
女性 57.1%、男性 40.5%であった。
- 2) 年齢 (図 4-98)  
60代が 31.0%、40代が 14.3%、50代・30代がともに 11.9%であった。
- 3) 住まい (図 4-99)  
市外が 52.4%と過半数を占め、次いで中心市街地が 33.3%を占める。
- 4) マイカーの所有状況 (図 4-100)  
あるが 71.4%となっている。
- 5) 企画切符を知ったきっかけ (図 4-101)  
ポスター・チラシが 26.2%、行政広報紙が 16.7%、知人・友人が 14.3%、地域情報紙 11.9%となっている。
- 6) 利用した乗り放題乗車券 (図 4-102)  
ももりん乗継ぎ A 切符が 42.9%、ももりん 1 日フリー乗車券が 33.3%、ももりん乗継ぎ I 切符が 16.7%とである。
- 7) 利用目的 (図 4-103)  
買物が 35.9%、観光が 28.2%、文化・芸術鑑賞が 15.4%、まちなか散策が 12.8%などとなっている。
- 8) 利用した感想 (図 4-104)  
非常に便利だったが 46.2%、ふつうが 20.5%、列車と組み合わせた場合にお得が 17.9%、目的地は 1 つだったが他のエリアの回って見ようと思ったが 12.8%であった。
- 9) 利用しなかった理由 (図 4-105)  
循環バスエリアを利用しなかったが 1 人、その他が 1 人である。
- 10) 必要な情報提供 (図 4-106)  
企画きっぷ近郊の魅力的なスポット情報 45.2%、施設や飲食店等の割引特典 28.6%、他の交通機関との乗継ぎ情報 19.0%などとなっている。
- 11) ももりん 1 日フリー乗車券の支払希望額 (図 4-107)  
300 円～399 円が 26.2%と最多である。
- 12) ももりん乗継ぎ A 切符の支払希望額 (図 4-108)  
1000 円が 35.7%となっている。
- 13) ももりん乗継ぎ I 切符の支払希望額 (図 4-109)  
600 円～699 円、700 円～799 円がどちらも 11.9%と最多価格帯となっている。



- 具体的なお住まい
- <中心市街地>
    - ・野田町 4名
    - ・太田町 3名
    - ・上野寺、大森、宮下町 各1名
    - ・無記入 4名
  - <市内郊外部>
    - ・庭坂、八木田、森合町、松川町 各1名
  - <市外>
    - ・宮城県 9名
    - ・福島県市外 6名
    - ・山形県 2名
    - ・宮崎県 1名
    - ・無記入 4名

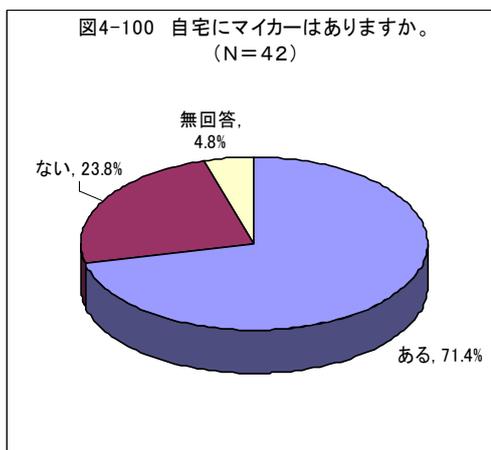
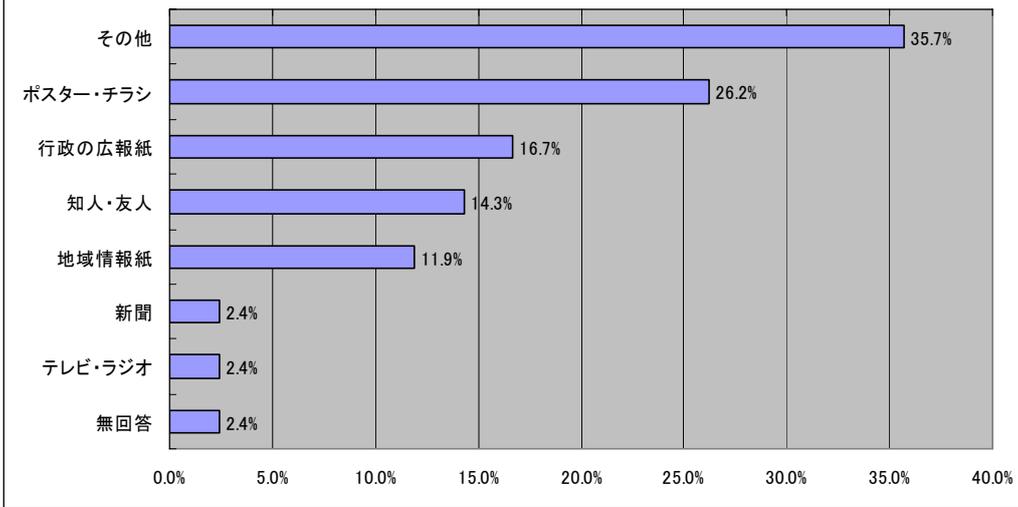


図4-101 今回購入した企画きっぷ(「ももりん」1日フリー乗車券等)は何で知りましたか。(複数回答可)(N=42)



- その他の内容
- ・駅 5名
  - ・観光案内所 2名
  - ・乗務員さん 1名
  - ・ネット、案内所 1名
  - ・停留所 1名
  - ・社内 1名
  - ・一切買っていません 1名
  - ・無記入 3名

図4-102 乗り放題乗車券のうち、利用したもの(または利用する予定のもの)をお選び下さい。(複数回答可)(N=42)

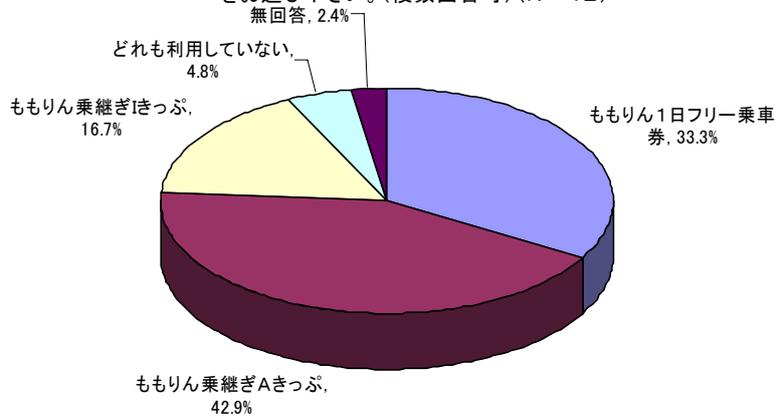
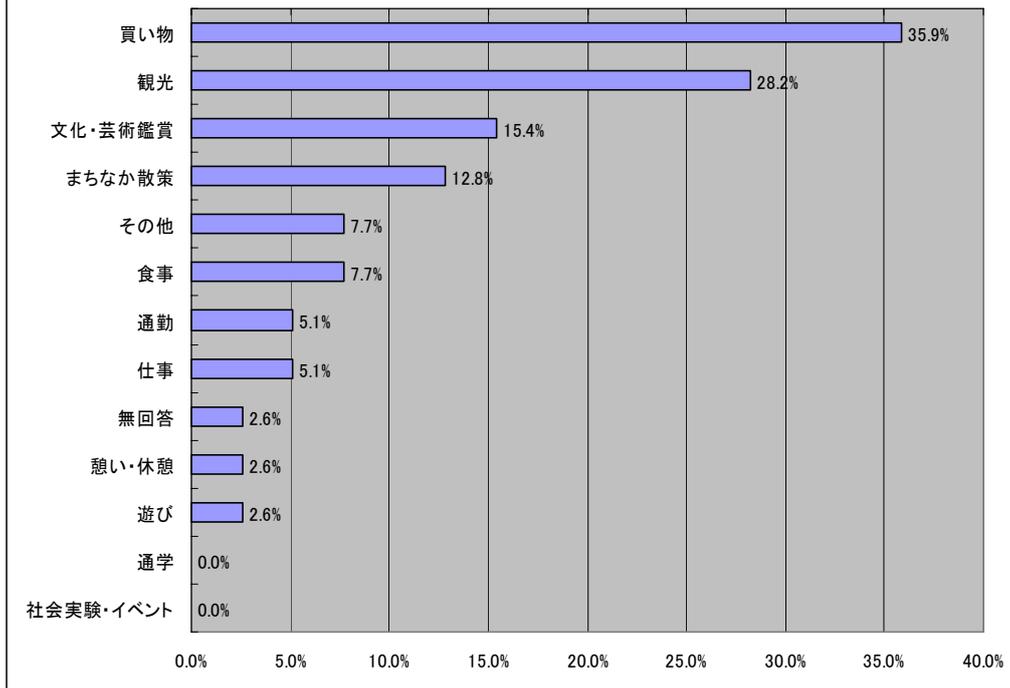
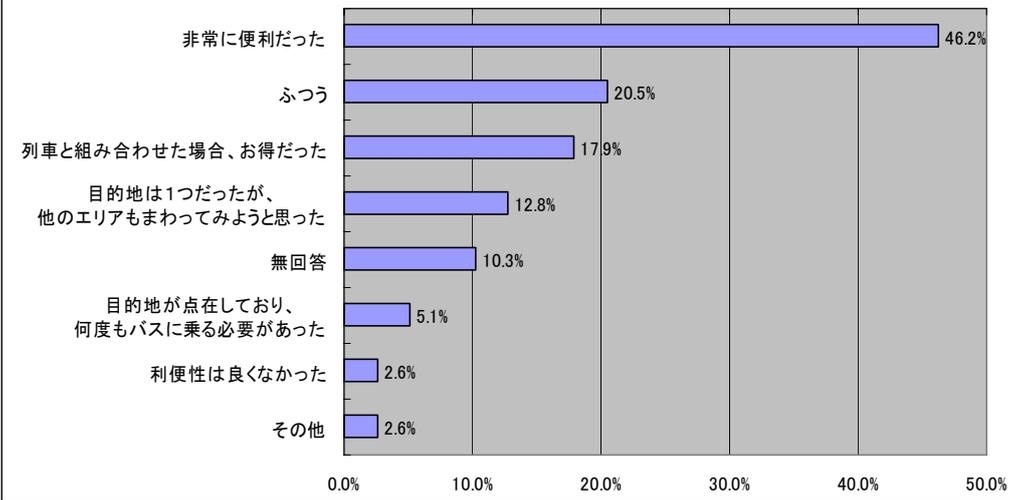


図4-103 乗り放題乗車券を利用した目的は、どんな用事でしたか？  
(複数回答可) (N=39)



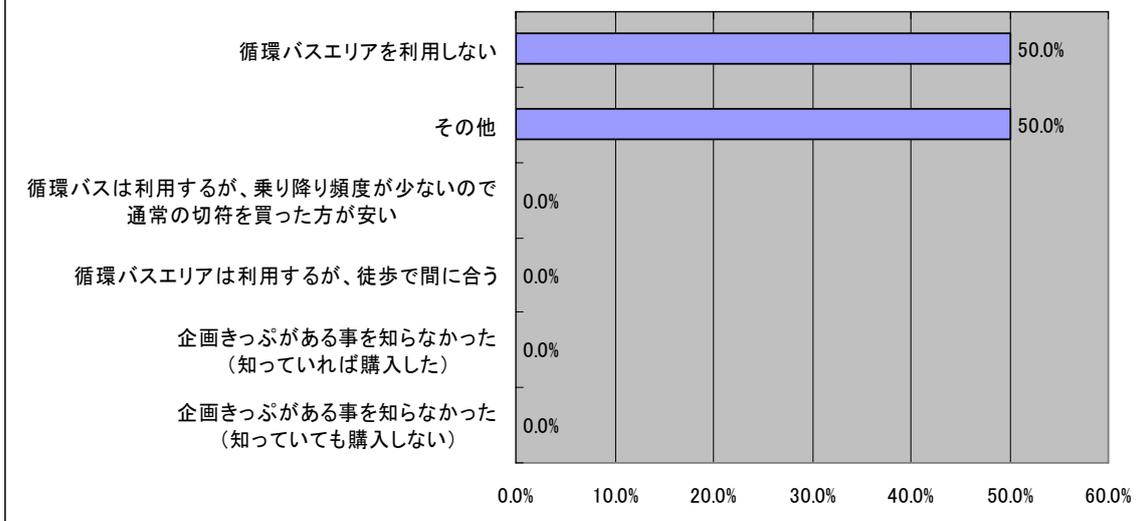
■その他の内容  
 ・習い事で郡山に  
 ・東口へ。東西地下道は高齢者には非常に長い。  
 今回の企画に大感激でした。  
 ・友人を尋ねた。

図4-104 乗り放題乗車券を利用された感想について  
(複数回答可) (N=39)



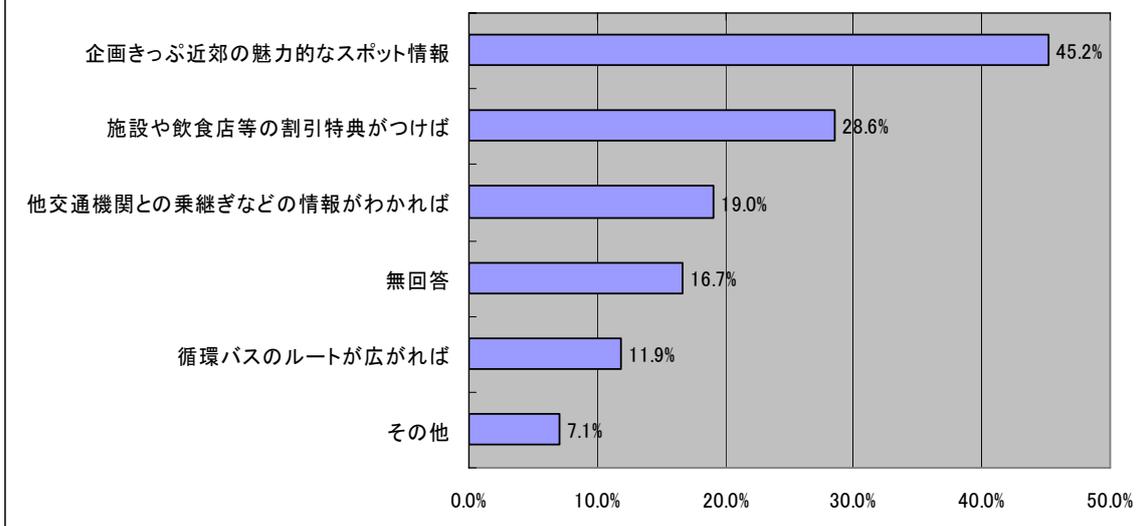
■その他の内容  
 ・運賃安い

図4-105 乗り放題乗車券を利用されなかった方にお聞きします。  
(複数回答可) (N=2)



■ その他の内容  
・利用しないわけありません！

図4-106 乗り放題乗車券にどのような情報提供があれば、  
利用しやすくなると思いますか。(複数回答可) (N=42)



■ 広げてほしい循環バスのルート  
・フルーツラインの近くなど  
・バイパスまで

■ その他の内容  
・季節ごとのお祭りや、寺社の行事など伝統的なものをたくさん知りたい。伝統工芸品なども。  
・バス停等にわかりやすく、乗り放題の目印がほしい。  
・なんでもよい！

図4-107 「ももりん」1日フリー乗車券：市内循環線  
(N=42)

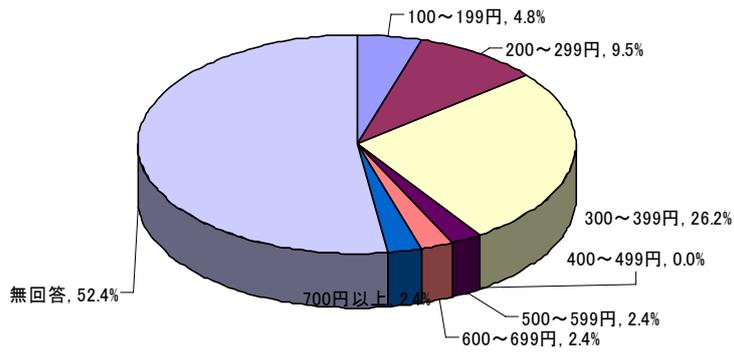


図4-108 ももりん乗継ぎAきっぷ：阿武急と市内循環線  
(N=42)

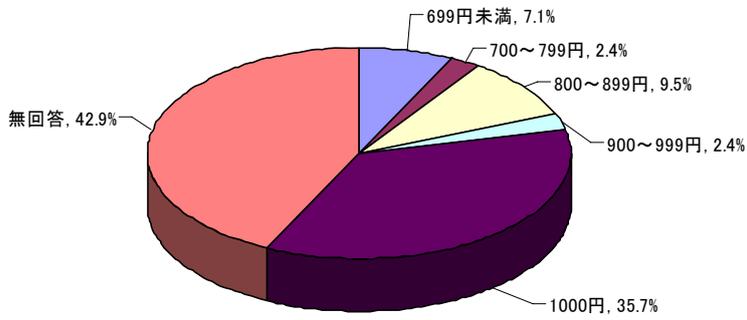
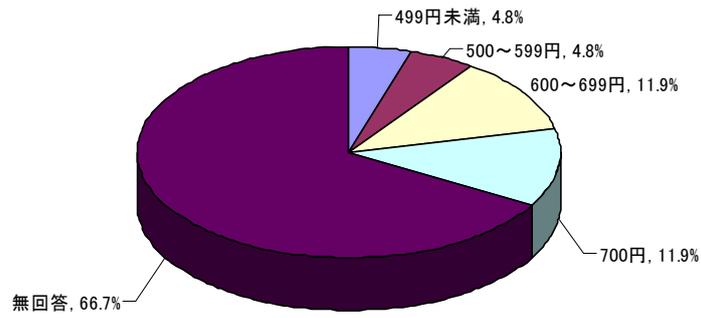


図4-109 ももりん乗継ぎIきっぷ：飯坂線と市内循環線  
(N=42)



No	公共交通に関する意見
1	この企画は是非続けてください。マイカーを持ってきていない単身赴任者にとっては、もっと回数多く(月1回くらい)あるといいなあと考えてます
2	大した雨では運休しないでほしい
3	今回の企画、大変良かったです。阿武急と市内循環線1,000円は手軽に利用できます。今回は美術館のみ回りましたが、次の機会は別の施設や公園をめぐるたいと思います。是非これからも続けて下さい。
4	期間を長くしてほしいです。
5	期間長く、回数も多くしてほしい。
6	阿武急は、夏はクーラーがききすぎて寒い。女性には厳しいです。冬に入る頃の暖房がきいてなくて寒い時があります。
7	飯坂線は、時々この企画をすると、活性化すると思います。
8	試験バスに大変喜んでます。今週のみと、もう少し期間延ばさないと、周知されないと思います。又、これから冬季、出勤、通学に利用する人が増えると思います。朝、出勤、通学のため、朝7:30頃から運転しないと意味ないように思われます。とにかくこの西側のバスが定着することを願ってやみません。
9	運営期間により冬とか夏の季節、足場の悪い時には、市内循環線があるとありがたいです。
10	路線(のりば)などがわかりづらい。
11	できれば続行してほしいです！
12	ピタゴラスITCHの大会、福島の本当にうまいもの市
13	体を使うイベント、動物とふれあうイベント、エコに関するイベント
	その他

### ③調査結果にもとづく考察

乗り放題乗車券は利用者から便利との評価が得られた。また、希望として、近郊の魅力的なスポット情報、施設や飲食店等の割引特典を望む声が多く、今後、どのような付加価値をつけていけるか検討が必要である。

また、今回の実験では、花の写真館、県立美術館、及び、協賛店の割引を行ったが、引き続き継続することが望まれる。



「ももりん」1日フリー乗車券



東口臨時観光案内所(販売所)

(4) 循環バス（西口循環線）

①実験の概要

集客補助を目的として、福島駅西口より中心市街地の人の流れを呼び込むため路線を拡充した。  
 運行本数は、18便／日である。

<実験中運行日>

・10/20（土）～11/18（日）の30日間

<実験中利用者数>

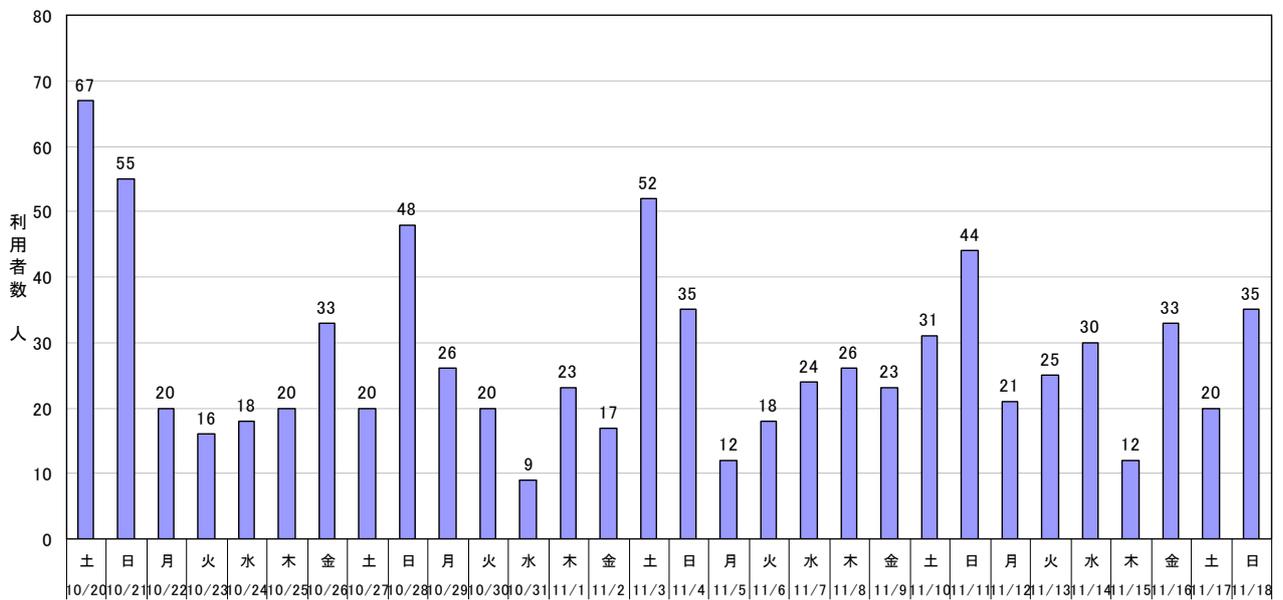
・833人（土日平均41人／日、平日平均20人／日）

<運賃・運行回数>

・100円、9時台～17時台、30分おきに運行



西口循環線の状況



循環バス（西口循環線）日別利用者数一覧

## ②アンケート調査結果（サンプル N=1,302：沿線町内会に配布）

西口循環線では 70 代の女性の利用が多い結果となった。利用目的は買い物がもっとも多かった。今後の利用意向は約 40%で 100 円の運賃を希望していた。

- 1) 性別（図 4-110）  
女性 64.4%、男性 30.8%であった。
- 2) 年齢（図 4-111）  
70 代が 21.6%、60 代が 19.4%、50 代 18.7%、40 代が 13.0%、80 代 10.4%であった。
- 3) 住まい（図 4-112）  
野田町 20.5%、野田東 18.8%、矢剣町 16.8%、三河町 15.6%、須川町 13.1%であった。
- 4) 運行の認知状況（図 4-113）  
回覧板が 35.3%、行政の広報紙が 31.5%、循環バスのバス停が 23.0%などとなっている。
- 5) バスの利用状況（図 4-114）  
利用しないが 37.6%、これから利用するが 32.2%となっている。
- 6) 利用目的（図 4-115）  
買物が 33.3%、まちなか散策が 15.1%、通院が 12.9%、食事が 11.0%などとなっている。
- 7) 普段の交通手段（図 4-116）  
車を運転が 43.9%、自転車が 24.6%、徒歩が 23.2%などとなっている。
- 8) 希望する運賃（図 4-117）  
100 円が 87.1%と圧倒的に多い。ついで 200 円が 5.6%である。
- 9) 運行時間帯（図 4-118）  
10 時台が 23.9%と多いが、他は分散している。昼間の時間帯が多いが、9 時前が 7.3%、18 時以降も 9.7%の希望がある。
- 10) 運行間隔（図 4-119）  
30 分間隔が 51.6%と最多を占める。
- 11) 1 日乗り放題券の認知状況（図 4-120）  
知っていたは 35.4%にとどまった。
- 12) 1 日乗り放題券の必要性（図 4-121）  
必要であるが 53.1%と過半数を占めた。
- 13) 1 日乗り放題券の希望運賃（図 4-122）  
300 円が 41.3%と最多を占めた。ついで 200 円が 26.5%となっている。
- 14) 活性化の取組み（図 4-123）  
魅力ある商品・商店を増やすが 50.9%と最多である。ついで、楽しいイベントの開催 38.9%、大規模店舗の誘致 35.4%、小回りのきくバスの運行 31.9%などとなっている。

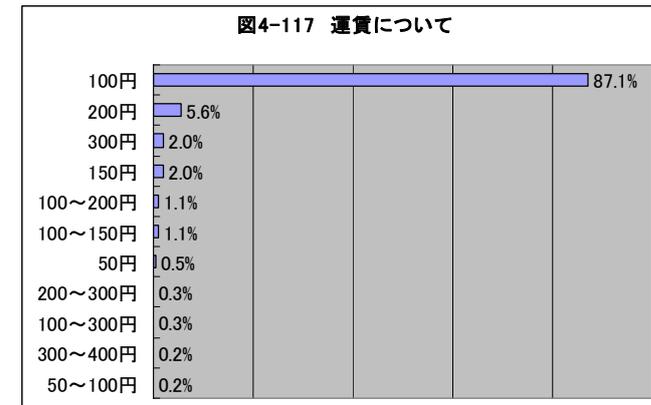
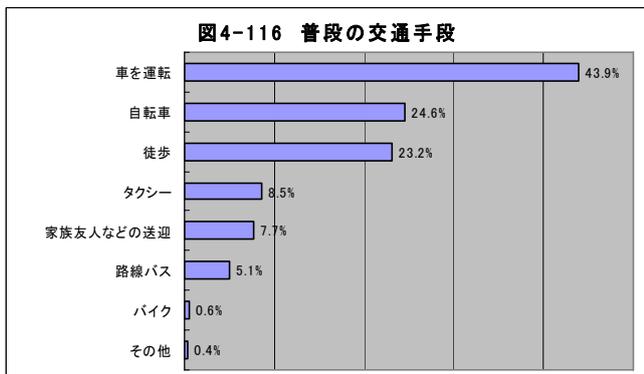
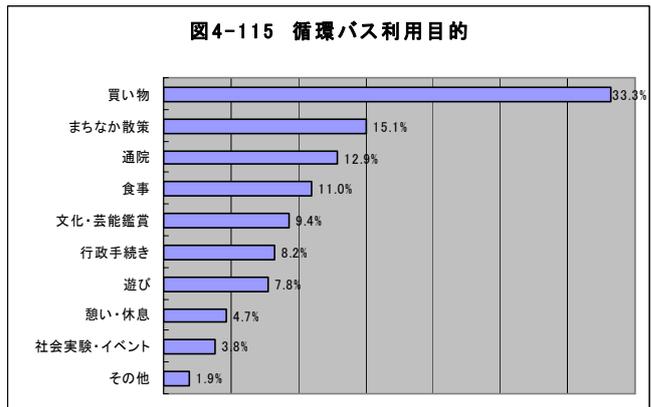
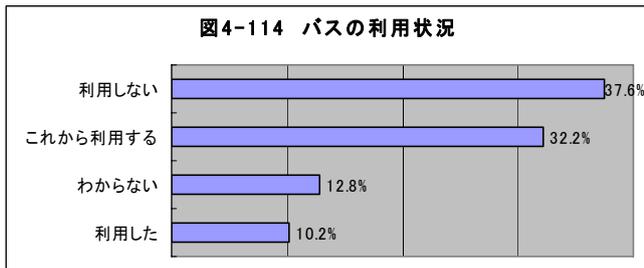
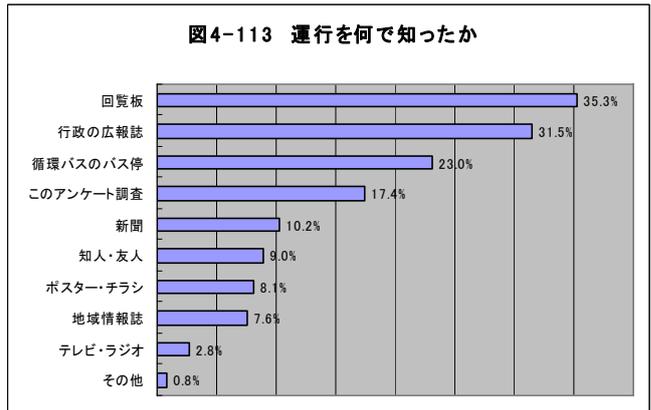
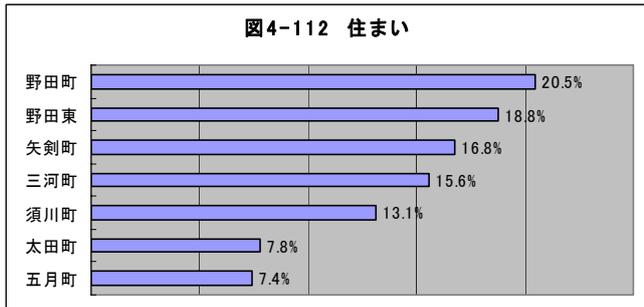
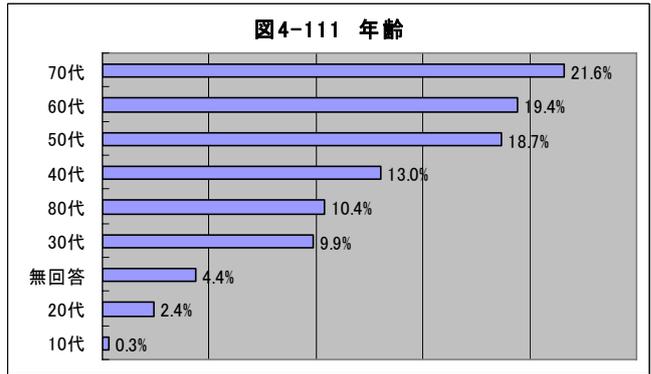
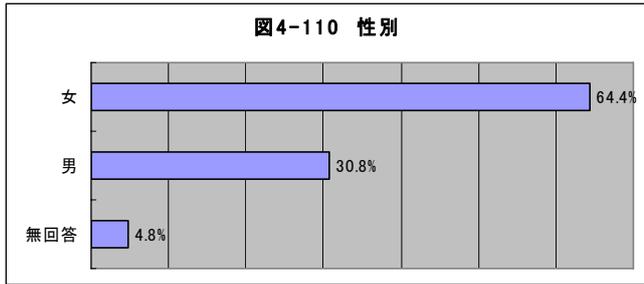


図4-118 運行時間帯について

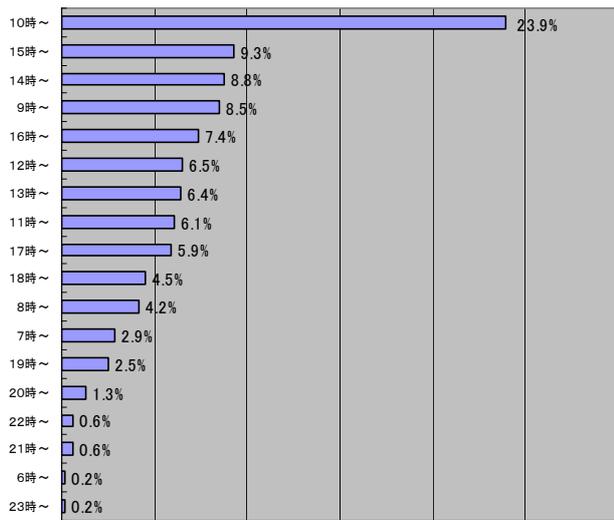


図4-119 運行間隔について

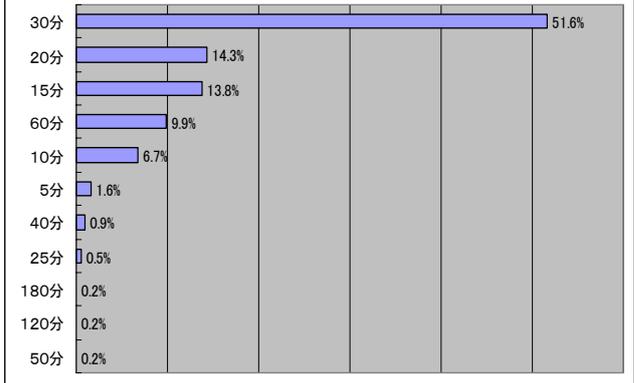


図4-120 1日乗り放題乗車券を知っていましたか？

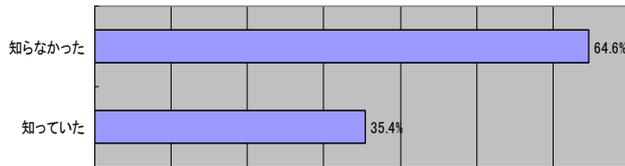


図4-121 1日乗り放題券の必要性

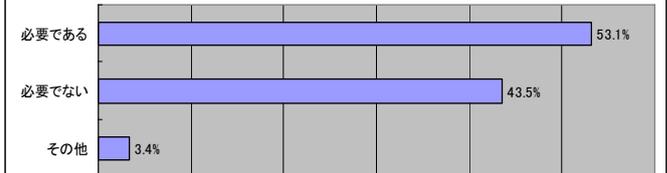


図4-122 乗り放題券の運賃について

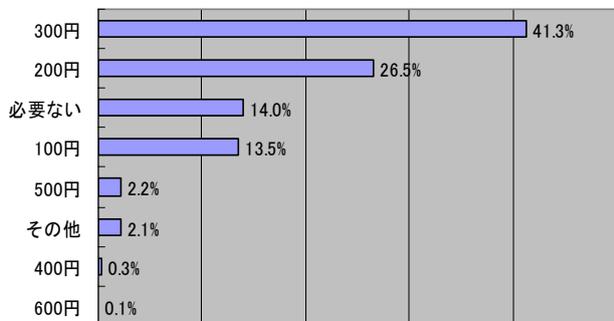
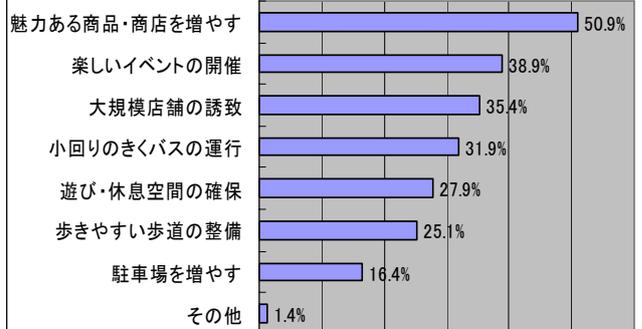


図4-123 活性化の取り組みについて



### ③調査結果にもとづく考察

実態調査結果では、土日平均で 41 人／日、平日平均で 20 人／日であった。1 日当りの運行本数が 18 便であることから考えると、1 便当りの利用者が少ない結果となった。今後、運行ルートや運行本数、運行時間帯の再検討、及び、PR をするとともに、まちなかへのアクセスとしての公共交通のあり方について検討が必要である。また、希望する 100 円の運賃での事業可能性の検討が必要である。

(5) 循環バス（まちなか循環線）

①実験の概要

回遊性の向上やまち歩きへの補助を目的として、中心市街地の主な通りをコミュニティーバスで巡回した。高齢者や障がい者、子ども連れなどに利用された。

コースは、2コースとし、東口コースは駅前通りの一方通行実験に合わせ、イベントエリアの外周を巡回し、街なか広場やパセオ通り、稲荷神社等でのイベント会場を結ぶルートとした。

西口コースは、福島駅の西口と東口を結ぶルートとし、地下道を通らなくてもまちなかへアクセスできるようなコース設定とした。



まちなか循環バス

両コースとも運行本数は15便/日とし、子どもや高齢者など多くの利用があった。

<実験中運行日>

- ・東口コース：10/20（土）、21（日） ・西口コース：11/3（土）、4（日）

<実験中利用者数>

- ・991人（土日平均248人/日）

<運賃・運行回数>

- ・無料、10時台～16時台、20～30分おきに運行

循環線（まちなか循環線）日別利用者数一覧

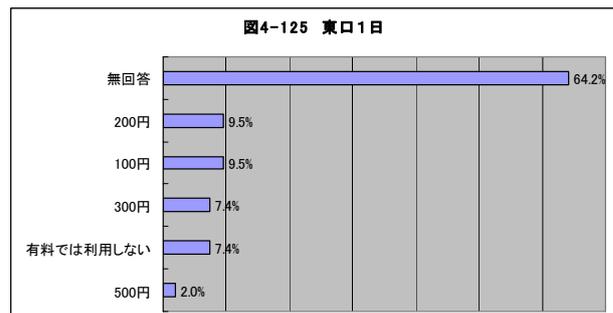
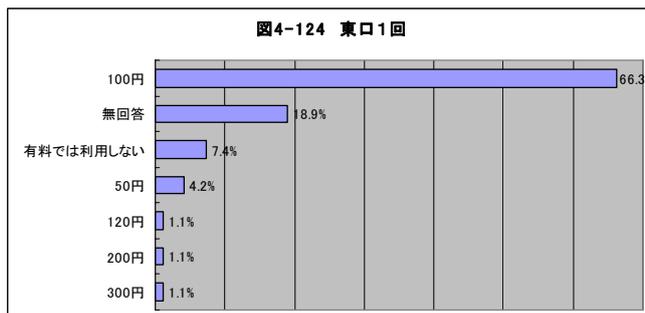
10月20日（土）	10月21日（日）	11月3日（土）	11月4日（日）
193人	283人	243人	272人

②アンケート調査結果（サンプル N=198 東口コース N=95、西口コース N=103）

まちなか循環線を有料化した場合の運賃は1回あたり100円との意見が多かった。また、今後の利用意向は90%前後と高い値を示した。

- 1) まちなか循環線の妥当な運賃：東口コース1回（図4-124）  
100円が66.3%と多かった。
- 2) まちなか循環線の妥当な運賃：東口コース1日（図4-125）  
200円が9.5%、100円が9.5%と同じだが、無回答が64.2%と多かった。

☆まちなか循環線を有料化した場合料金はどうくらいが妥当だと思いますか？

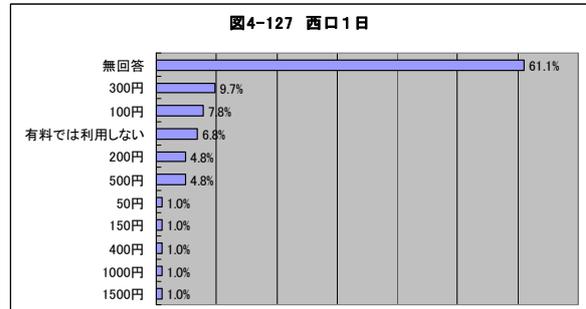
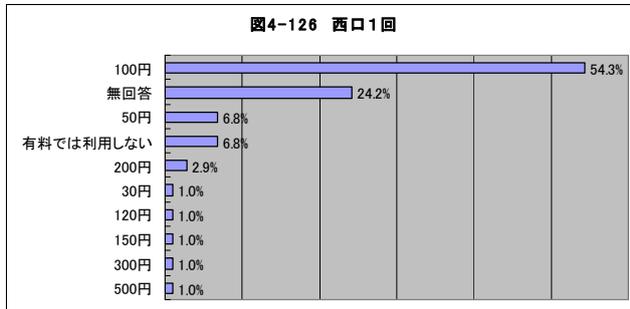


3) まちなか循環線の妥当な運賃：西口コース 1回 (図 4-126)

100円が 54.3%と多かった。

4) まちなか循環線の妥当な運賃：西口コース 1日 (図 4-127)

300円が 9.7%、100円が 7.8%だが、無回答が 61.1%と多かった。



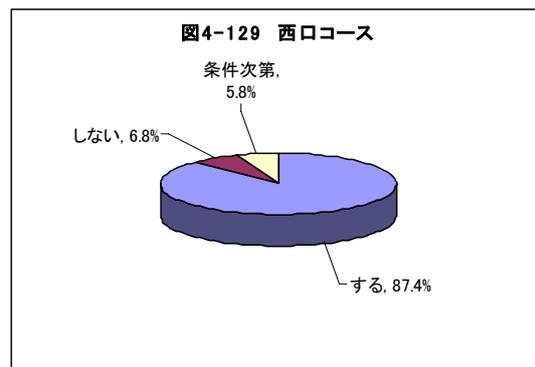
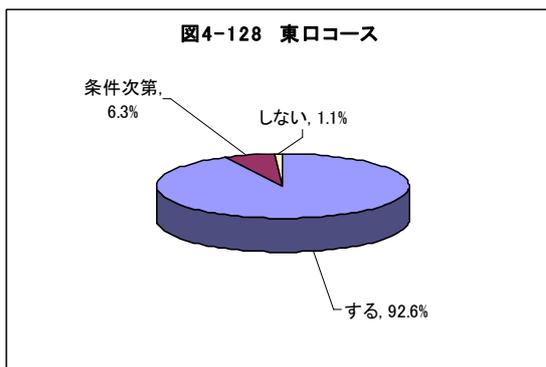
☆今後、今回のバスが運行された場合は利用しますか？

5) 今後の利用意向：東口コース (図 4-128)

利用するが 92.6%と多数を占めた。

6) 今後の利用意向：西口コース (図 4-129)

利用するが 87.4%と多数を占めた。



## 自由意見・要望など

No	内 容
1	1区間50円、3区間150円
2	100円がいいですね
3	このままの料金で続けてほしい
4	100円払ってもよいが、お店で使える割引券と交換とかはどうですか？

### ③調査結果にもとづく考察

1日平均246人/日、1便当たり平均16.5人/便が乗車し、多くの利用がある結果となった。低床式(子ども、高齢者、障害者に配慮)で人目を引くかわいいラッピングをした小型のバスを1周あたり20分以内の短時間で循環をさせ、乗りやすさや手軽さに配慮したことが一因と考えられる。

アンケート結果でも、今後の利用意向が高い結果となった。過半数以上の人が、有料にした場合の運賃として「100円」としており、「有料なら利用しない」が約7%であり、「運行された場合の利用意向」は「東口コース」が92.6%、「西口コース」が87.4%と高い結果であることから、運行形態も含めて導入可能かどうか検討が望まれる。

コースは「東口コース」と「西口コース」の2コースとしたが、「西口コース」の平均利用者が多かった。11月4日に「コラッセ夢ばざー」が開催された影響もあると思われるが、P56の調査別歩行者交通量の結果から見ても、東口と、西口を結ぶ、東西連絡通路を通行する代わりに、循環バスを利用した事も考えられる。東口と西口の循環について、循環バスの運行と東西連絡通路の通りやすさについても検討が必要である。



まちなか循環バス車内



まちなか循環バス乗降状況

(6) 笹谷桜水駅循環線

①実験の概要

環境への配慮、公共交通の利用促進を目的として、桜水団地から飯坂線桜水(電車)駅までバスで循環し電車により来街してもらった。

<実験中運行日> 10/20(土)、21(日)、11/3(土)、4(日)の午前9時から午後6時運行

<実験中利用者数> 73人(土日平均18人/日)

<運賃・運行回数>

・100円、9時台~17時台、30分おきに運行

笹谷桜水駅循環線日別利用者数一覧

10月20日(土)	10月21日(日)	11月3日(土)	11月4日(日)
16人	28人	24人	5人

②アンケート調査結果(サンプル N=1,305: 沿線町内会に配布)

笹谷桜水駅循環線では、60代の女性の利用が多かった。利用目的は買い物が多くを占めた。一回あたりの運賃は100円が希望額である。

1) 性別(図4-130)

女性63.4%、男性33.3%であった。

2) 年齢(図4-131)

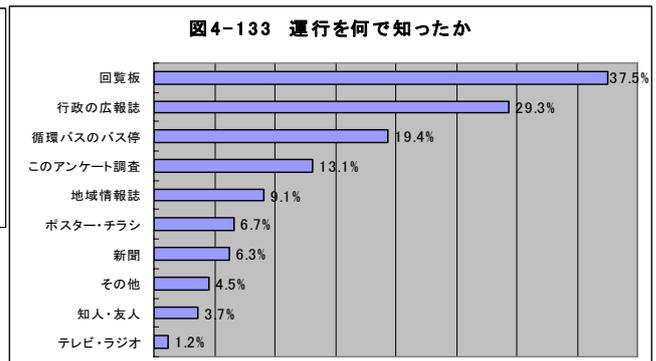
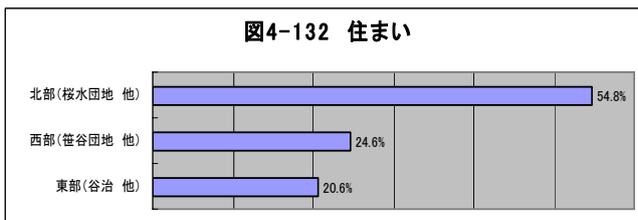
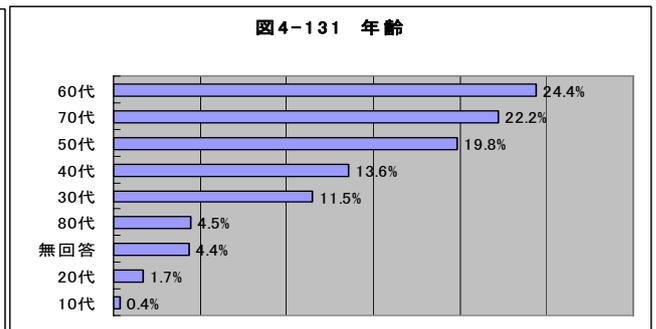
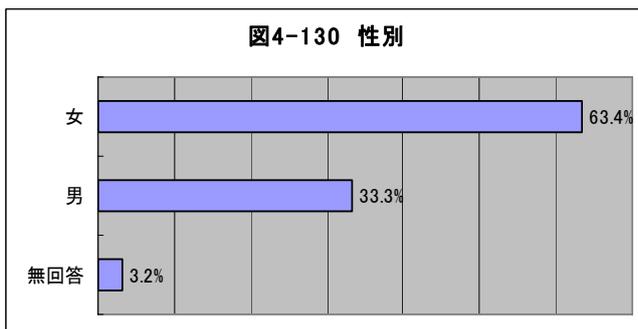
60代が24.4%、70代が22.2%、50代19.8%、40代が13.6%、30代11.5%であった。

3) 住まい(図4-132)

北部(桜水団地他)54.8%、西部(笹谷団地他)24.6%、東部(谷治他)20.6%であった。

4) 運行の認知状況(図4-133)

回覧板が37.5%、行政の広報誌が29.3%、循環バスのバス停が19.4%などとなっている。



5) バスの利用状況 (図 4-134)

利用しないが 60.6%、これから利用するが 18.8%となっている。

6) 利用目的 (図 4-135)

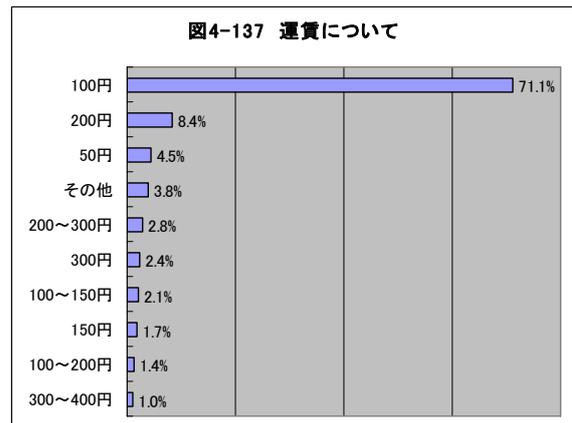
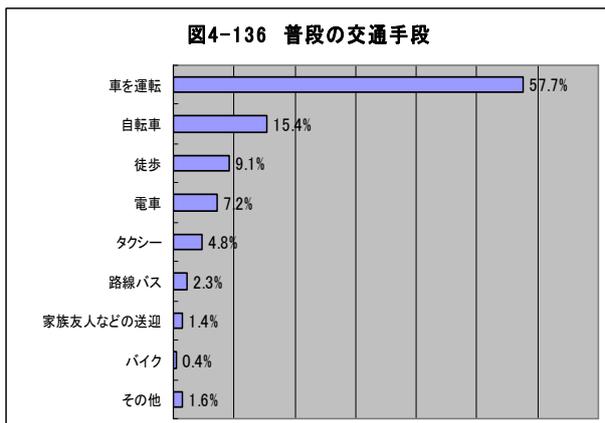
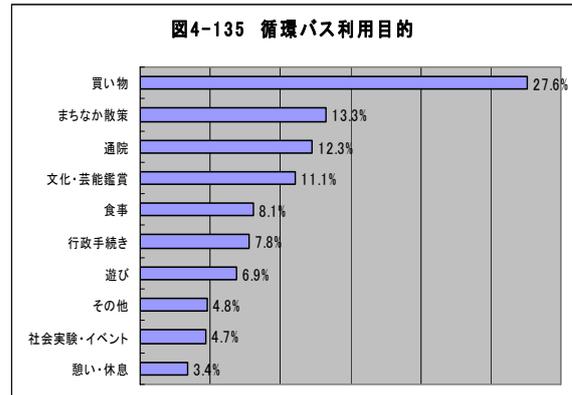
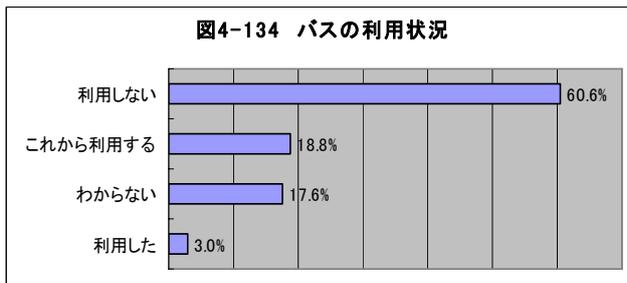
買物が 27.6%、まちなか散策が 13.3%、通院が 12.3%、文化・芸術鑑賞が 11.1%などとなっている。

7) 普段の交通手段 (図 4-136)

車を運転が 57.7%、自転車が 15.4%、徒歩が 9.1%などとなっている。

8) 希望する運賃 (図 4-137)

100 円が 71.1%と圧倒的に多い。ついで 200 円が 8.4%である。

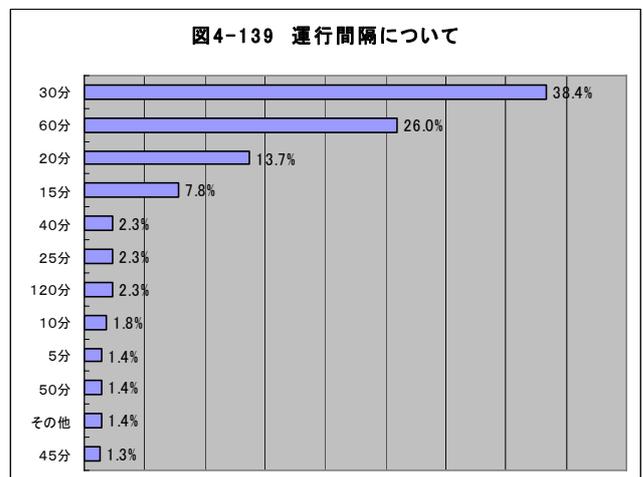
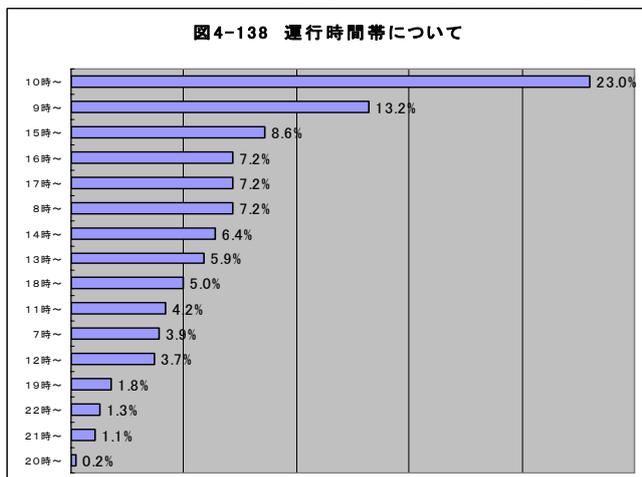


9) 運行時間帯 (図 4-138)

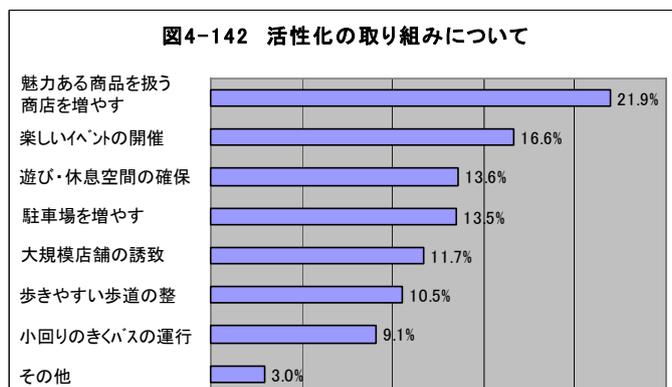
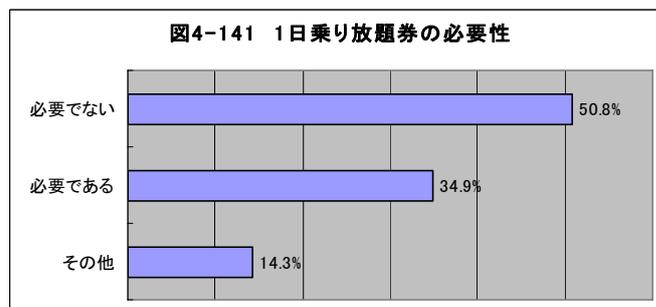
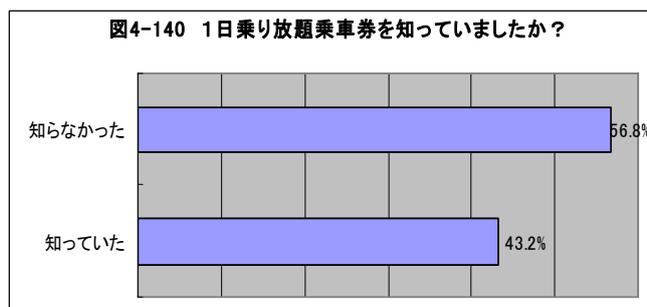
10 時台が 23.0%、9 時台が 13.2%と多いが、他は分散している。昼間の時間帯が多いが、9 時前が 11.1%、18 時以降も 9.4%の希望がある。

10) 運行間隔 (図 4-139)

30 分間隔が 38.4%、60 分間隔が 26.0%となった。



- 11) 1日乗り放題券の認知状況（図 4-140）  
知っていたは 43.2%にとどまった。
- 12) 1日乗り放題券の必要性（図 4-141）  
必要であるが 50.8%とほぼ半数を占めた。
- 13) 活性化の取組み（図 4-142）  
魅力ある商品・商店を増やすが 21.9%と最多である。ついで、楽しいイベントの開催 16.6%、遊び・休息空間の確保が 13.6%、駐車場を増やすが 13.5%、大規模店舗の誘致 11.7%などとなっている。



### ③調査結果にもとづく考察

実態調査結果では、1日平均 18 人／日の利用となった。1便当りの利用は限られており、今後、運行時間帯、ルート等の検討等が必要と考えられる。また、希望する運賃額は 100 円、運行間隔は 30 分から 60 分となっており、この運賃、サービス水準（本数）での事業化が可能かどうか、採算面からの検討も必要である。

また、利用促進のためには広報・PR の方法も重要である。循環バスの運行情報は回覧板や広報紙など多様な媒体を使い、十分な時間をかけ、提供していくことが有効と考えられる。

(7) 人と車の共生実験（一方通行実験）

①実験の概要

交流の拡大・賑わい創出、来街歩行者の安全向上を目的として、栄町・置賜町線の供用開始後の福島駅前通りのあり方を検証した。駅前通りを駅方面からの一方通行とし車との共存を図り、あわせて、駐輪所の自転車の撤去及び期間中の駐輪禁止を実施した。



実験の状況（10月21日）

<実験中実施日>

・10/20（土）、21（日）

<実験中通行量数>

・23,653人（土日平均11,827人/日）

②アンケート調査結果

○一方通行実験アンケート（サンプルN=254）

来街歩行者は、一方通行に対して、良い、どちらかと言えば良いが68.2%を占め、好意的な意見が多かった。今後の整備の方向としては、歩行者天国が39.4%と一方通行の24.6%を上回った。

1) 感想（図4-143）

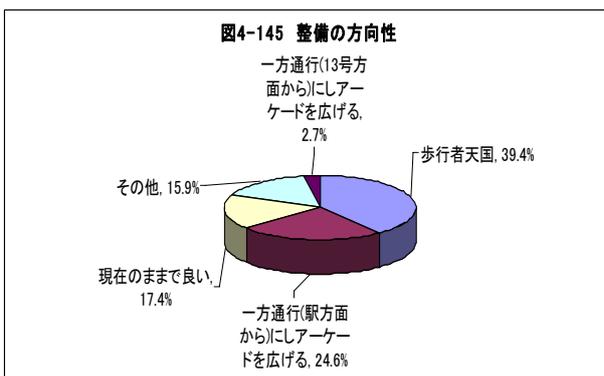
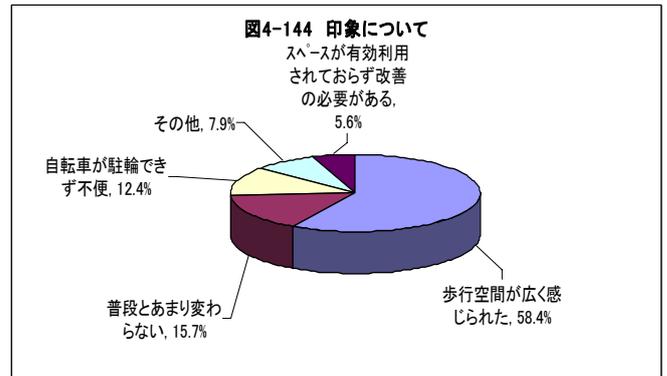
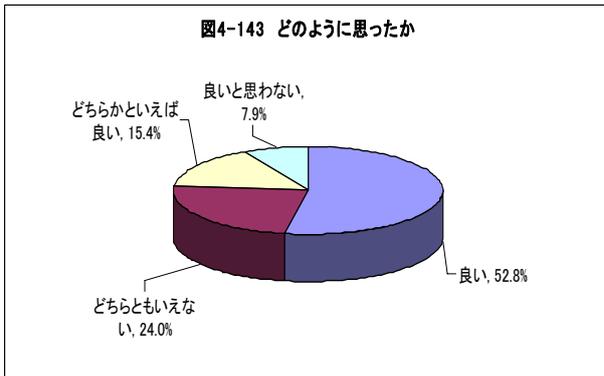
良い52.8%、どちらともいえない24.0%、どちらかといえば良いが15.4%であった。

2) 印象（図4-144）

歩行空間が広く感じられたが58.4%が過半数を占めた。

3) 整備の方向性（図4-145）

歩行者天国39.4%、一方通行（駅方面から）24.6%、現状のままで良い17.4%であった。



○タクシー運転手アンケート（サンプル N=10）

タクシー運転手の意見としては、現状の交互通行を望む意見が高い結果となった。

1) 期間中の利用者（図 4-146）

通常より減少したが 80%と多数を占めた。

2) タクシーベイの利用状況（図 4-147）

利用しなかったが 50%、タクシーベイが減り不便が 50%となっている。

3) 利用しない場合の待機場所（図 4-148）

駅東口付近が 70%、駅西口付近が 10%などとなっている。

4) 駅前通の一方通行（図 4-149）

どちらでもないが 60%、駅方向からの一方通行が 20%、駅方向への一方通行が 20%である。

5) 一方通行実験（図 4-150）

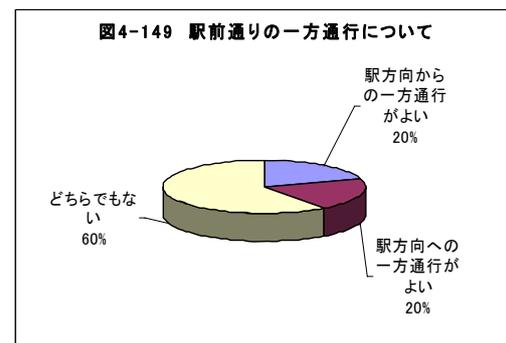
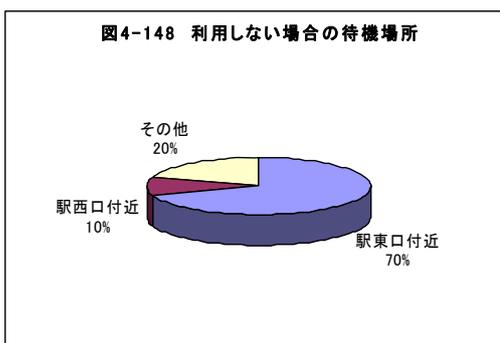
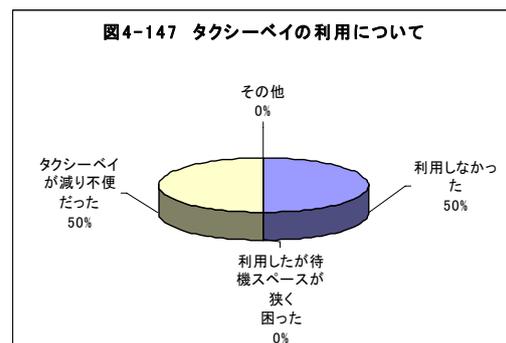
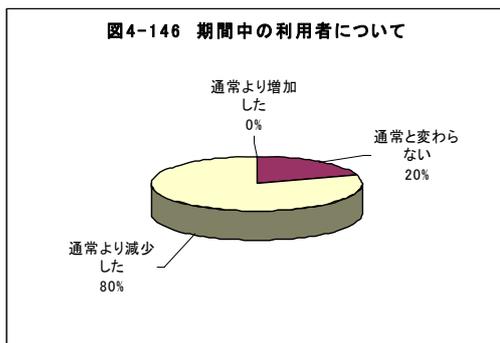
停車ができず不便が 40%、車道の幅が狭く走りづらいが 30%などであった。

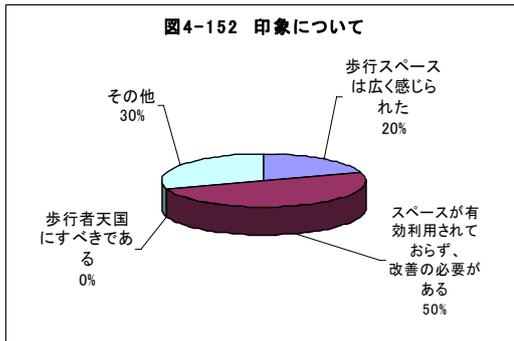
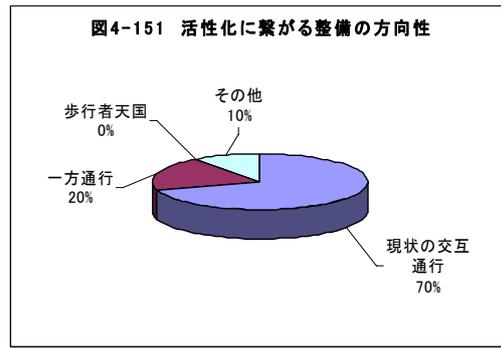
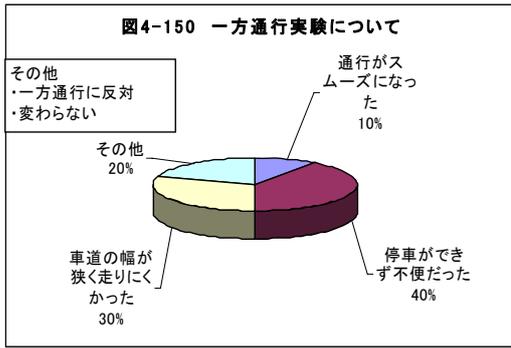
6) 整備の方向性（図 4-138）

現状の交互通行が 70%、一方通行が 20%であった。

7) 印象（図 4-139）

スペースが有効利用されておらず改善の必要があるが 50%となった。





その他  
 ・時間帯に通行しなかった  
 ・歩道に自転車を置くのは美化にも悪く反対  
 ・タクシー利用者が利用しやすいようにすべきだ

### ③調査結果にもとづく考察

実態調査結果では、1日平均 11,827 人/日と多くの歩行者通行量を記録した。一方通行実験の実施により、街路空間をまちなかの賑わいイベントに活用できた結果であり、来街歩行者アンケート調査結果でも好評であった。また、一方通行実験では歩行空間を広げ車を規制したが、周辺道路は p56 の結果からも特に渋滞が発生することもなく、自動車交通への影響はほとんどなかった。

広げた空間では、大道芸やミニ SL の運行など賑わい創出に活用され、歩行者天国とは異なり「まちなか循環バス」も運行でき「街なか広場」や「稲荷神社」「パセオ通り」等で実施したイベントへの回遊や賑わい創出への効果があり、人と車の共存が図られた。

一方、タクシー運転手からは現状の交互通行を望む意見が多く、適切なタクシー待ちスペースの提供などの対策検討が必要である。なお、自転車の駐輪ができないことについては不便との意見があり、適切な場所への駐輪スペースの確保が必要である。

なお、交通への影響は少なかったが、平成 22 年供用予定の栄町・置賜線により、自動車交通量が少なくなると予想されることを踏まえ、賑わいを演出する駅前通りの整備のあり方について検討していく。

## (8) 歩行者天国（駅前通り）

### ①実験の概要

交流の拡大・賑わい創出、来街歩行者の安全向上を目的として、来街者が安心して歩ける空間の形成と回遊性の向上のため歩行者天国を実施した。

#### <実験中実施日>

・11/3（土）、4（日）

#### <実験中通行量数>

・23,960人（土日平均11,980人/日）



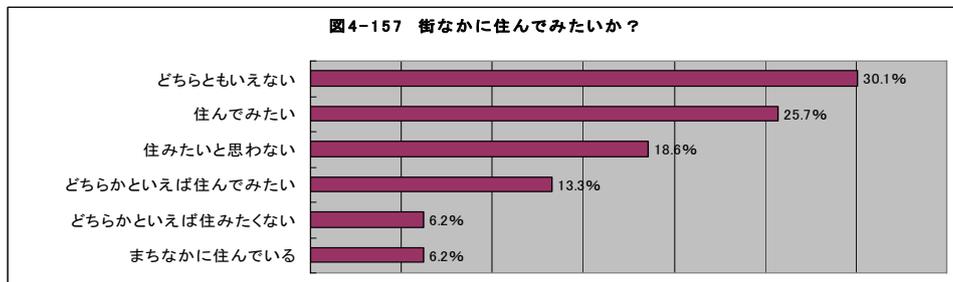
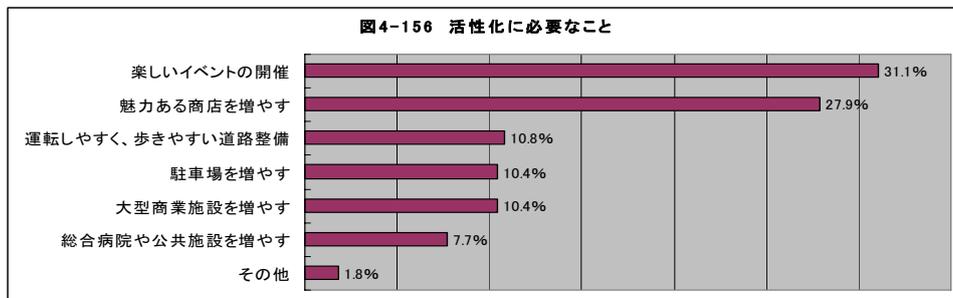
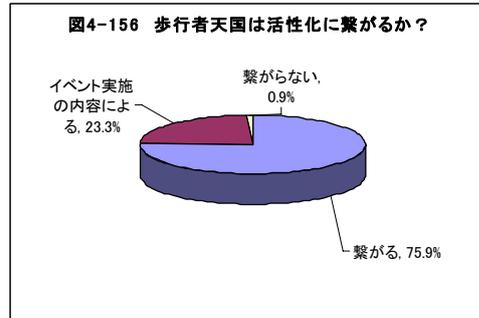
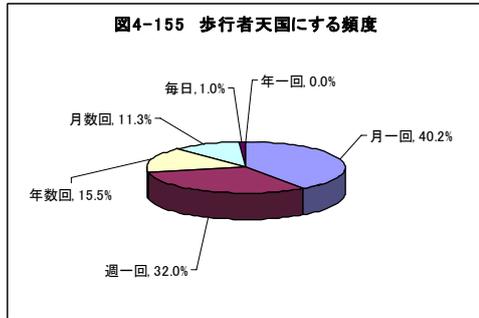
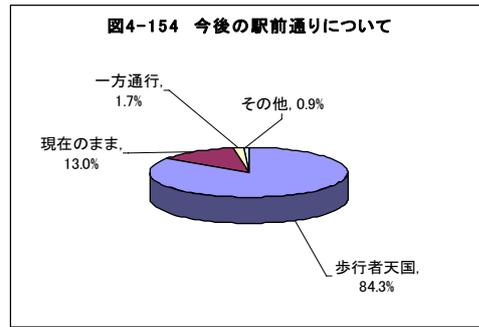
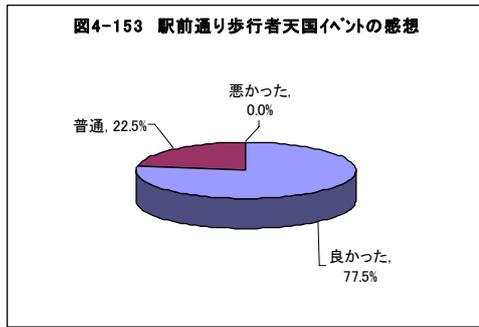
歩行者天国の状況（11月3日）

### ②アンケート調査結果（サンプル N=113）

★11月4日に実施した来街者アンケートの調査結果である。

歩行者天国イベントの評価は良いが77.5%を占め、今後、月1回ないし週1回の実施を望む意見が高かった。

- 1) 歩行者天国イベントの感想（図 4-153）  
良かったが77.5%と多数を占めた。
- 2) 今後の駅前通について（図 4-154）  
歩行者天国が84.3%と圧倒的多数を占めている。
- 3) 歩行者天国にする頻度（図 4-155）  
月1回が40.2%、週1回が32.0%などとなっている。
- 4) 歩行者天国の活性化への繋がり（図 4-156）  
繋がるが75.9%と多数を占めた。
- 5) 活性化に必要なこと（図 4-157）  
楽しいイベントの開催が31.1%、魅力ある商店を増やすが27.9%などとなっている。
- 6) まちなかへの居住希望（図 4-158）  
街なかへの居住希望はどちらともいえないが30.1%、住んでみたいが25.7%、住みたいと思わないが18.6%と分散した結果となった。



### ③調査結果にもとづく考察

実態調査結果では、1日平均 11,980 人／日と多くの歩行者通行量を記録した。歩行者天国の実施により、街路空間をまちなかの賑わいイベントに活用できた結果であり、来街歩行者アンケート調査結果でも肯定的な評価となっている。

また、歩行者交通量は、一方通行実験時とさほど変わらなかったが、来街者の多くが月1回、週1回など、定期的な歩行者天国を支持している。自動車の通行を全く気にせずまちなかを歩ける歩行者天国でのイベント開催の評価が高いものと推察される。

また、適切なタクシー待ちスペースの提供などの対策を行いながら、今後の実施継続が期待される。



結・ゆい・フェスタ 2007



ふくしまフレンドパーク



福島城下うまいもの市



「学びのエリア」～昔のみち、今のみち～



未来のわたしへ手紙を出そう！



東北電力・置賜町リサイクルマーケット

#### 4-4. 人にやさしいまちに関する調査結果

##### (1) 街なか UD 実験

###### ①実験の概要

来街者が歩きやすい街、わかりやすい街であるのかについて把握・分析するため、ユニバーサルデザインへの配慮状況や通行者の状況を桜の聖母短期大学学生が調査した。

###### <実施日>

・10/22（月）12:15～14:15

###### <調査地点>

・駅前通り ・パセオ通り ・レンガ通り ・文化通り ・並木通り

###### ②調査結果

	駅前通り	パセオ通り	レンガ通り	文化通り	並木通り
道路・路面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字ブロック有</li> <li>・段差が少しある</li> <li>・ベンチ少ない</li> <li>・駐輪が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字ブロック有</li> <li>・地面がタイル素材で歩きづらい</li> <li>・ベンチ多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字ブロックは片側のみにある</li> <li>・レンガでポコポコしている</li> <li>・地面にライトが埋め込まれている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩車道が分離されていない</li> <li>・レンガ舗装でヒールがはさまる恐れ有</li> <li>・ベンチ無い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道が狭い</li> <li>・道がレンガ調</li> <li>・車のスピード抑制用ハンブ有</li> </ul>
看板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪が多い</li> <li>・案内板少ない</li> <li>・通り名表示ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板が見えづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店の看板が歩道上に出ている</li> <li>・通り名がわかりづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店の看板が歩道に出ている</li> <li>・通りの出入口に文化通りの看板有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内板が小さく見づらい</li> </ul>
歩行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人、車多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が歩行者を上回る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サラリーマンが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多い</li> <li>・女性が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OL、会社員が多い</li> </ul>

### ③調査結果にもとづく考察

それぞれの通りは特色ある町並みを活かし、シンボルカラーを用いて、わかりやすくする工夫やそれを基本として案内板の設置が必要である。

また、歩きやすくするための工夫としては、車と人の棲み分けが大切だと思われる。かなり交通量も多い通りもあることから、横断歩道をもっと見やすくしたり、許可車両だけに制限することも必要であると考えられる。更に歩道を自転車と共用しているために、道幅をもう少し広げる必要性が感じられる。

駐車場とともに、駐輪場を増やすことも、歩きやすいまちづくりに貢献できると考える。さらには、駐輪場を新たに設置して道を狭くするのではなく、現在ある駐車場の1台分を借り上げ、そこを駐輪場にするという事も出来る。特に出入口付近の車には使用しにくい場所が自転車にとっては利用しやすい。

道路に関しては、現在の舗装や点字ブロックの代わりに、素材を変えることで視覚障害者に注意を促す事も出来る。更にそうすることで、車椅子の障害者にとってもわずかな段差につまずきやすい高齢者や乳母車を使用する親子連れにとっても、優しいユニバーサルデザインとなる。またその際には、水はけや歩いていて疲れにくい素材を使用して欲しい。

街灯に関しては、もっと明るくすることと、上から照らすとともに足元を明るくしていく工夫も考えていく必要がある。

町全体に関しては、案内板の設置であるが、目的別に設置場所や音声案内の併用、モバイルの活用など、多種のニーズに対応していけるものを検討していく。一つの案内板で対応しようとすると、結局は見難かったりわかりにくいものになってしまうと考えるので、マップを目的別に用意したり、子どもや高齢者も見やすい色使いや高さも設置する場所に合わせて変えていく。

また、小型のエリア内だけを走る乗り合いバスかタクシーのようなものを創設すれば、通り間の移動が楽になり、様々な場所へ人々が動きやすい。現在のもりん号も良いが、エリアの外にあり、知らない人が多いと感じた。この乗り物には、何回乗っても良い乗車券や、家族割引など、次に来てもらう仕掛けも工夫できると思う。デザインとしては、わかりやすく親しみやすい、例えばディズニーランドで見かけるようなものがよいのではないだろうか。

そして子どもが遊んだり、歩き疲れた時に休めるようなフリースペースを設けていけば、更に歩きやすくなっていくと考える。

<提言：桜の聖母短大講師 吉田光子氏>



調査状況（文化通り）

## (2) まちなかインタビュー調査

### ①調査の概要

福島駅の駅前広場を通行する人を対象に福島のまちなかの利用実態、魅力、認知度に関するインタビューを行った。

#### <調査日>

・10/25(木) 16:00~17:00    10/26(金) 10:00~16:00    10/27(土) 10:00~16:00

#### <調査機関>

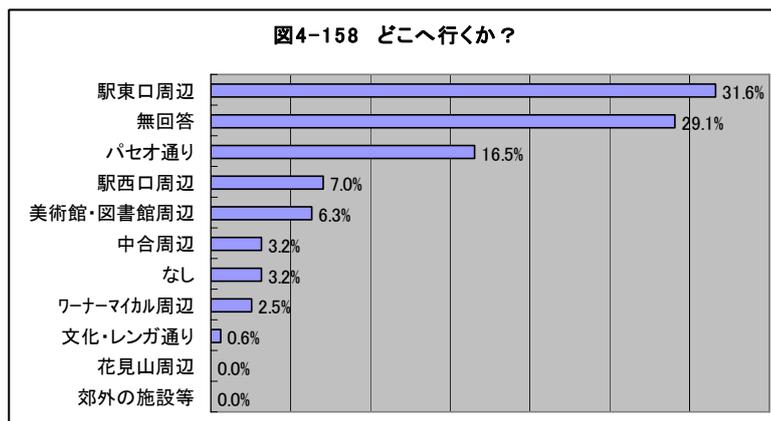
早稲田大学

### ②インタビュー調査結果 (サンプル N=158)

#### 1) 通行者の訪問先の傾向

徒歩圏内では、駅前、特にエスパルと中合に行く人がほとんどで、駅前通りからパセオ通りが商業軸となっているが、パセオ通りまで行く人はわずかである。また、まちなかではそれより広範囲に行く人は少なく、大半が学校、職場で、その他は県立美術館、音楽堂、競馬場が挙げられるが、競馬場に関しては調査日当日に福島競馬が開催されていたことが要因として大きい。

広域では飯坂温泉、南福島が挙げられ、その他は大学が挙げられている。



#### 2) 年齢別訪問先の傾向

##### ・ 幼児・10代

全体の傾向と同様、駅周辺が多いが、特にエスパルの利用が圧倒的に多い。

次いで、中合が多く、パセオ通り、映画館、こむこむ、コラッセの利用も見られるが、駅から徒歩圏内にも関わらず少ない。広域では、学校への通学は見られるが、その他で駅から離れた場所の利用は見られない。

##### ・ 20代・30代

全体の傾向と同様、駅周辺が多いが、エスパル、中合の利用が最も多い。また、親子連れによる、こむこむの利用が見られる。駅前通り、パセオ通り、映画館、コラッセの利用も見られるが、駅から徒歩圏内にも関わらず少ない。駅から離れたところでは県立美術館、競馬場の利用が見られる。

### ・40代・50代

全体の傾向と同様、駅周辺が多いが、特に中合の利用が圧倒的に多い。次いで、エスパルやその他駅前が多く、パセオ通り、こむこむ、イトーヨーカドーの利用も見られるが、駅から徒歩圏内にも関わらず少ない。駅から離れたところでは県立美術館、飯坂温泉の利用が見られる。中年層は特に中合の利用が多いが、その先の利用は圧倒的に少ない。

### ・60代以上

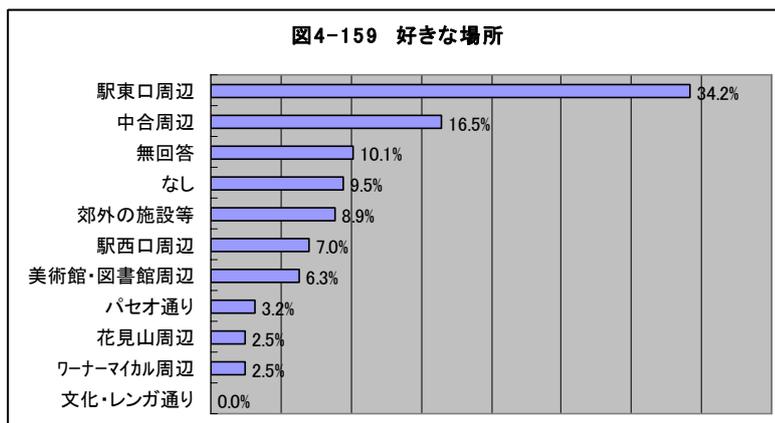
施設では県立美術館の利用が最も多く、他の年齢層に比べ駅周辺の利用が少ない。

駅周辺では特に中合の利用が多い。次いで、エスパルやイトーヨーカドー、その他駅前が多く、ピボット、駅前通り、こらんしょ横丁の利用も見られる。駅から離れたところでは音楽堂、競馬場、ヨークタウンの利用が見られる。

高齢層は、西口や駅から離れた文化施設の利用が比較的多い。高齢者の利用実態と合わせ、駅前通りやパセオ通りなどを含めた公共交通の計画が重要である。

### 3)好きな場所

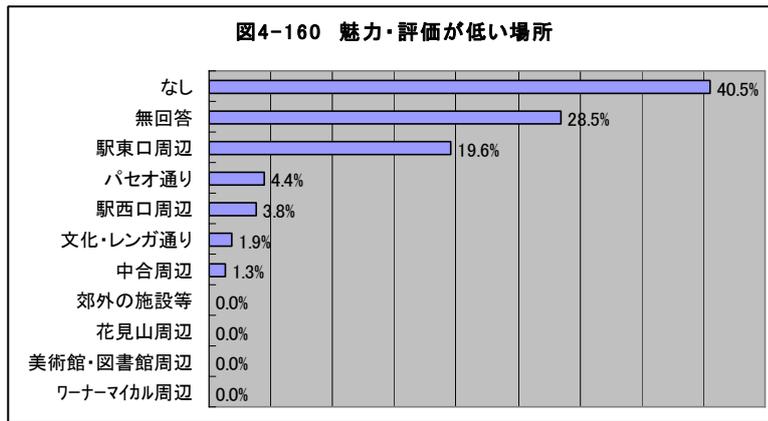
駅前に回答が集中しているのは、「どこへ行くか？」の結果と変わらず、理由として利便性やにぎわいがあるというのが多いが、一方、パセオ通りや文化通りの回答も多く、歩きやすさ、雰囲気の良いさが理由として挙げられている。しかし、パセオ通りや文化通りの実際の利用が低いのは、駅から繋がる



#### 4)魅力、評価が低い場所

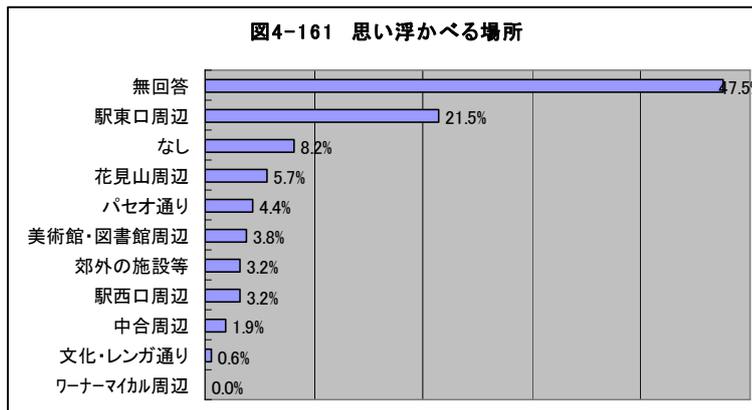
特になしという回答が40%近く、また特定の場所ではなく、「全体的に寂れている」「郡山に比べ活気がない」などの街全体や特徴による回答が20%近くを占めている。具体的な場所では、駅前やパセオ通り、まちなか全体に活気がないという意見が多く、特に他の質問では駅前の方がパセオ通りよりも圧倒的に回答数が多いが、この質問では同程度であり、パセオ通りは店がシャッターばかり、店がないなど人々の中での魅力が低下しており、パセオ通りまで回遊しない。パセオ通り沿いの店舗の活用方法を考える必要がある。同様の理由で駅前通り、レンガ通りも挙げられている。

また、吾妻通り、中央通り周辺風俗店などの夜の店が嫌い、夜怖いという意見が多く、吾妻通りが駅からパセオ通りに繋がる回遊の軸にならない要因の一つと考えられる。



#### 4)福島のみちなかとして思い浮かべる場所

特定の場所以外の特徴を挙げた人が40%を占める。駅周辺やパセオ通りの回答も多くまちなかの賑わいについても認識が比較的高く、まちなかに信夫山などの景観を意識して修景することで相乗して魅力を高めることが必要だと考えられる。



### (3) まち歩きアンケート調査

#### ①調査の概要

本調査は、福祉及びユニバーサルデザイン（以下「UD」とする。）等の視点を新しいまちづくりに生かすため、平成19年度「歩いて暮らせるまちづくり福島地区社会実験（平成19年10月20日～11月18日）」で「まち歩き」を体験した方々にアンケート調査を実施した。

#### ②アンケート調査結果（サンプル数N=10）

まち歩き時に参加した実験メニューとして次があげられた。

##### ○交通実験

- ・まちなか循環バス（ポンチョ）
- ・西口循環線

##### ○賑わい創出実験

- ・まちなかコンサート
- ・チビッコおまつり広場
- ・いきいきふくしま元気 up フェスタ 2007
- ・平成福島座
- ・パセオワゴンセール
- ・農産物フェア

福島市のまちなかの以下の項目について自由記述方式でアンケートを行った。

福島市のまちなかに対する主な意見

道路	バス	公共施設 休憩所、トイレ、建物	その他 イベント・まちづくりに関する事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の自転車が危険</li> <li>・歩道の勾配、車道との段差を指摘</li> <li>・自転車の置き方が悪いことを指摘</li> <li>・歩道にベンチがあることを評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西口、東口の周回を要望</li> <li>・高齢者が安心して外出できるとの評価</li> <li>・今後の体験乗車の実施などを希望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設入口の段差を指摘</li> <li>・施設のトイレの構造などの案内へ提案</li> <li>・特にトイレの情報提供について要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかへの集客を評価</li> <li>・騒音などへの配慮を要望</li> <li>・広報をできるだけ早くして欲しい旨要望</li> <li>・高齢者や子供を対象にして催しも希望</li> </ul>

### ③調査のまとめ

#### 1) 道路やバスについて

- まち歩きには、誰でも快適に移動できる歩行環境（空間）の整備やまちなか循環バスや自転車等の補助的な足があると便利であり、道路やバスについては、高齢者や子ども、障がい者も使いやすい構造にする等はもちろん、実際に使える環境にあるか、使いやすいかが重要である。今回の調査では、道路やバスについて安全や快適さについて具体的な意見があった。
- 道路については、車いすや歩行時に杖を利用する方にとって、歩道の横断勾配やちょっとした段差が相当歩きにくいことが指摘され、自転車との混在が特に危険に感じていることも示された。また、「バス停まで行くのが大変」という指摘や車道と歩道の段差によりバスが利用できないなど、新たな問題点も提起された。
- 歩行環境については、「歩道にちょっと立ち止まれる”ひとやすみ”のスポットが欲しい」等の意見もあり、また社会実験で取り組んだベンチ等の設置についても評価された。
- 今後、「人」中心のまちづくりを考えた場合、人が歩くことは勿論、立ち止まって休む等、障がい者や高齢者等が歩きやすい歩行環境についても考えていく必要がある。
- バスについては、西口と東口を結ぶルート の提案があり、思った以上に駅の東西連絡の抵抗があると感じた。
- 社会実験の結果や東西通路の利用状況をさらに分析し、街なかの交通機能として「まちなか循環バス」が必要かどうか等についても検討が必要と考えられる。
- また、バスの車椅子利用は補助が必要となり、構造的な改善（車いす可、出入口が広い、低床式等）とともに、運転手がスムーズに補助できるか、同乗者は乗降にかかる時間や補助に対して協力できるか等環境整備が必要である。今回のアンケートでは、バス停までのアクセスの問題や乗降に対する安全・安心、まちへ出かけることに気が引けるなど、利用する環境整備が整っていないことや、バスに対するPR不足等の指摘があった。
- バスの利用しやすい環境整備は、バスを運行する事業者だけの問題ではなく、市民や行政の協力・支援が必要である。

#### 2) 公共施設、トイレ等について

- 公共施設やトイレについては、市民が安心してまち歩きをするために必須の施設として、関心が高く、利用できるトイレの位置情報や設備仕様についての意見が多かった。
- トイレについては、公共施設に民間トイレを含めたネットワークを構築することは勿論、適正な維持管理（清掃等）やMAP・案内板等による分かりやすさや、行くまでのアクセスとして建物構造や入口の段差、傾斜（勾配）など、利用者の立場に立った情報提供が必要である。

### 3) イベントやまちづくりについて

- 賑わい創出イベントは、まちなかへ人を集める手段として有効であるとの意見を得た。また、実施にあたっての騒音や開催頻度、ネットワークづくりが必要なこと等今後の取り組みに向けた前向きな意見をいただいた。
- 広報については、「不十分」との意見や「分かりにくい」との指摘を受けたが、まちなかの複合チラシやまちなか案内板など、効率的で効果的な広報の在り方について考えていく必要がある。
- まちづくりについては、「ターゲットを絞ってはどうか」「平日の取り組みが鍵」「大正ロマンがいいなど」等様々な問題を提起された。
- 今回の調査は、車椅子利用者や肢体不自由者、視覚障がい者等さまざまな障がいを持つ方々、福祉やUD等に関わっている方々に参加いただいた。調査を実施して、参加された方々のイベントに参加する意欲、物事に取組むひたむきな姿勢、具体的な意見、まちに対する思いなど、普段では気付かない視点での問題・課題を知ることができた。
- 今後、本格的な高齢社会を迎えるに当たりバリアフリーからUDのまちづくりが当たり前前に普及するまちづくりを進めていかなければならないと感じた。

## 5. 社会実験の評価

### 5-1. 賑わい実験の評価

賑わい実験は、期間中多くの来街者が参加・利用し、どの実験についても参加・利用者から高い評価を得られた。今後、賑わいを創出する多くのメニューの実現に向けての取組みが期待される。

- 賑わい実験全般についてみると、駅前通りやパセオ通りの歩行者天国イベント、まちなかコンサート等の利用が相対的に多かったが、他のイベントの参加者も多く見られた。現代は、個人の嗜好が多様化しており、1つのイベントだけで大ヒットをあげるのは難しくなっている。今後も、食のイベント・スポーツイベントなど多彩なイベントをそれぞれ連携して、企画・実行し、多くの人をまちなかに誘引することが重要と考えられる。
- アンケート結果によると、賑わい実験メニューの実施頻度であるが、「トイレお貸しします」は毎日、「パセオワゴンセール」は毎週末、他のイベントは月に1回程度の頻度での実施が希望されている。できるだけ多く実施して欲しい要望のメニューについての実現方法や仕組み作り等について検討が必要である。
- パセオワゴンセールの実施では、店主アンケートの結果、土日の来店者が増加したと4割以上が答えた。また、個店の認知にもつながり店主の意識改革もみられた。しかし、店舗の売上増加につながったのは3割弱の結果となった。今後の実施については、通り全体で取り組み一体感を演出することで購買意欲を高め、来店者の増加を売上げの増加に結びつけるための継続的工夫が求められる。
- 商店街朝市は、利用者から高い評価を得られた。値段や接客についても満足度が高く、今後の利用意向も高い結果となっている。今後も実施箇所や時期、商品の内容など再度検討し、継続して実施していくことが望まれる。
- 農産物フェアは、今回の実験では、売上げがあまり伸びなかったが、これは、10月27日の悪天候やブースの設置場所等に問題あったものと推測される。今後、まちなかでの農産物の供給を検討する場合は、販売の場所、時期、ニーズを再調査する必要がある。
- まちなかコンサートは、パセオ通りの商店街の真ん中や大学のホールで実施したことで賑わい創出に繋がり、来街者・出演者からも好評を得た。これからのまちなかの賑わいの創出や回遊性の向上に繋げるには、市民参加型のイベントとして定着を図ることや、開催時期、場所等も含め、継続性、発展性を検討しながら今後の開催に向けて具体的に検討する。
- 親子まちなか探検隊は、まちなかを親子が一緒に巡り、地域資源の情報を参加者に紹介する仕組みとしたが、「親子で楽しめる無料の体験型イベント」として好評を得た。地域資源の再発見と共に探検するための手段として、歩いたり、レンタサイクルを利用したり、循環バスを利用するなど、相乗効果を生み、回遊性も向上した。また、他にどのようなイベントが良いか？との問いに、「食に関するイベント」という意見が多く見られたことから、「地域資源」と、まちなかの飲食店・食料販売店などの参加を募り「食」を組み合わせた探検イベントとして実施することにより、参加者が増加することも考えられる。

○まちなか総合案内所について、利用者の8割以上が「必要である」と回答し、キッズサロンについて、利用者の9割以上が「必要である」と回答している。どちらも、福島のまちなかに必要な施設であることがわかる。

この様な施設は、各個店での対応が難しいため、今後の運営主体や設置の場所確保、運営経費のあり方について検討を行い、まちなかへの恒常的な設置方法について具体化していく事が望まれる。

○街なかサポーターは、短大や専門学校の学生ボランティアが参加し、まちなかの案内や来街者のまち歩き補助、清掃活動等を実施した。参加した学生も「またしてみたい」が100%、来街者では「まちに来やすくなる」が80%、「今後も必要」が90%あり、若者や障がい者、高齢者が気軽にまちなかへ来やすくなるための取り組みとして、サポーター、利用者ともに満足度の高い結果となった。今後、運営方法や人員確保のための仕組みづくりと広報・PRの工夫による継続が望まれる。

■実験期間中の関連イベント及び実験期間終了後のイベントについて（賑わいに貢献したイベント）  
社会実験期間中に開催された関連イベント及び社会実験終了後に様々な賑わい創出イベントが、まちなかで開催された。

#### ①実験期間中の関連イベント

##### ・オープニングセレモニー

平成19年10月20日(土)にツイン広場においてオープニングセレモニーを開催した。

セレモニーに先立ち、中心市街地の中町町会の「中町中和会」による和太鼓の演奏が披露され盛り上がりを見せた。セレモニーでは、「まちなか循環バス」の前でテープカットを行った後、「まちなか循環バス」の出発式を行い、多くの人が集まり賑わった。



##### ・屋台村ウェディング（関連イベント：主催 福島商工会議所青年部）

平成19年10月20日(土)に屋台村で出会ったカップルが屋台村で結婚披露宴を挙げ、パセオ通りを歩き、たくさんのギャラリーを楽しませた。



- ・「平成 稲荷市」(関連イベント：主催 稲荷市商店会)

平成 19 年 11 月 3 日(土)福島稲荷神社において、早食い大会・フリーマーケット・とん汁振る舞い等のイベントが実施され、大いに賑わった。



- ・「ももりんダッシュ NO.1」(主催 福島大学陸上競技部、チーム川本、福島市商店街連合会)

平成 19 年 11 月 11 日(日)駅前通りにおいて、30m かけっこ競争を開催し、沿道にたくさんの人垣が出来た。



## ②実験期間後のイベント

- ・みんなで本気で鬼ごっこ (関連イベント：主催 福島大学・鬼プロジェクト)

平成 19 年 10 月 27 日(土)の雨天中止の代替で 11 月 25 日(日)に駅前通りで開催された。駅前通りを歩行者天国とし、「魅せる鬼ごっこ」をテーマに集客を図った。

- ・「ふくしま大商業祭」

平成 19 年 11 月 23 日(金)~25 日(日)まで、大型空き店舗である“旧さくら野”1階で特産品の販売、ジャズやお笑いライブ等を開催し 3 日間で 34,500 人を集めた。また、館内にはキッズコーナーを設け、子ども連れの来場者に好評であった。



## 5-2. 交通実験の評価

交通社会実験として、循環バスや歩行者天国の実施、フリー乗車券やレンタサイクルなどの実験メニューを実施した。賑わい実験との相乗効果により、人と車の共生モール（一方通行実験）・歩行者天国に多くの参加を得る事が出来、特に、利用者から好評を得た。一方、循環バスは、まちなかの回遊性向上を目指した循環バスとまちなかへのアクセスを目的にしたバスで、利用者数に大きな差が見られた。特に郊外からのアクセスを目的にしたバスは、そのPRやルート設定など地域に合った利用促進策を工夫する必要がある。

- 社会実験では、期間中のほぼ毎週、駅前通り等で交通規制が行われ、多様な賑わいイベントが実施された。P.56 自動車交通量調査の結果からも、自動車交通に与える影響はほとんどなかった。特に「歩行者天国」は、賑わい創出に非常に効果が高く、多様な催しが実施できることから、継続した取り組み、仕組みづくりの検討が必要である。
- 人と車の共生実験（一方通行実験）、歩行者天国のいずれの実施日とも、平常時の約2倍の来街者があった。中でも、歩行者天国は来街者の評価が非常に高かったことから、今後も道路空間の利活用を定期的に考える必要がある。一方、タクシー運転手からは、タクシー待ち場所の確保について要望があり、今後の実施の際に配慮が必要である。
- 本市は国が定める街なかの「自転車通行環境に関するモデル地区」に指定されたこともあり、本実験の結果を踏まえ、人と車、さらに自転車との安全性の向上も含めた、まちなかの道路環境・道路空間のあり方、活用方法について検討を進める必要がある。
- 循環バスの中で、まちなかの回遊性の補助を目的とした「まちなか循環線」は、無料での運行としたが、1日当たり248人、1便当たり16.5人と、多くの利用があった。運行に際しては、ユニークなデザインとラッピングにより人目を引き付ける低床型のコミュニティバスを借り受け、親子連れ・高齢者・障がい者に配慮し、誰もが気軽に乗れることを目標として、20分以内の短時間で循環させた。また、イベントチラシに運行経路や写真・時刻表を記載することによりイベントに合わせた利用が出来るようにしたことや、各バス停の看板にも全バス停の時刻表を明記したことによる利便性の向上が利用者の増加に繋がったと考えられる。今後の利用意向も極めて高いことから、小回りの利くまち歩き補助としての役割を持った循環バスとして、継続的な運行が可能か検討が望まれる。
- 一方、まちなかへのアクセスを目的とした「西口循環線」や「笹谷桜水駅循環線」の利用は限られたものとなった。今後、利用ニーズにきめ細かく対応した運行ルートや運行時間の設定、他の交通機関との乗継ぎの円滑化方法、広報・PRなどについて総合的な検討が必要である。
- 市内循環バス「ももりん」1日フリー乗車券や電車と市内循環線に1日乗り放題共通乗車券は利用者から便利と評価された。今後、近郊の魅力的なスポット情報、施設や飲食店等の割引特典など付加価値をつけ、より地域の特色を持たせた乗車券とする事や、共通カードの発行など、さらに便利な乗車券の実現に向けての取り組みが望まれる。

○ももりんレンタサイクルについては、多くがリピート利用であったが、その利用は定着してきていると言える。今回の返却場所を自由にするシステムは予算・手間がかからないと考えられるので、導入に向けて検討する必要がある。今後、新規利用者を増やすためのPR活動が重要と考えられる。

### 5-3. 今後の取組みに向けて

賑わい実験、交通実験ともに多くの参加者を得られ、土日の来街者が大きく増加した。

歩行者優先の空間創出、賑わいの各種イベントとの連携や、公共交通機関の充実、多様な主体が参画して、「人」中心の歩いて暮らせるまちづくりを推進することが、中心市街地の活性化に結びつくものと考えられる。

- 「まちなか総合案内所」「キッズサロン」についてニーズが高く、まちなかでは、商業機能に加えて休憩や子育て支援に関する機能のニーズが高いことがうかがわれた。高齢者・障がい者等が気軽に“休憩できる場”としての機能は、「歩いて暮らせるまち」に必要不可欠であることから、継続的に運営していくための仕組みづくりが必要である。
- 賑わい実験については、どのメニューについても利用者から高い評価を得た。特に子ども向けイベント・食に関するイベント・スポーツ系のイベントが好評だった。今後、可能なメニューについては出来るだけ継続していくことが望まれる。一方、ワゴンセールなどに関し、出店者側から、「出店許可、使用料がない」ことを今後の継続条件にあげたケースが多く見られたことから、出店許可申請の取りまとめの代行や簡略化、出店時の費用負担等の支援方策の検討が必要である。
- 交通実験については、地元商店街に加え、交通事業者の協力が不可欠であり、PR 等を考慮し、事業者と行政との連携も必要である。また、利用者である市民の積極的な公共交通利用意識・行動が重要である。環境負荷に優しく、コンパクトシティの考え方に沿う公共交通の利用促進に向けた啓発、モビリティ・マネジメントなどの施策を実施していくことが望まれる。
- まちなか循環バスはイベントに合わせて運行し多くの来街者に利用された。子どもや高齢者等のまち歩きの補助交通（二次交通）として大きな効果があることが分かった。今後は、イベント時での運行や日常のまちなか交通のあり方、100 円の運賃での可能性について検討が必要である。
- 今後、中心市街地の活性化を進めるため、今回の社会実験の成果を活かすとともに、街なか居住の推進を図ることが重要となる。アンケート結果によると、まちなかに「住んでみたい」「どちらかといえば住んでみたい」の合計が 39.0%で「住みたいと思わない」「どちらかというに住みたくない」の合計 24.8%を上回っており、実験を契機に市民の街なか居住への関心を高めるとともに、現在、市で実施している市営住宅の借り上げ事業や有料住宅に関する事業の継続、拡大を検討していくことが望まれる。
- 社会実験は多くの関係者の連携・協力により実施され、来街者の増加につながった。来街者は、商業機能以外にも、まちなかの移動支援や休憩、子育て支援等の多様な機能を求めており、今後の「歩いて暮らせるまち・福島」の実現のため、今回の実験で構築された関係者のネットワークを活用し、実現可能などころから持続的な取組みを行っていくことが重要である。  
本市では現在「新中心市街地活性化基本計画」の策定を行っているところであり、今回の実験と時期を同じくして、平成 19 年 10 月 19 日には福島商工会議所や(株)まちづくりセンターによって「福島市中心市街地活性化協議会」が設立され、各分野の組織・団体等の意見交換が活発になされている。そのような中、12 月からはパセオ通りイルミネーションプロジェクト「光のしずく」の実施など若手事業者らの活性化への取り組みが、地元企業や市民を巻き込みながら行われてきている。

このような取組みを活性化に繋げるべく、連携できるイベント等の情報収集や取りまとめを行い、市民への情報提供を効果的に発信するための一元化した組織作りを行政、商業団体、NPO、交通事業者等で行うことが望まれる。

また、まちづくりの具現化を図るためには、今回の実験で得られたネットワークを中心市街地活性化協議会や分科会にも最大限に活かしながら、活性化に対する支援措置等も考慮し、賑わい・交通、さらには都心居住や福利関連等も含めてハード・ソフト両面からの具体的なまちづくりに取り組んで参りたい。